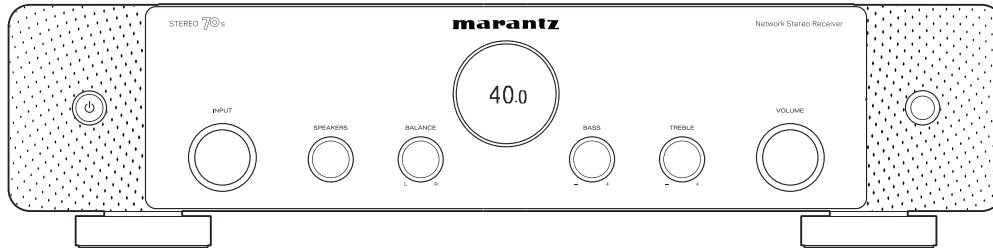


marantz



STEREO 70s | Network Stereo Receiver

取扱説明書

付属品	8	テレビを接続する	34
乾電池の入れかた	9	接続 1:HDMI 端子付き/ARC 機能対応のテレビ	35
リモコンの使いかた	9	接続 2:HDMI 端子付き/ARC 機能非対応のテレビ	36
特長	10	再生機器を接続する	37
高音質	10	セットトップボックスを接続する(衛星放送チューナー/ ケーブルテレビチューナー)	38
多彩な機能	10	メディアプレーヤーを接続する	39
簡単操作	15	ブルーレイディスクや DVD プレーヤーを接続する	40
各部の名前	16	8K 対応のプレーヤーやゲーム機を接続する	41
フロントパネル	16	レコードプレーヤーを接続する	42
ディスプレイ	18	USB 端子に USB メモリーを接続する	43
リアパネル	20	FM アンテナや AM ループアンテナを接続する	44
リモコン	23	ホームネットワーク(LAN)に接続する	46
接続のしかた		有線 LAN	46
スピーカーを設置する	27	無線 LAN	47
スピーカーを接続する	28	外部のコントロール機器を接続する	48
スピーカーを接続する前に	28	リモートコントロール端子	48
2.1 チャンネルのスピーカーを接続する	30	フラッシャーイン端子(FLASHER IN)	50
2 台目のスピーカーを接続する	31	電源コードを接続する	51
スピーカーをワイヤリング接続する	32		



再生のしかた

基本操作	53
電源を入れる	53
入力ソースを選ぶ	53
音量を調節する	54
一時的に音を消す(ミュート)	54
ブルーレイディスクや DVD プレーヤーを再生する	54
USB メモリーを再生する	55
USB メモリーに保存されているファイルを再生する	56
Bluetooth 機器の音楽を聴く	59
Bluetooth 機器の音楽を聴く	60
2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする	61
Bluetooth 機器から本機に再接続する	62
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く	63
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く	64
Bluetooth ヘッドホンの音量を調節する	65
Bluetooth ヘッドホンに再接続する	65
Bluetooth ヘッドホンを切断する	66

FM 放送または AM 放送を聴く	67
FM 放送または AM 放送を聴く	68
周波数を入力して受信する(ダイレクトチューニング)	69
受信モードを変更する(チューニングモード)	70
自動で放送局を選局しプリセットする(オートプリセットメモリー)	70
聴いている放送局をプリセットする(プリセットメモリー)	71
プリセットした放送局を聴く	71
プリセットした放送局に名前をつける(プリセットネーム)	72
プリセットした放送局をスキップする(プリセットスキップ)	73
プリセットスキップを解除する	74
インターネットラジオを聴く	75
インターネットラジオを聴く	76
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	77
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	78
HEOS アプリをダウンロードする	81
HEOS アカウント	82
ストリーミング音楽サービスを再生する	83
同じ音楽を複数の部屋で聴く	86



AirPlay 機能	90	サウンドモードを選ぶ	102
iPhone、iPod touch、iPad の曲を本機で再生する	91	サウンドモードを選ぶ	102
iTunes の曲を本機で再生する	91	サウンドモードの種類について	103
iPhone、iPod touch、iPad の曲を複数の機器で同期して再生する (AirPlay 2)	92	HDMI コントロール機能	104
Spotify Connect 機能	93	設定のしかた	104
Spotify の曲を本機で再生する	93	スリープタイマー機能	105
便利な機能	94	スリープタイマーを設定する	106
HEOS お気に入り再生する	95	スマートセレクト機能	107
HEOS お気に入りに追加する	96	設定を呼び出す	108
HEOS お気に入りを削除する	96	設定を変更する	109
左右のスピーカーの音量バランスを調節する(バランス)	96	フロントキーロック機能	111
サブウーハーの音量を調節する(サブウーハー)	97	すべてのつまみ操作を無効にする	111
トーンを調節する(トーンコントロール)	98	VOLUME 以外のすべてのつまみ操作を無効にする	112
音声の出カタイミングを調節する(オーディオディレイ)	99	フロントキーロック機能を解除する	112
音声の再生中にお好みの映像をテレビに映す(ビデオセレクト)	100	リモートロック機能	113
すべてのゾーンで同じ音楽を再生する(All Zone Stereo)	101	リモコンの受信機能を無効にする	113
		リモコンの受信機能を有効にする	114
		ウェブコントロール機能	115
		ウェブコントロール機能で本機をコントロールする	115
		ゾーン 2(別の部屋)での再生	117
		ゾーン 2 の接続	118
		ゾーン 2 で入力ソースを再生する	119
		ゾーン 2 の音量を調節する	122



設定のしかた

メニュー 一覧	123
メニュー操作のしかた	128
オーディオ	129
M-DAX	129
音量	130
バイリンガルモード	131
ビデオ	132
HDMI 設定	132
HDMI アップスケーラー	136
オンスクリーンディスプレイ	137
スクリーンセーバー	138
4K/8K 信号フォーマット	138
HDCP 設定	140
入力ソース	141
入力端子の割り当て	141
入力ソース名の変更	144
使用ソースの選択	144
ソースレベル	144
スピーカー	145
スピーカーレイアウト	145
距離	146
レベル	147
アドバンス設定	147

ネットワーク	148
情報	148
接続	148
Wi-Fi 設定	149
詳細な設定	150
ネットワークコントロール	152
フレンドリーネーム	152
診断	153
AirPlay	154
Spotify Connect	154
Wi-Fi と Bluetooth	155
HEOS	156
サインインしていない場合	156
サインインしている場合	156



一般	157
言語	157
オーナーズマニュアル	157
エコ設定	157
Bluetooth 送信	161
ゾーン 2 の設定	162
ゾーン名の変更	163
スマートセレクト	163
フロントディスプレイ	164
ファームウェア	165
情報	167
使用状況の送信設定	170
セーブ&ロード	170
セットアップロック	171
初期化	171
リモコンで CD プレーヤーを操作する	172
リモコンで操作するゾーンを限定する	173
リモコンのバックライトを設定する	174
バックライトを消灯させる	174

困ったときは

こんなときの解決方法	176
故障かな？と思ったら	177
電源が入らない / 電源が切れる	178
リモコンで操作ができない	179
本機のディスプレイが表示されない	179
音がまったく出ない	180
希望する音が出ない	181
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	183
テレビに映像が映らない	184
テレビにメニュー画面が表示されない	185
テレビに表示されるメニュー画面や操作内容の色が通常と異なる	185
AirPlay 再生ができない	186
USB メモリーが再生できない	187
Bluetooth が再生できない	188
インターネットラジオが再生できない	190
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない	191
各種オンラインサービスが再生できない	192
HDMI コントロール機能が動作しない	192
無線 LAN ネットワークに接続できない	193
アップデートエラーメッセージについて	194
お買い上げ時の設定に戻す	195
ネットワークの設定をお買い上げ時の設定に戻す	196
お買い上げ時の設定に復元する	197
保証と修理について	198



付録

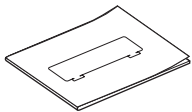

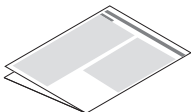




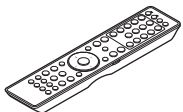


HDMI について	200
映像信号とテレビ出力の関係	203
USB メモリーの再生について	205
Bluetooth 機器の再生について	206
パソコンや NAS に保存されているファイルの再生について	207
インターネットラジオの再生について	208
パーソナルメモリープラス機能	208
ラストファンクションメモリー	208
用語の解説	209
登録商標について	213
主な仕様	215
オーディオ部	215
チューナー部	216
無線 LAN 部	216
Bluetooth 部	217
総合	218
使用上のご注意	220
索引	221



お買い上げいただきありがとうございます。
 本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
 お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

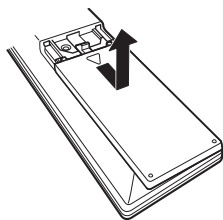
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

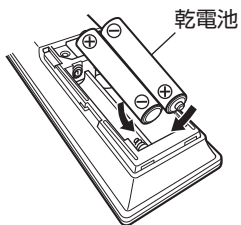
 <p>かんたんスタートガイド</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>電波に関するご注意</p>	 <p>保証書</p>	 <p>電源コード 【本機専用】</p>
 <p>FM室内アンテナ</p>	 <p>AMループアンテナ</p>	 <p>リモコン (RC052SR)</p>	 <p>単4形乾電池 (2本)</p>	 <p>Bluetooth/ 無線LAN用外部アンテナ (2本)</p>

乾電池の入れかた

- 1 裏ぶたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。



- 2 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



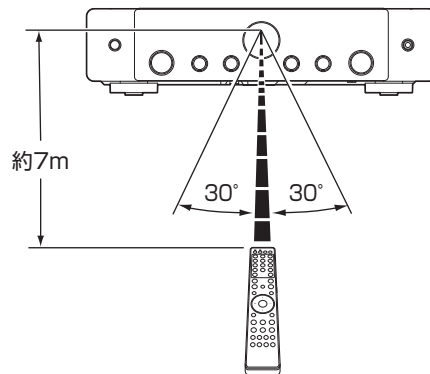
- 3 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



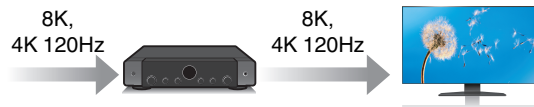
特長

高音質

- **ハイパワーアンプ搭載(100W×2チャンネル)**
ステレオレシーバー用に設計されたパワートランスフォーマーと電源コンデンサー、ディスクリット部品構成のパワーアンプ回路の採用によって、高品位でパワフルな再生を実現します。
- **ダブルディファレンシャル D/A コンバーター回路搭載**
ダブルディファレンシャル回路の採用によりノイズを低減して、よりクリアな音声の再生を実現します。

多彩な機能

- **8K 60Hz 入出力対応**



8K Ultra HD(High Definition)で、1秒間に60フレーム分の映像信号(60p)の入出力を実現しました。8K Ultra HD、60p映像入力信号に対応したテレビと接続することで、動きの速い映像も滑らかに、高精細画質によって得られる臨場感のある映像を楽しめます。

また、本機は多彩なHDRコンテンツの入力にも対応しており、更に高精細な映像をお楽しみいただけます。

- **HDCP 2.3**

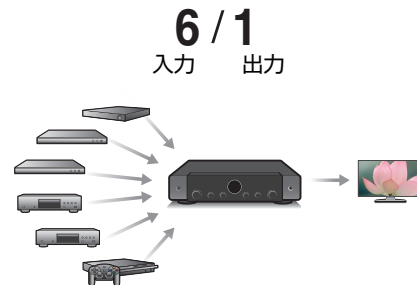
本機はコンテンツ保護方式規格HDCP 2.3に対応しています。

- 1080p/4K 信号を 8K の信号にアップスケーリングするデジタルビデオプロセッサ搭載



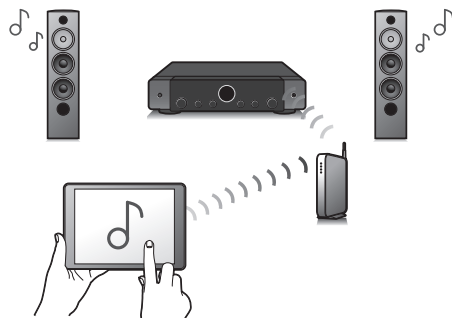
本機には、1080p/4K 映像を 8K (7680×4320 ピクセル) の解像度にして HDMI への出力を可能にする 8K ビデオアップスケーリング機能を搭載しています。これにより本機とテレビの接続が HDMI ケーブル 1 本で済むだけでなく、どの映像ソースでも高精細な映像を再現することができます。

- さまざまなデジタル AV 機器を接続できる HDMI 端子を装備 (入力: 6 系統、出力: 1 系統)



本機には 6 系統の HDMI 入力端子と 1 系統の HDMI 出力端子を装備しており、ブルーレイディスクプレーヤー、ゲーム、HD ビデオカメラなどのさまざまな HDMI 端子付き機器との接続ができます。

- インターネットラジオなどのネットワーク機能に加え、AirPlay[®]機能を搭載 (P.90 ページ)



インターネットラジオを聴いたり、パソコンに保存している音楽ファイルを再生したり、さまざまな再生をお楽しみいただけます。

また、本機は AirPlay 機能を搭載していますので、ネットワークを通して iPhone[®] や iPad[®]、iPod touch[®]、iTunes[®]の音楽を本機で再生できます。

- ワイヤレスオーディオ技術 ” AirPlay 2[®]” に対応

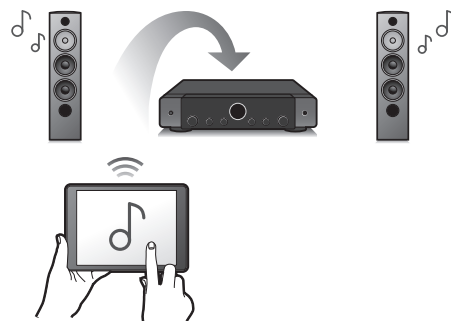
複数の AirPlay 2 に対応したデバイス/スピーカーと同期して音楽を同時に再生することが可能です。

本機は AirPlay 2 対応製品です。iOS 11.4 以降が必要です。

- USB とネットワーク経路による DSD と FLAC ファイルの再生

高解像度のオーディオフォーマットである DSD (5.6MHz) や FLAC 192kHz ファイルの再生に対応しています。高解像度ファイルの高音質再生を実現しています。

- 簡単に Bluetooth 機器とのワイヤレス接続が可能 (P.59 ページ)

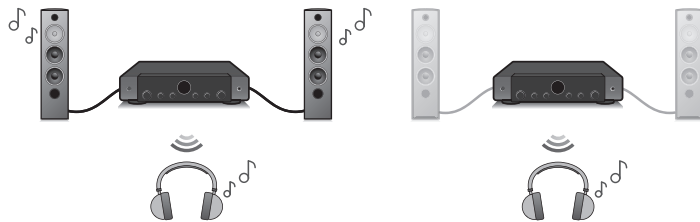


お手持ちのスマートフォン、タブレット、パソコンなどとワイヤレス接続することで、簡単に音楽を楽しめます。

Bluetooth ヘッドホン対応

本機で再生している音声を Bluetooth ヘッドホンで聴くことができます。

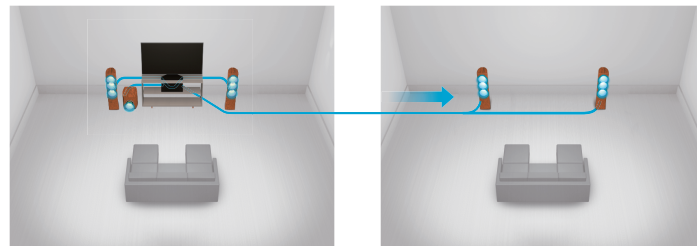
ご使用の環境に合わせて、スピーカーと Bluetooth ヘッドホンの音声を同時に再生したり、Bluetooth ヘッドホンのみの音声を再生したりすることができます。



マルチルームでの音声再生に対応(101 ページ)

【メインゾーン】

【ゾーン 2】



メインゾーンおよびゾーン 2 でそれぞれの入力を選択して再生できます。

また、All Zone Stereo 機能を使用すると、メインゾーンで再生中の音楽を同時にすべてのゾーンで楽しむことができます。家全体で BGM を流したいときに便利です。

省エネ設計

本機は使用中の消費電力を低減しながら、映画や音楽を楽しむことができるエコモード機能、および未使用时自動的に電源をオフにするオートスタンバイ機能を搭載しています。不要な電力の節約ができます。

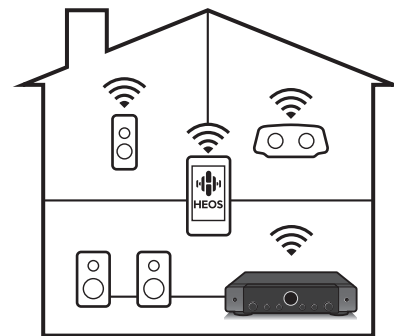
- iPad、iPhone や Android™機器 (Google、Amazon Kindle Fire) で本機の基本的な操作がおこなえる“Marantz AVR Remote”アプリ * に対応



スマートフォンやタブレットから本機の詳細設定が可能なセットアップメニューにアクセスしてコントロールすることができます。“Marantz AVR Remote”アプリは本機のステータスやメニューの表示、Marantz 製ブルーレイディスクプレーヤーのコントロールや WEB マニュアルへのアクセスなどを提供します。

- * “Marantz AVR Remote”アプリ (無料) を iOS や Android 機器にダウンロードしてください。本機を LAN 接続し、iPad、iPhone や Android™機器を同じネットワーク上にある Wi-Fi (無線 LAN) に接続する必要があります。

- お気に入りのオンラインミュージックソースからストリーミング音楽を提供



本機は、お気に入りの音楽をご家庭内のどこにいても楽しむことができる、HEOS 無線マルチルームサウンドシステムの一部です。ホームネットワークと HEOS アプリ (iOS、Android および Amazon 機器で利用可能) を利用して、ご自身の音楽ライブラリや多数のオンラインミュージックサービス内の音楽を再生できます。

また、複数の HEOS 機能搭載機器が同じネットワークに接続されている場合、すべての機器をグループ化して同じ音楽を同時に再生したり、それぞれの機器で別々の音楽を再生したりすることができます。



簡単操作

- **基本的な設定が簡単にできる“セットアップアシスタント”メニュー**
最初に言語選択画面で言語を選択します。テレビ画面に表示する操作ガイドに沿って、誰でも簡単にスピーカーの接続やネットワークの設定など基本的な設定がおこなえます。
- **操作性に優れたグラフィカル・ユーザー・インターフェース**
本機には、“グラフィカル・ユーザー・インターフェース”を搭載し、操作性を向上させています。

ステレオ音のエチケット



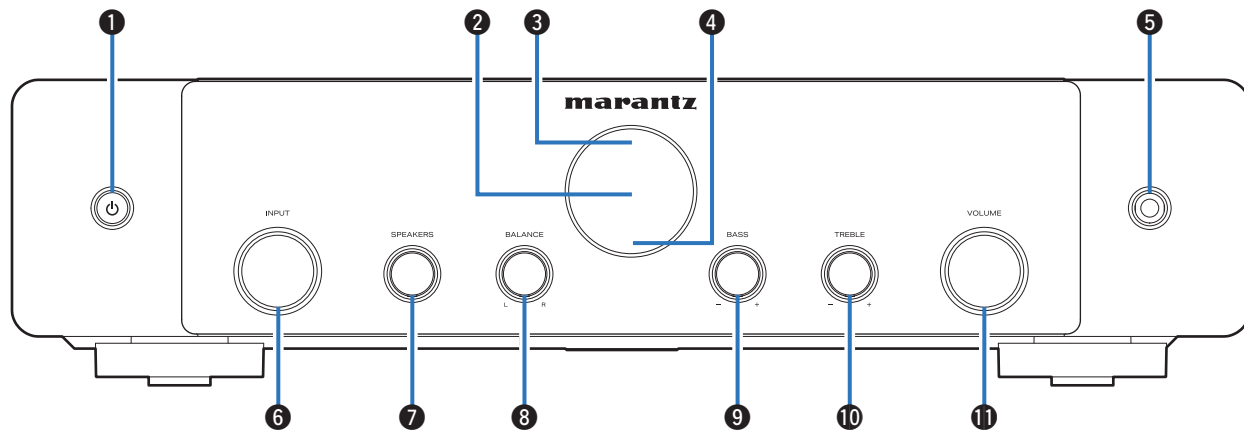
音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

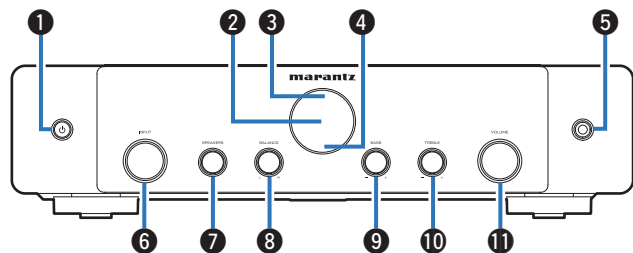


各部の名前

フロントパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



① 電源ボタン(⏻)

メインゾーン(本機のある部屋)の電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P53 ページ)

② ディスプレイ

各種情報を表示します。(P18 ページ)

③ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(P9 ページ)

④ 保護回路動作表示

保護回路がはたらいているときに点滅します。(P178 ページ)

⑤ ヘッドホン端子(PHONES)

ヘッドホンを接続します。
ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーおよびサブウーハー端子から音が出なくなります。

ご注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

⑥ 入力ソース切り替えつまみ(INPUT)

入力ソースを選択します。(P53 ページ)

⑦ スピーカー切り替えつまみ(SPEAKERS)

音声を出力するスピーカーを選びます。

⑧ 音量バランス調節つまみ(BALANCE)

左右のスピーカーから出力される音量のバランスを調節します。

⑨ 低音調節つまみ(BASS)

低音の音量を調節します。

⑩ 高音調節つまみ(TREBLE)

高音の音量を調節します。

⑪ 音量調節つまみ(VOLUME)

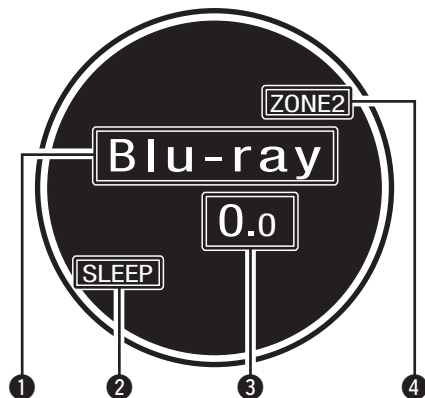
音量を調節します。(P54 ページ)



ディスプレイ

入力ソース名、サウンドモード、設定値など、さまざまな情報を表示します。

□ 通常表示



① 入力ソース表示

現在選択されている入力ソース名を表示します。
メニューの“入力ソース名の変更”で入力ソース名を変更した場合は、変更後の入力ソース名を表示します。(P.144 ページ)

② スリープタイマー表示

スリープタイマーを設定しているときに点灯します。(P.105 ページ)

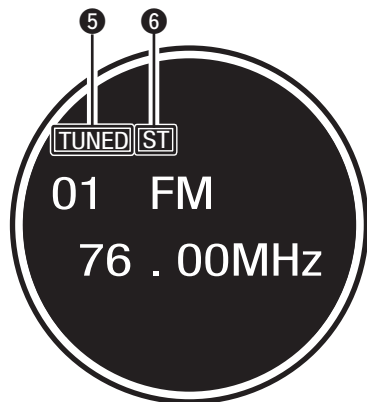
③ 音量表示

④ ゾーン 2 電源表示

ゾーン 2 の電源が入っているときに点灯します。

□ チューナー表示

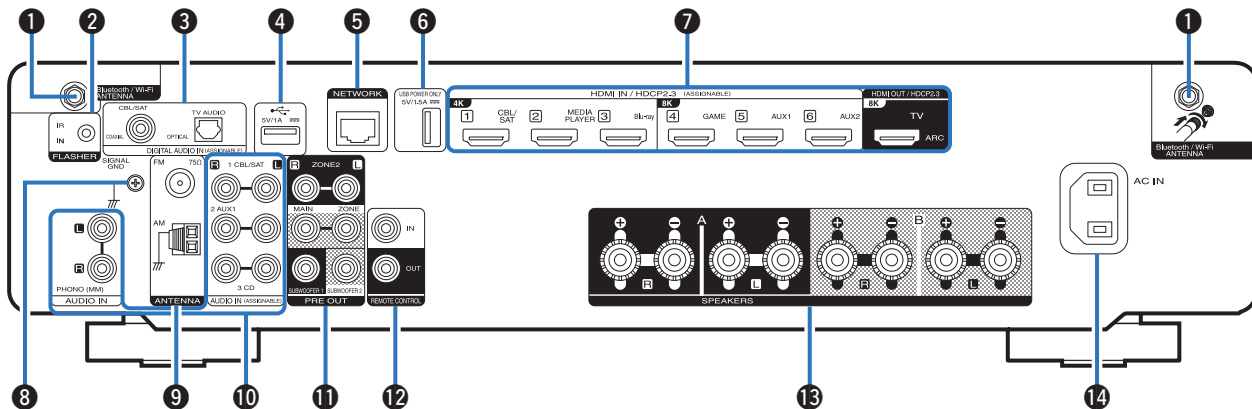
入力ソースが“Tuner”のとき、放送局の受信状態により点灯します。



- ⑤ 放送局を受信したときに点灯します。
- ⑥ FM ステレオ放送を受信したときに点灯します。

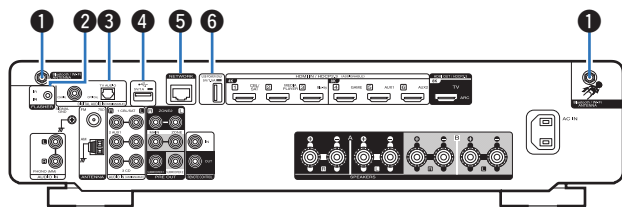


リアパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。

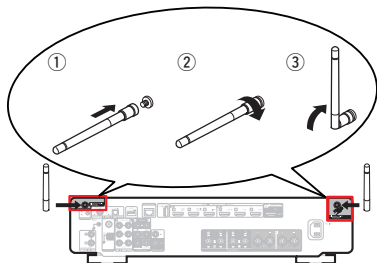




① Bluetooth/無線 LAN 用アンテナ端子

Bluetooth でお手持ちの機器と接続する場合、または無線 LAN でネットワークに接続する場合は、この端子に付属の Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナを接続してご使用ください。(P.47 ページ)

- ① Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナをリアパネルのアンテナ端子と水平に合わせる。
- ② アンテナを右に回してしっかり締める。
- ③ 最も受信状態が良い向きにアンテナを回転させる。



② FLASHER IN 端子

コントロール BOX やその他のコントロール機器を接続して、本機をコントロールするときに使用します。

③ デジタルオーディオ端子(DIGITAL AUDIO)

デジタルオーディオ端子付きの機器を接続します。

- 「接続 2: HDMI 端子付き/ARC 機能非対応のテレビ」(P.36 ページ)
- 「セットトップボックスを接続する(衛星放送チューナー/ケーブルテレビチューナー)」(P.38 ページ)

④ USB 端子

USB ストレージ(USB メモリーなど)を接続します。(P.43 ページ)

⑤ ネットワーク端子(NETWORK)

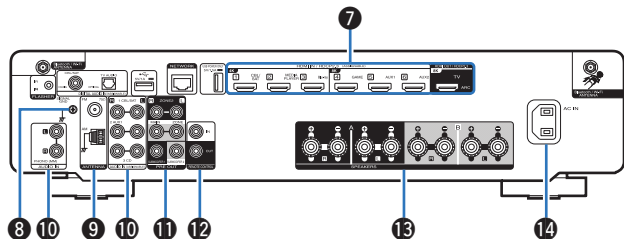
有線 LAN でネットワークに接続する際に LAN ケーブルを接続します。(P.46 ページ)

⑥ USB 端子(POWER SUPPLY)

ストリーミングメディアプレーヤーなどの電源供給用として使用できます。



- 5V/1.5A を超える電源供給が必要な場合は、AC アダプターを使用してください。
- USB メモリーのコンテンツを再生する場合は、④ の USB 端子に接続してください。



7 HDMI 端子

HDMI 端子付きの機器を接続します。

- 「接続 1 :HDMI 端子付き/ARC 機能対応のテレビ」(P.35 ページ)
- 「接続 2 :HDMI 端子付き/ARC 機能非対応のテレビ」(P.36 ページ)
- 「セットトップボックスを接続する(衛星放送チューナー/ケーブルテレビチューナー)」(P.38 ページ)
- 「メディアプレーヤーを接続する」(P.39 ページ)
- 「ブルーレイディスクや DVD プレーヤーを接続する」(P.40 ページ)
- 「8K 対応のプレーヤーやゲーム機を接続する」(P.41 ページ)

8 アース端子(SIGNAL GND)

レコードプレーヤーのアース線を接続します。(P.42 ページ)

9 FM/AM アンテナ端子(ANTENNA)

FM アンテナや AM ループアンテナを接続します。(P.44 ページ)

10 アナログオーディオ端子(AUDIO)

アナログオーディオ端子付きの機器を接続します。

- 「セットトップボックスを接続する(衛星放送チューナー/ケーブルテレビチューナー)」(P.38 ページ)
- 「レコードプレーヤーを接続する」(P.42 ページ)

11 プリアウト端子(PRE OUT)

アンプ内蔵のサブウーハーやパワーアンプを接続します。

- 「サブウーハーを接続する」(P.29 ページ)
- 「パワーアンプを使用してスピーカーを接続する」(P.33 ページ)
- 「ゾーン 2 の接続」(P.118 ページ)

12 リモートコントロール端子(REMOTE CONTROL)

メインゾーン以外の部屋から本機や外部機器を操作するために、赤外線受信機や送信機を接続します。(P.48 ページ)

13 スピーカー端子(SPEAKERS)

スピーカーを接続します。

- 「2.1 チャンネルのスピーカーを接続する」(P.30 ページ)
- 「2 台目のスピーカーを接続する」(P.31 ページ)
- 「スピーカーをバイワイヤリング接続する」(P.32 ページ)

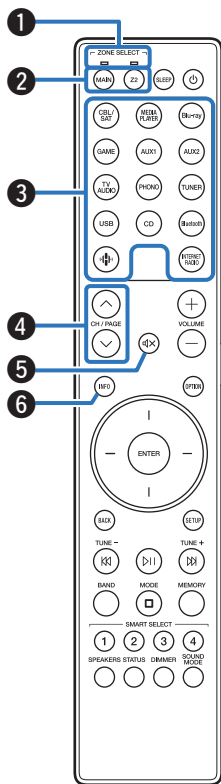
14 AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。(P.51 ページ)

ご注意

- 端子内部のピンには絶対に触れないでください。静電気により、故障の原因になることがあります。

リモコン



① ゾーンモード表示

操作しているゾーン表示が点灯します。

② ゾーン選択ボタン(MAIN, Z2)

リモコンで操作するゾーン(メインゾーンまたはゾーン 2)を選択します。

- 「メインゾーンとゾーン 2 で異なる入力ソースを再生する」(☞121 ページ)
- 「メニュー操作のしかた」(☞128 ページ)
- 「リモコンで操作するゾーンを限定する」(☞173 ページ)

③ 入力ソース選択ボタン

入力ソースを選択します。

- 「入力ソースを選ぶ」(☞53 ページ)
- 「メインゾーンとゾーン 2 で異なる入力ソースを再生する」(☞121 ページ)

④ チャンネル選択/ページ検索ボタン(CH/PAGE へ▼)

プリセット登録した放送局の選択やページの切り替えをします。(☞71 ページ)

⑤ ミュートボタン(MUTE ㊦)

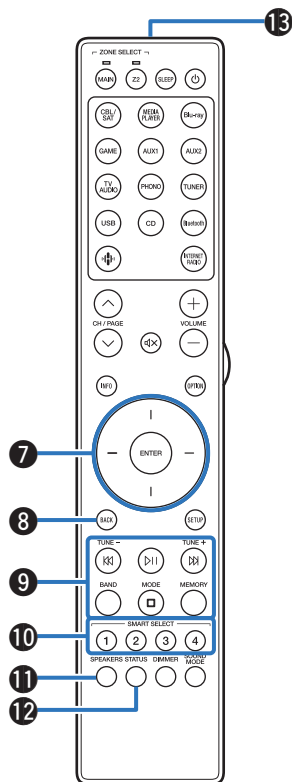
消音します。

- 「一時的に音を消す(ミュートイング)」(☞54 ページ)
- 「一時的に音を消す(ミュートイング)」(☞122 ページ)

⑥ インフォメーションボタン(INFO)

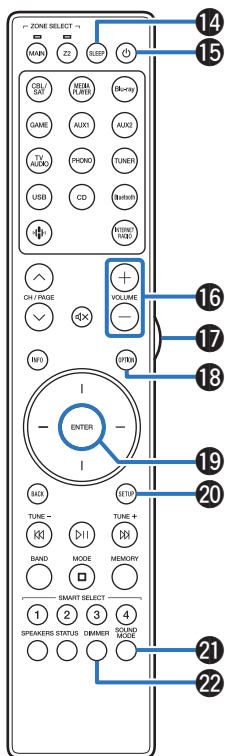
ステータス情報をテレビ画面に表示します。(☞169 ページ)





- 7 カーソルボタン**
項目を選択します。
- 8 バックボタン(BACK)**
ひとつ前の画面に戻ります。
- 9 システムボタン**
再生に関する操作をします。
選局ボタン(TUNE +, -)
FM 放送局または AM 放送局を選択します。(P.68 ページ)
受信バンド切り替えボタン(BAND)
受信バンドを切り替えます。(P.68 ページ)
チューニングモード切り替えボタン(MODE)
チューニングモードを切り替えます。(P.70 ページ)
プリセットメモリーボタン(MEMORY)
現在受信している放送局をプリセットします。(P.71 ページ)
- 10 スマートセレクトボタン(SMART SELECT 1~4)**
それぞれのボタンに登録している入力ソース、音量およびサウンドモードなどの複数の設定をワンタッチで呼び出します。(P.107 ページ)
- 11 スピーカー切り替えボタン(SPEAKERS)**
音声を出力するスピーカーを選びます。
- 12 ステータスボタン(STATUS)**
ボタンを押すたびにステータス情報を切り替えて、ディスプレイに表示します。
- 13 リモコン信号送信窓**
リモコンの信号を送信します。(P.9 ページ)





14 スリープタイマーボタン(SLEEP)

スリープタイマーを設定します。(☞105 ページ)

15 電源ボタン(POWER)

電源をオン/オフします。

- 「電源を入れる」(☞53 ページ)
- 「メインゾーンとゾーン2 で異なる入力ソースを再生する」(☞121 ページ)

16 音量調節ボタン(VOLUME +)

音量を調節します。

- 「音量を調節する」(☞54 ページ)
- 「ゾーン2 の音量を調節する」(☞122 ページ)

17 ライトボタン

ボタンを押すと、バックライトが約 5 秒間点灯します。(☞174 ページ)

18 オプションボタン(OPTION)

テレビ画面にオプションメニューを表示します。

19 エンターボタン(ENTER)

選択した内容を確定します。

20 セットアップボタン(SETUP)

テレビ画面に設定メニューを表示します。(☞128 ページ)

21 サウンドモード切り替えボタン(SOUND MODE)

サウンドモードを選択します。(☞102 ページ)

22 ディマーボタン(DIMMER)

ディスプレイの明るさを切り替えます。(☞164 ページ)



■ 目次








スピーカーを設置する	27
スピーカーを接続する	28
テレビを接続する	34
再生機器を接続する	37
USB 端子に USB メモリーを接続する	43
FM アンテナや AM ループアンテナを接続する	44
ホームネットワーク (LAN) に接続する	46
外部のコントロール機器を接続する	48
電源コードを接続する	51

ご注意

- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。ただし、“セットアップアシスタント” (別冊の“かんたんスタートガイド”の 8 ページ) メニューを操作中は“セットアップアシスタント”メニューの指示に従って接続してください。(“セットアップアシスタント”メニューを操作中、入出力端子は通電しません。)
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

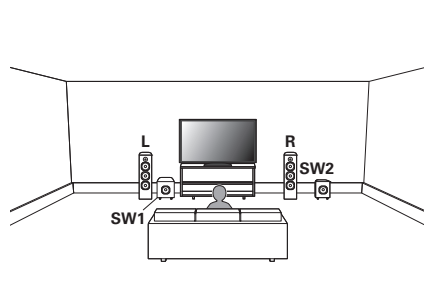
■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

スピーカーケーブル	
サブウーハーケーブル	
HDMI ケーブル	
同軸デジタルケーブル	
光伝送ケーブル	
オーディオケーブル	
LAN ケーブル	

スピーカーを設置する

ご使用になるスピーカーの本数に応じてスピーカーシステムを決定し、各スピーカーおよびサブウーハーを部屋に設置します。例として、代表的な設置方法を説明します。



L/R
(左/右スピーカー):

左右のスピーカーは視聴位置から前方の等距離に設置します。各スピーカーとテレビの間の距離は同じにしてください。

SW 1/2
(サブウーハー):

サブウーハーは、スピーカーの近くの設置可能な場所に設置します。サブウーハーを2台使用する場合は、部屋の前方に左右非対称となるように設置してください。

スピーカーを接続する

部屋に設置したスピーカーを本機に接続します。

スピーカーを接続する前に

ご注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、サブウーハーの電源を切ってください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。(「保護回路」(P.212 ページ))
- 通電中は、絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。ただし、“セットアップアシスタント” (別冊の“かんたんスタートガイド”の8ページ)メニューを操作中は“セットアップアシスタント”メニューの指示に従って接続してください。(“セットアップアシスタント”メニューを操作中、スピーカー端子は通電しません。)
- スピーカーはインピーダンスが4~16Ωのものを使用してください。

ご注意

- インピーダンスが4~6Ωのスピーカーをご使用になる場合は、次の設定をおこなってください。

1. 本機の電源が入っているときに、ディスプレイに“SPECIAL MODE”と表示されるまで本体の **⏻** を長押しする。
2. 本体の入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“5Special Settings”を選んでから **⏻** を押す。
ディスプレイに“4K/8K Format <Enh>”を表示します。
3. 本体の入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“Sp.Imp. <8ohm>”を選ぶ。
4. 本体のスピーカー切り替えつまみ (SPEAKERS) を回して、インピーダンスを選ぶ。

8ohms
(お買い上げ時の設定): 接続されたすべてのスピーカーのインピーダンスが8Ω以上のときに選択します。

6ohms: 接続されたスピーカーのインピーダンスが6Ωのときに選択します。

4ohms: 接続されたスピーカーのインピーダンスが4Ωのときに選択します。

5. 本体の **⏻** を押して、設定を確定する。



■ スピーカーケーブルを接続する

本機と接続するスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+(赤)、-(黒)をよく確認して、同じ極性を接続してください。

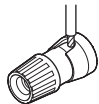
- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。



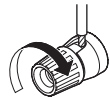
- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。

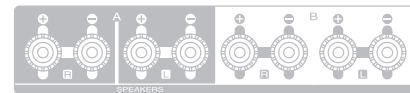
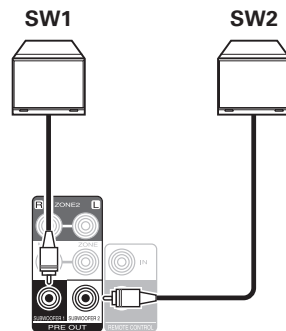


- 4 スピーカー端子を右に回して締める。



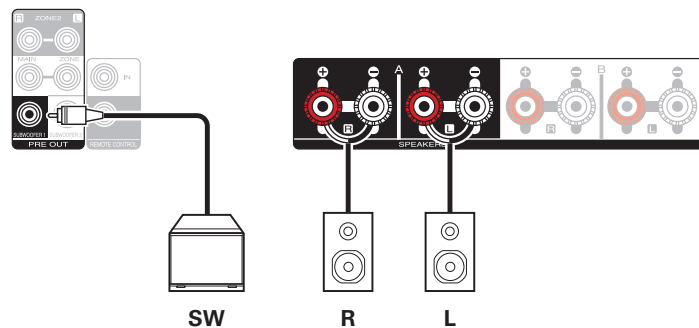
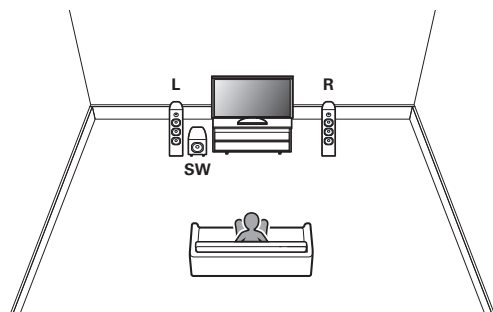
■ サブウーハーを接続する

サブウーハーケーブルを使用して、サブウーハーと接続します。本機にはサブウーハーを 2 台接続できます。それぞれのサブウーハー端子からは、同じ信号を出力します。



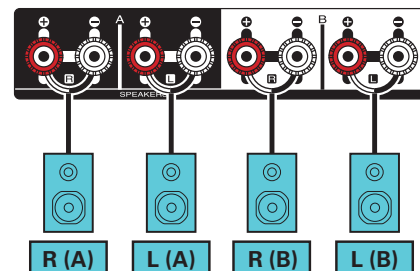
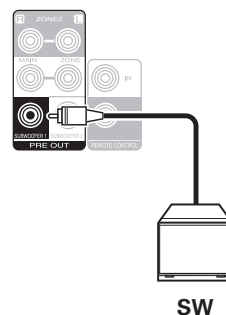
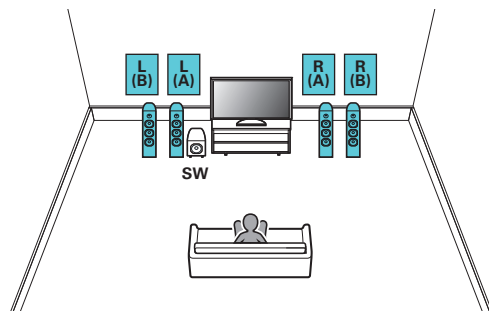
2.1 チャンネルのスピーカーを接続する

サラウンドの基本となる 2.1 チャンネルのシステムです。



2台目のスピーカーを接続する

必要に応じてスピーカー A と B を切り替えて再生できるシステムです。



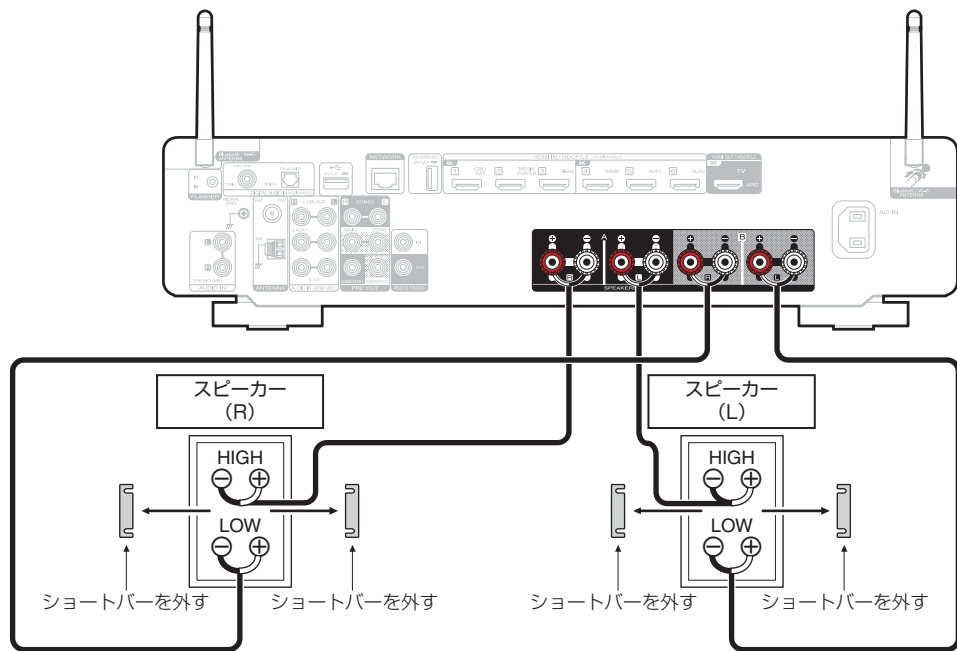
注意:

- スピーカー A と B を同時に再生する前に、スピーカーのインピーダンスを“4ohms”に設定してください。(P.28 ページ)

スピーカーをバイワイヤリング接続する

この接続では高域用スピーカー(ツイーター)と低域用スピーカー(ウーファー)間の信号が干渉することによる音質への影響をおさえることができるため、高品位な再生をお楽しみいただけます。

バイワイヤリング接続に対応しているスピーカーの中高域用入力端子と SPEAKERS A(または B)を、低域用入力端子と SPEAKERS B(または A)をそれぞれ接続してください。

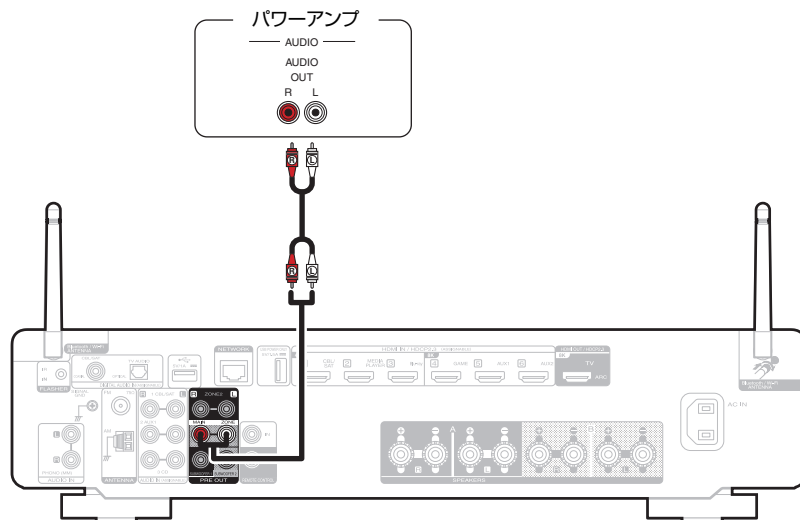


- バイワイヤリング接続時、スピーカー A と B の両方から音声を出力したい場合は、スピーカーの設定を“A+B”にしてください。(P.147 ページ)



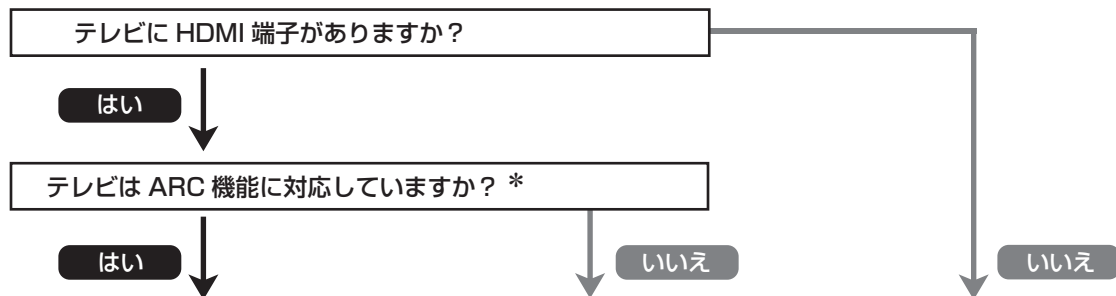
■ パワーアンプを使用してスピーカーを接続する

本機は外部のパワーアンプを使用したスピーカーの接続に対応しています。
別売りのパワーアンプを本機の PRE OUT (MAIN ZONE) 端子に接続してください。



テレビを接続する

本機にテレビを接続し、本機に入力された映像をテレビに出力します。また、テレビの音声を本機で楽しむこともできます。接続方法は、テレビに装備されている端子や機能により異なります。



「接続 1: HDMI 端子付き/ARC 機能対応のテレビ」(P.35 ページ)

「接続 2: HDMI 端子付き/ARC 機能非対応のテレビ」(P.36 ページ)

本機には接続できません。

* ARC 機能とは？

ARC(Audio Return Channel)機能は、HDMI ケーブルを経由してテレビの音声信号を伝送し、本機からテレビの音声を再生する機能です。この機能により、本機はテレビからの音声を処理することができます。

ご注意

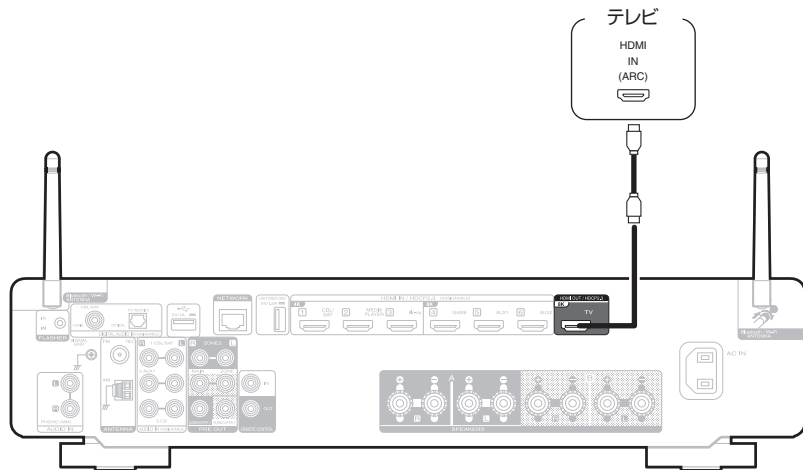
- 本機に接続するテレビは電源プラグが 2 ピンのものをご使用ください。ノイズの原因となる場合がありますので、電源プラグが 3 ピンのテレビを接続しないでください。



接続 1 : HDMI 端子付き/ARC 機能対応のテレビ

高品質の HDMI ケーブル* を準備し、テレビの“ARC” というラベルの付いた HDMI 端子に接続します。HDMI ケーブルのもう一方を本機の HDMI OUT 1 端子に接続してください。

ARC 対応のテレビを接続する場合は、メニューの“ARC”を“オン”に設定してください。(P.134 ページ)



* 4K 対応のテレビを使用する場合は、“High Speed” および、“with Ethernet” のラベルのある HDMI ケーブルをご使用ください。

* 8K 対応のテレビを使用する場合は、“Ultra High Speed HDMI” のラベルのある HDMI ケーブルをご使用ください。



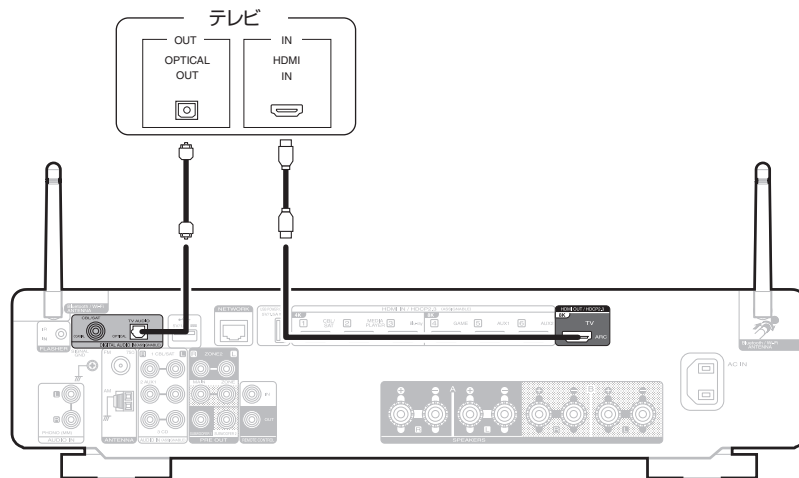
- ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。
- 8K の映像をお楽しみいただく場合には、メニューの“4K/8K 信号フォーマット”を“8K 拡張”に設定してください。(P.138 ページ)



接続 2: HDMI 端子付き/ARC 機能非対応のテレビ

HDMI ケーブルを使用して、本機にテレビを接続します。

本機を経由してテレビの音声を聴く場合は、光伝送ケーブルを使用して本機にテレビを接続します。



- デジタル信号でのテレビ音声の再生は、PCM 2チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。



再生機器を接続する

本機には 1 種類(HDMI)の映像入力端子と、3 種類(HDMI、デジタルオーディオ、オーディオ)の音声入力端子があります。本機の入力端子は、接続する機器に装備されている端子に合わせて選択してください。本機と接続する機器に HDMI 端子がある場合には、HDMI ケーブルでの接続をおすすめします。HDMI 接続では、HDMI ケーブル 1 本で音声信号と映像信号を伝送できます。

- ・「セットトップボックスを接続する(衛星放送チューナー/ケーブルテレビチューナー)」(P.38 ページ)
- ・「メディアプレーヤーを接続する」(P.39 ページ)
- ・「ブルーレイディスクや DVD プレーヤーを接続する」(P.40 ページ)
- ・「8K 対応のプレーヤーやゲーム機を接続する」(P.41 ページ)
- ・「レコードプレーヤーを接続する」(P.42 ページ)



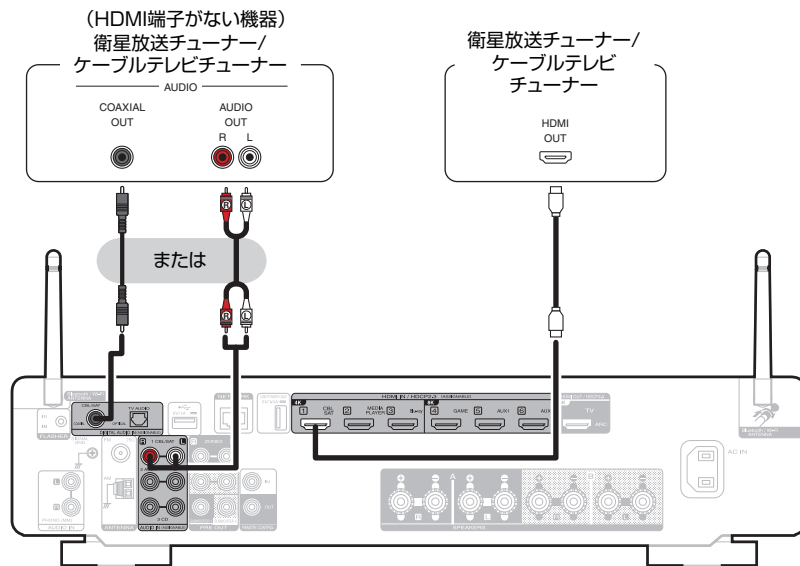
- ・本機の音声/映像入力端子に印字された入力ソースのとおり機器を接続してください。
- ・本機では、HDMI IN 端子、DIGITAL AUDIO IN 端子および AUDIO IN 端子に割り当てられている入力ソースを変更できます。入力端子に割り当てる入力ソースの変更のしかたは、「入力端子の割り当て」をご覧ください。(P.141 ページ)
- ・本機に入力した音声信号を HDMI 接続しているテレビで再生する場合は、メニューの「HDMI オーディオ出力」を「テレビ」に設定してください。(P.132 ページ)
- ・ HDCP 2.2 または HDCP 2.3 で著作権保護されているコンテンツを楽しむ場合は、HDCP 2.2 または HDCP 2.3 に対応した再生機器とテレビをご使用ください。
- ・本機はアナログ音声信号および PCM 2 チャンネル信号の再生に対応しています。Dolby Digital 対応のディスクなどを再生する場合は、あらかじめ再生機器の音声フォーマットを「PCM 2ch」に設定してください。



セットトップボックスを接続する(衛星放送チューナー/ケーブルテレビチューナー)

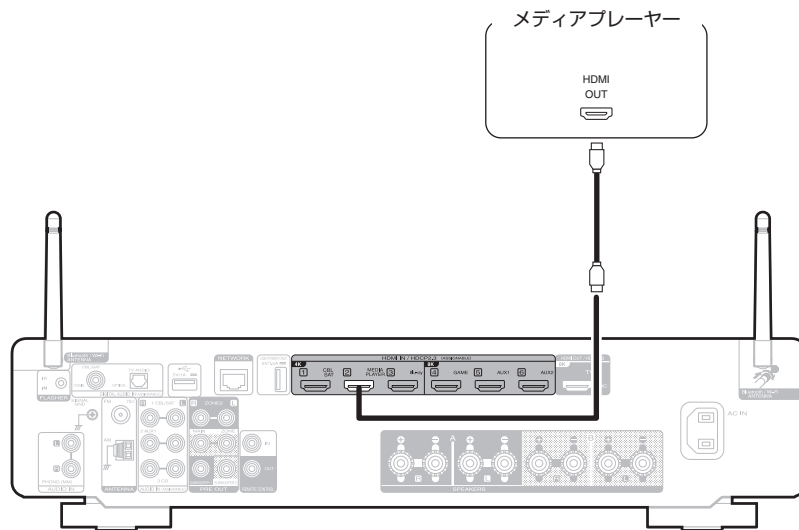
衛星放送チューナーやケーブルテレビチューナーの接続例です。

本機の入力端子は、接続する機器に装備されている端子に合わせて選択してください。



メディアプレーヤーを接続する

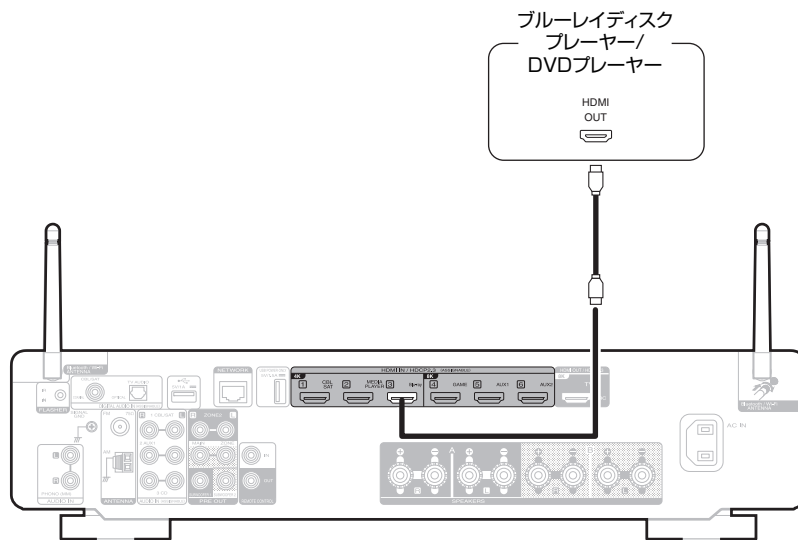
メディアプレーヤーの接続例です。
本機の入力端子は、接続する機器の端子に合わせて選択してください。



ブルーレイディスクやDVDプレーヤーを接続する

ブルーレイディスクまたはDVDプレーヤーの接続例です。

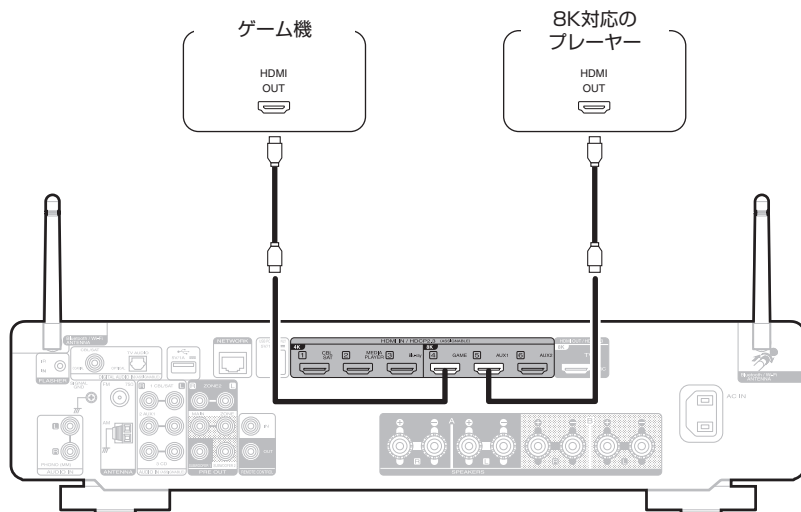
本機の入力端子は、接続する機器に装備されている端子に合わせて選択してください。



8K 対応のプレーヤーやゲーム機を接続する

本機は HDMI の 8K 信号に対応しています。

ゲーム機や 8K 対応のプレーヤーをご使用になる場合は、HDMI 4、HDMI 5 または HDMI 6 端子に接続してください。

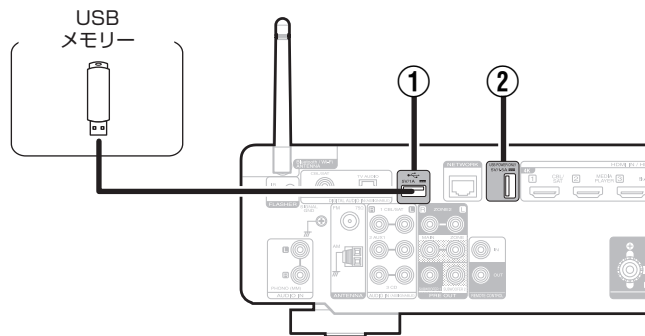


- 認証された“Ultra High Speed HDMI cable”を使用して、8K または 4K 120Hz の映像をお楽しみください。
- 8K の映像をお楽しみいただく場合には、メニューの“4K/8K 信号フォーマット”を“8K 拡張”に設定してください。(P.138 ページ)



USB 端子に USB メモリーを接続する

操作のしかたは、「USB メモリーを再生する」(P.55 ページ)をご覧ください。



① USB端子 (←)

USBストレージ (USBメモリーなど) を接続します。

② USB端子 (POWER SUPPLY)

ストリーミングメディアプレーヤーなどの電源供給用として使用できます。



- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。
- リアパネルの USB 端子(②)は、電源供給(5V/1.5A)のみに使用できます。音楽ファイルの再生はできません。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。



FMアンテナやAMループアンテナを接続する

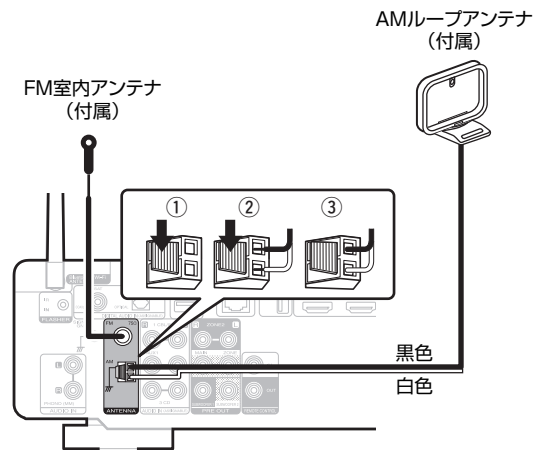
本機にアンテナを接続してから放送を受信して、ノイズが最も少なく受信できるアンテナの位置をさがします。アンテナをその場所に接着テープなどで固定してください。(「FM 放送または AM 放送を聴く」(P.67 ページ))



- 放送を良好に受信できない場合は、屋外アンテナの設置をおすすめします。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ご注意

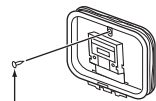
- AM ループアンテナ線がリアパネルやねじに接触していないか確認してください。



■ AM ループアンテナの使いかた

壁に掛けて使う

組み立てずにそのままお使いください。

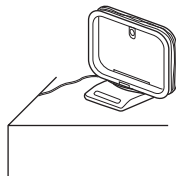


くぎや画びょうなど

置いて使う

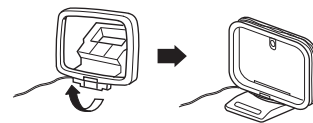
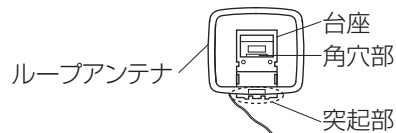
図のように組み立ててお使いください。

組み立てかたは、「AM ループアンテナの組み立てかた」をご覧ください。



■ AM ループアンテナの組み立てかた

- 1 台座部をループアンテナの後ろから、ループアンテナの下を通して、手前に曲げる。
- 2 突起部を台座の角穴部に、差し込む。



ホームネットワーク(LAN)に接続する

本機は有線 LAN または無線 LAN を使用して、ネットワークに接続できます。

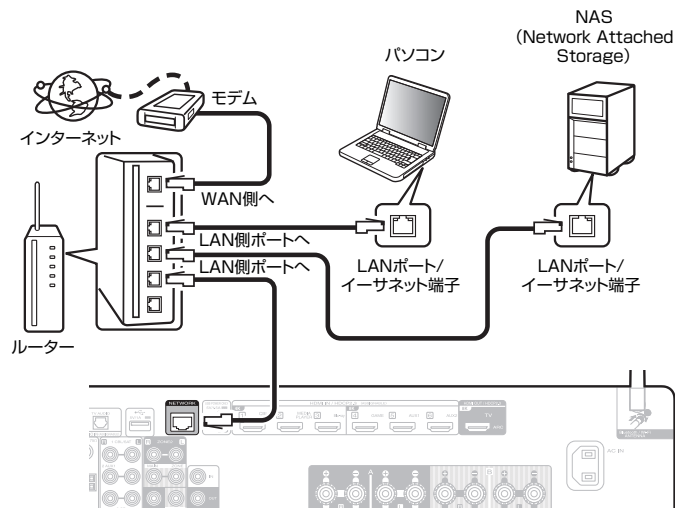
本機はホームネットワーク(LAN)に接続して、次のさまざまな再生や操作をおこなうことができます。

- インターネットラジオやメディアサーバーなどのネットワークオーディオの再生
- ストリーミング音楽サービスの再生
- AirPlay 再生
- ネットワークを経由した本機の操作
- HEOS 無線マルチルームサウンドシステムでの動作
- ファームウェアのアップデート

インターネットの接続については、ISP (Internet Service Provider) またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

有線 LAN

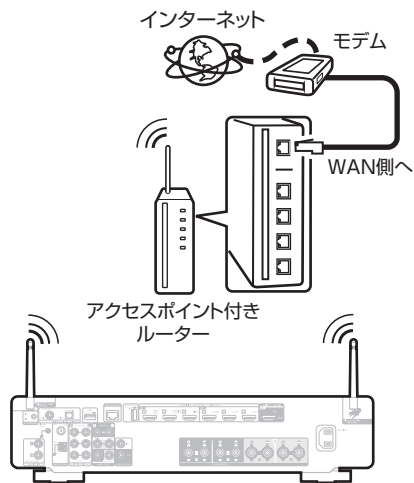
有線 LAN で接続する場合は、図のようにルーターと本機を LAN ケーブルで接続してください。



無線 LAN

無線 LAN でネットワークに接続する場合は、リアパネルの Bluetooth/無線 LAN 用ロッドアンテナを立ててご使用ください。

無線 LAN ルーターとの接続方法は、“Wi-Fi 設定”をご覧ください。
([P.149](#) ページ)



- 本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルーターをおすすめします。
 - DHCP サーバー内蔵
LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
 - 100BASE-TX スイッチ内蔵
複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。
- STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルを使用してください。(CAT-5 以上を推奨)
- LAN ケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルを使用すると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。
- DHCP 機能のないネットワークに本機を接続して使用する場合は、メニューの“ネットワーク”で IP アドレスなどの設定をおこなってください。([P.148](#) ページ)

ご注意

- ISP 業者によって使用できるルーターの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルーターが必要です。
- 電気通信端末機器認定品の市販ルーターなどに LAN 接続してください。
- NETWORK 端子は、直接パソコンの LAN ポート/イーサネット端子と接続しないでください。
- 各種オンラインサービスは、予告なく終了する場合があります。



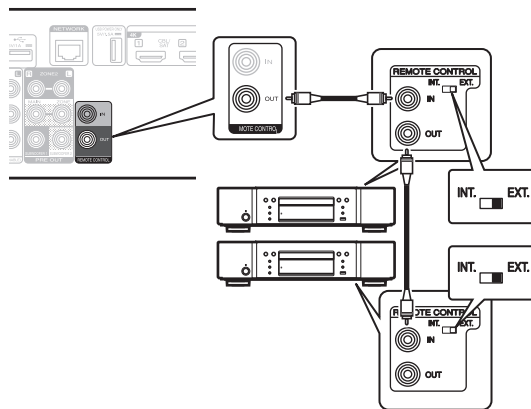
外部のコントロール機器を接続する

リモートコントロール端子


本機のリモートコントロール端子と他のマランツ製機器のリモートコントロール端子を接続すると、接続した機器を 1 つのシステムとして操作できます。

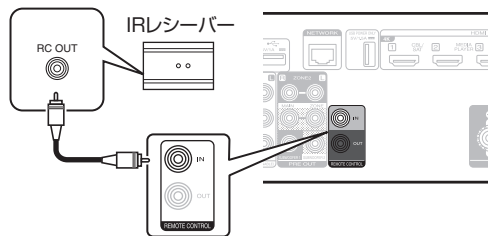
■ 本機から接続する機器をコントロールする場合

- 本機の REMOTE CONTROL OUT 端子と、接続する機器の REMOTE CONTROL IN 端子を接続してください。
- リモコン操作は本機に向けておこなってください。リモコンから送信された赤外線の手号は、本機のリモートコントロール受光部で受光し、リモートコントロール端子を通して他の機器に送られます。
- 本機と接続する機器の背面にリモートコントロールスイッチがある場合は、“EXTERNAL”または“EXT.”に設定して下さい。
- マランツ製のパワーアンプ(Hi-Fi アンプを含む)をこれらの端子のいずれかに接続すると、パワーアンプの電源も本機の電源と連動して動作します。



■ 接続する機器から本機をコントロールする場合

- 本機の REMOTE CONTROL IN 端子と、接続する機器の REMOTE CONTROL OUT 端子を接続してください。
- この操作をおこなう場合は、「リモートロック機能」で本機のリモコン信号の受信機能を無効に設定してください。
( 113 ページ)

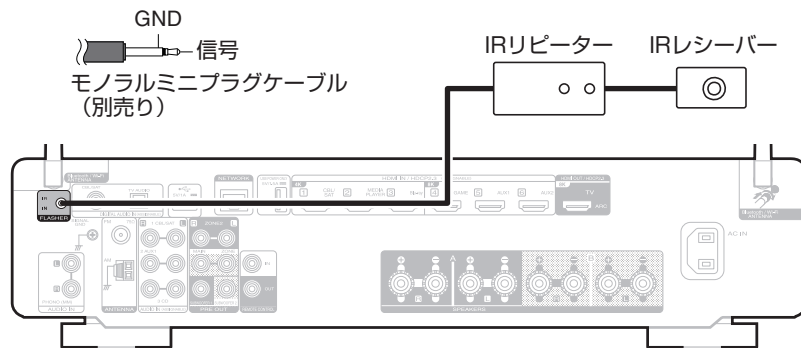


ご注意

- 赤外線送受信機を接続しない場合は、必ずリモコン信号の受信機能を有効に設定してください。無効に設定すると、リモコンの操作ができなくなります。

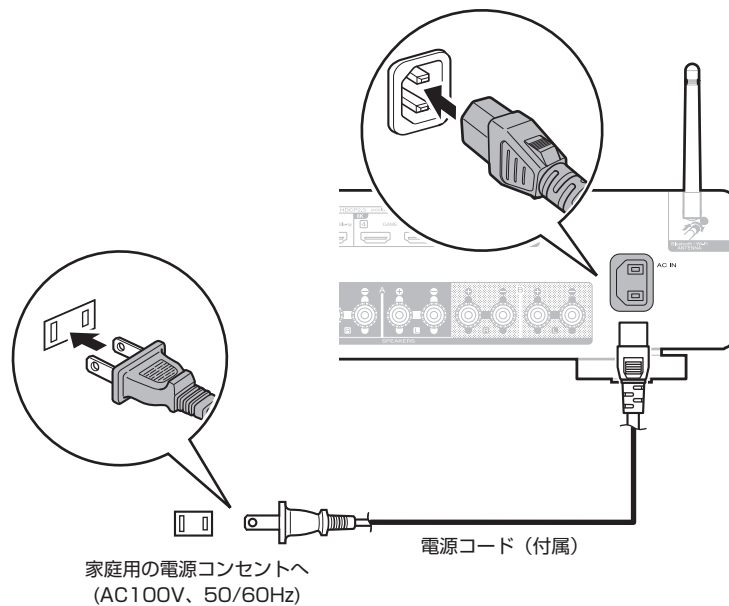
フラッシャーイン端子(FLASHER IN)

市販(別売り)の IR リピーターを本機の FLASHER IN 端子に接続すると、キャビネットなどリモコン信号が届かない場所に本機を設置した場合でもリモコンで操作することができます。



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



■ 目次

基本操作

電源を入れる	53
入力ソースを選ぶ	53
音量を調節する	54
一時的に音を消す(ミュート)	54
サウンドモードを選ぶ	102

機器を再生する

ブルーレイディスクや DVD プレーヤーを再生する	54
USB メモリーを再生する	55
Bluetooth 機器の音楽を聴く	59
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く	63
FM 放送または AM 放送を聴く	67

ネットワークオーディオ/サービスを再生する

インターネットラジオを聴く	75
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	77
HEOS アプリをダウンロードする	81
AirPlay 機能	90
Spotify Connect 機能	93

便利な機能

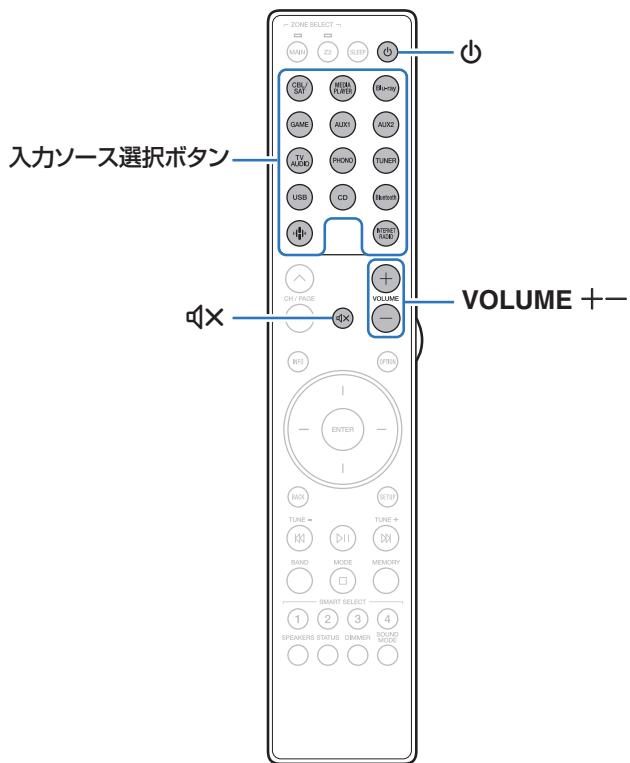
便利な機能	94
HDMI コントロール機能	104
スリープタイマー機能	105
スマートセレクト機能	107
フロントキーロック機能	111
リモートロック機能	113

その他の機能

ウェブコントロール機能	115
ゾーン 2(別の部屋)での再生	117



基本操作



電源を入れる

1 POWER を押して、電源を入れる。



- 電源がスタンバイ状態のときに入力ソース選択ボタンを押しても、電源がオンになります。
- 本体の POWER を押しても電源を入れることができます。

入カソースを選ぶ

1 再生する入力ソース選択ボタンを押す。
入力ソースをダイレクトに選択できます。



- 本体の INPUT を回しても、入力ソースを選択できます。



音量を調節する

1 VOLUME +/- を押して、音量を調節する。








- 入力信号やチャンネルレベルの設定などにより、調節できる範囲が異なります。
- 本体の VOLUME を回しても、音量を調節できません。

一時的に音を消す(ミュート)

1 MUTE を押す。

- ディスプレイの MUTE 表示が点滅します。
- テレビ画面に  を表示します。



- メニューの“ミュートレベル”で音量の減衰量を設定できます。
( 130 ページ)
- ミュートを解除するときは、音量を調節するか、もう一度 MUTE  を押してください。
- “スクリーンセーバー”の設定が“オン”のときに、テレビ画面に  アイコンが表示された状態で5分経過すると、 アイコンはテレビ画面上をランダムに移動します。( 138 ページ)

ブルーレイディスクやDVDプレーヤーを再生する

ここでは、ブルーレイディスクやDVDプレーヤーの再生のしかたを例に説明します。

1 再生の準備をする。

- ① テレビ、サブウーハーおよびプレーヤーの電源を入れる。
- ② テレビの入力を本機の入力に設定する。

2 POWER を押して、本機の電源を入れる。

3 Blu-ray を押して、再生するプレーヤーの入力ソースに切り替える。

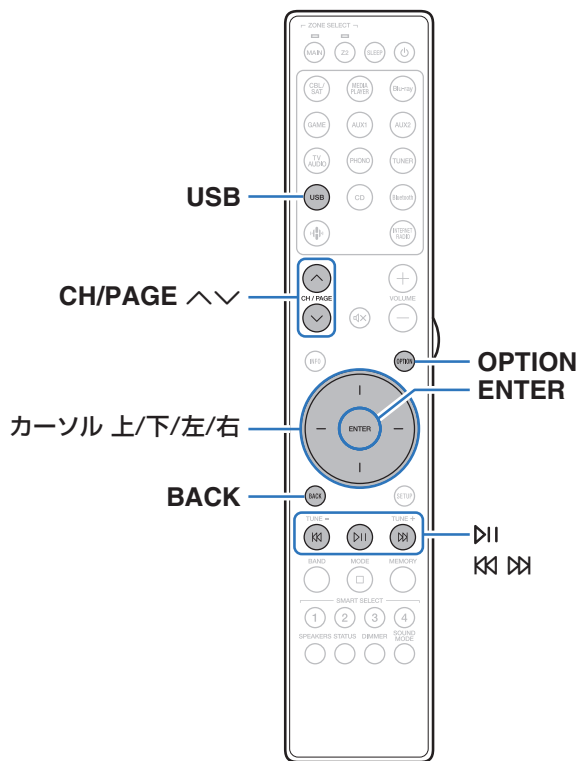
4 ブルーレイディスクやDVDプレーヤーを再生する。



- 本機はアナログ音声信号およびPCM 2チャンネル信号の再生に対応しています。DVD やブルーレイディスクを再生する場合は、再生機器の設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。



USB メモリーを再生する



- USB メモリーに保存されている音楽ファイルを再生できます。
- 本機は、マストレージクラスに対応している USB メモリーのみ再生できます。
- USB メモリーは、“FAT32” または “NTFS” フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「USB メモリーの再生について」(P.205 ページ)をご覧ください。

- WMA
- MP3
- WAV
- MPEG-4 AAC
- FLAC
- Apple Lossless
- DSD



USB メモリーに保存されているファイルを再生する

- 1 “FAT32” または “NTFS” でフォーマットされた USB メモリーを USB 端子に挿入する。
- 2 USB を押して、入力ソースを“USB”に切り替える。
- 3 本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。

4 USB メモリー内の音楽データから、再生したい音楽を選ぶ。

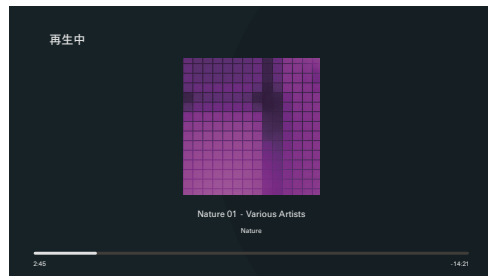


- 音楽をどのようにリストに追加するかを選択します。

すぐに再生:	現在再生している曲の直後に選択した音楽を追加し、その曲をすぐに再生します。
今すぐ再生してキューを入れ替え:	キューを削除し、選択した曲をすぐに再生します。
次に再生:	現在再生しているトラックの直後に選択した曲を追加し、再生中の曲が終わったら選択した曲を再生します。
キューの最後に追加:	選択した曲をキューの最後に追加します。



- 5 カーソル 上/下を押して“すぐに再生”または“今すぐ再生してキューを入れ替え”を選び、ENTER を押す。再生をはじめます。



操作ボタン	機能
⏮	再生/一時停止
⏪ ⏩	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
CH/PAGE ⏪ ⏩	リストを表示中に、前のページへ移動/次のページへ移動









- MP3 形式の音楽ファイルでアルバムアートのデータを持っている場合は、音楽ファイルを再生中にアルバムアートを表示させることができます。

ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本機に USB メモリーを接続すると、本機は USB メモリーのすべてのファイルを読み込みます。USB メモリーにフォルダ数やファイル数が多い場合、読み込みに時間がかかることがあります。

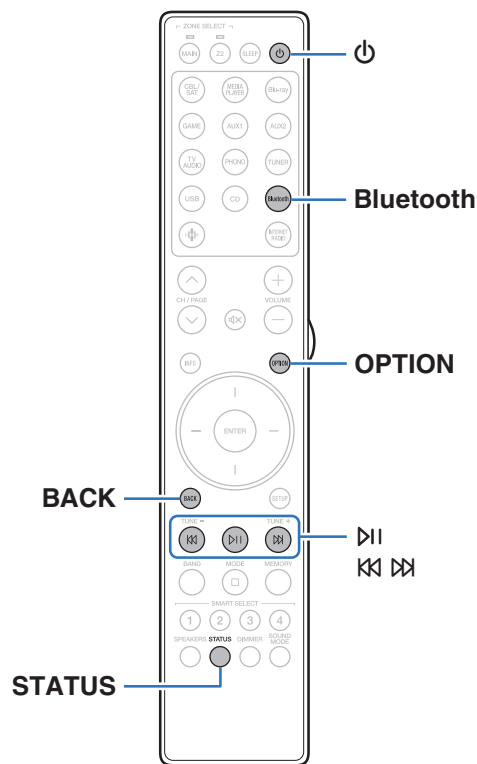


■ オプションメニューでできる操作

- 「左右のスピーカーの音量バランスを調節する(バランス)」
( 96 ページ)
- 「サブウーハーの音量を調節する(サブウーハー)」( 97 ページ)
- 「トーンを調節する(トーンコントロール)」( 98 ページ)
- 「音声の出カタイミングを調節する(オーディオディレイ)」
( 99 ページ)
- 「音声の再生中にお好みの映像をテレビに映す(ビデオセレクト)」( 100 ページ)
- 「すべてのゾーンで同じ音楽を再生する(All Zone Stereo)」
( 101 ページ)



Bluetooth 機器の音楽を聴く



スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなどの Bluetooth 機器と本機をペアリングして接続すると、Bluetooth 機器の音楽ファイルをワイヤレスで楽しむことができます。約 30m の範囲内で通信できます。

ご注意

- Bluetooth 機器の音楽を再生するには、Bluetooth 機器が A2DP プロファイルをサポートしている必要があります。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

Bluetooth 機器の音楽を本機で楽しむときは、あらかじめご使用になる Bluetooth 機器と本機をペアリングしてください。
一度ペアリングすれば、再度ペアリングする必要はありません。

1 再生の準備をする。

- ① 付属の Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナを、リアパネルの Bluetooth/Wi-Fi ANTENNA 端子に接続する。
( 21 ページ)
- ② POWER  を押して、本機の電源を入れる。

2 Bluetooth を押す。

はじめてご使用になる場合は、自動的にペアリングモードになり、本機のディスプレイに“Pairing...”を表示します。



3 Bluetooth 機器の Bluetooth 機能を有効にする。

4 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。

本機のディスプレイに“Pairing”が表示されている間に、Bluetooth 機器の接続操作をおこなってください。
また、Bluetooth 機器の接続操作は、本機に近い距離(1m 程度)でおこなってください。

5 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。

- 本機のリモコンでも Bluetooth 機器を操作できます。
- 次回以降、リモコンの Bluetooth を押した場合、本機は自動的に最後に接続していた Bluetooth 機器に接続します。

操作ボタン	機能
	再生/一時停止
	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ



- 再生中にリモコンの STATUS を押すと、タイトル名、アーティスト名、アルバム名などを切り替えて表示します。



2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする

Bluetooth 機器と本機をペアリングします。

- 1 Bluetooth 機器の Bluetooth 機能を有効にする。
- 2 リモコンの Bluetooth を 3 秒以上押す。
本機はペアリングモードになります。
- 3 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。



- 本機は最大 8 台の Bluetooth 機器とペアリングできます。9 台目の Bluetooth 機器をペアリングすると、一番古い機器に置き換えて登録します。
- Bluetooth の再生画面が表示されているときに OPTION を押し、表示されたオプションメニューから“ペアリングモード”を選択しても、ペアリングモードに入ることができます。

ご注意

- 本機のリモコンで操作するには、Bluetooth 機器が AVRCP プロファイルに対応している必要があります。
- すべての Bluetooth 機器に対するリモコン操作を保証するものではありません。
- Bluetooth 機器によっては、本機は Bluetooth 機器で設定している音量と連動して音声を出力します。

■ オプションメニューでできる操作

- 「2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする」(P.61 ページ)
- 「左右のスピーカーの音量バランスを調節する(バランス)」(P.96 ページ)
- 「サブウーハーの音量を調節する(サブウーハー)」(P.97 ページ)
- 「トーンを調節する(トーンコントロール)」(P.98 ページ)
- 「音声の出力タイミングを調節する(オーディオディレイ)」(P.99 ページ)
- 「音声の再生中にお好みの映像をテレビに映す(ビデオセレクト)」(P.100 ページ)
- 「すべてのゾーンで同じ音楽を再生する(All Zone Stereo)」(P.101 ページ)



Bluetooth 機器から本機に再接続する

ペアリングが済んでいれば、本体の操作をせずに接続することができます。

再生する Bluetooth 機器を切り替える場合にもこの操作をおこなってください。

- 1 現在接続している Bluetooth 機器がある場合、その機器の Bluetooth 設定をオフにして接続を切断する。
- 2 接続したい Bluetooth 機器の Bluetooth 設定をオンにする。
- 3 お使いの Bluetooth 機器の Bluetooth 機器リストから本機を選択する。
- 4 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。



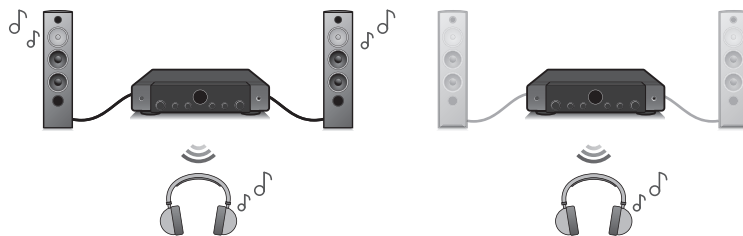
- 本機の電源がオンのときに Bluetooth 機器の接続操作をおこなうと、自動的に“Bluetooth”の再生画面に切り替わります。
- 本機の“ネットワークコントロール”設定を“常時オン”にし、本機がスタンバイ状態のときに Bluetooth 機器から接続操作をおこなうと、自動的に本機の電源はオンになります。(P.152 ページ)



Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く

メインゾーンで再生している音声を Bluetooth ヘッドホンで聴くことができます。

本機の Bluetooth 送信機能は、ご使用の環境に合わせてスピーカーと Bluetooth ヘッドホンの音声を同時に出力したり、Bluetooth ヘッドホンのみの音声を出力したりすることができます。



(出力モード: Bluetooth + スピーカー) (出力モード: Bluetoothのみ)

Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く

- 1 メニューの“一般” - “Bluetooth 送信”の設定で、“送信”を“オン”に設定する。(P.161 ページ)
- 2 “出力モード”を選び、音声の出力方法を設定する。

	音声は Bluetooth ヘッドホンとメインゾーンのスピーカーに出力されます。
Bluetooth + スピーカー (お買い上げ時の設定):	Bluetooth ヘッドホンを使用してもスピーカーから音声出力されますので、ご家族と一緒に映画などを楽しむことができます。
Bluetooth のみ:	音声は Bluetooth ヘッドホンのみに出力されます。 夜間など一人で音楽や映画を視聴したいときにご使用ください。
- 3 本機に接続したい Bluetooth ヘッドホンペアリングモードにする。
- 4 “デバイスリスト”を選び、デバイスリストから接続したい Bluetooth ヘッドホンの機器名を選ぶ。
- 5 接続が完了したら、Bluetooth ヘッドホン側で音量を調節する。



- “出力モード”はオプションメニューの“Bluetooth 送信”からでも設定できます。
- Bluetooth ヘッドホンの接続と同じ操作で A2DP プロファイル対応の Bluetooth スピーカーも接続できます。

ご注意

- Bluetooth ヘッドホンの音量は本機の音量調節つまみ (VOLUME) やリモコンの VOLUME では調節できません。Bluetooth ヘッドホン側で音量を調節してください。Bluetooth ヘッドホン側で音量を調節してください。
- 音量調節機能がない Bluetooth ヘッドホンを使用する場合または十分な音量が得られない場合は、オプションメニューの“Bluetooth 送信” - “レベル”で音量を調節してください。(P.65 ページ)
- Bluetooth ヘッドホンを使用する場合、サウンドモードはステレオモードで固定されます。本機のオーディオ設定やサウンドモードは、Bluetooth ヘッドホンの音声出力には反映されません。Bluetooth ヘッドホンを使用して“出力モード”を“Bluetooth のみ”に設定している場合は、オーディオ設定、サウンドモードおよびオールゾーンステレオモードは使用できません。
- Bluetooth ヘッドホンに送信する音声は遅延する場合があります。
- AirPlay の音声は送信できません。
- いずれかのゾーンで Bluetooth 入力ソースを選択している場合は、Bluetooth ヘッドホンに接続できません。また、いずれかのゾーンで Bluetooth 入力ソースを選択すると、本機と Bluetooth ヘッドホンの接続が切断されます。
- 本機が HEOS アプリでグループ化されている場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。



Bluetooth ヘッドホンの音量を調節する

音量調節機能がない Bluetooth ヘッドホンを使用する場合または十分な音量が得られない場合は、オプションメニューの“Bluetooth 送信” - “レベル”で音量を調節してください。

1 OPTION を押す。

オプションメニュー画面を表示します。

- 入力ソースが“HEOS Music”のときは、オンラインミュージックのオプションメニュー画面を表示します。“レシーバー オプション”を選び、ENTER を押す。

2 カーソル 上/下を押して“Bluetooth 送信”を選び、ENTER を押す。

“Bluetooth 送信”画面を表示します。

3 カーソル上/下を押して、“レベル”を選ぶ。

4 カーソル左/右を押して音量を調節し、ENTER を押す。

-50 dB~+10 dB(お買い上げ時の設定:0 dB)



- この設定は、接続する Bluetooth ヘッドホンの機種を問わず共通で反映されます。

Bluetooth ヘッドホンに再接続する

一度ペアリングが済んでいれば、次のいずれかの操作をすると、最後に使用した Bluetooth ヘッドホンに再接続することができます。

- Bluetooth ヘッドホンの再接続機能を使用して、本機に再接続する。
- オプションメニューの“Bluetooth 送信”の設定で“再接続”を選択して、Bluetooth ヘッドホンに再接続する。
- “出力モード”の設定が“Bluetooth + スピーカー”のときに本機の電源をオンにする。最後に使用した Bluetooth ヘッドホンに再接続します。
- メニューの“Bluetooth 送信” - “デバイスリスト”から接続したい機器名を選択する。(P.161 ページ)



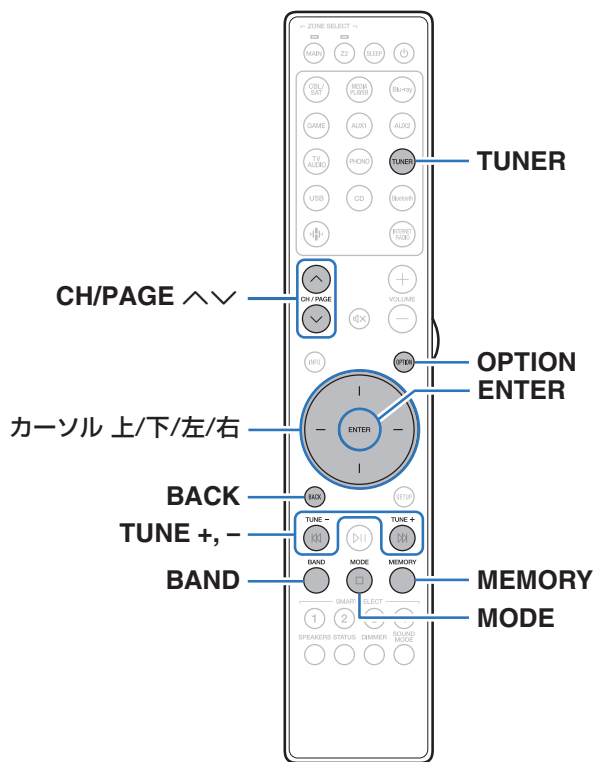
Bluetooth ヘッドホンを切断する

次のいずれかの操作をすると、Bluetooth ヘッドホンとの接続を切断することができます。

- Bluetooth ヘッドホンの電源をオフにする。
- オプションメニューの“Bluetooth 送信”の設定で“切断”を選択し、Bluetooth ヘッドホンを切断する。
- メニューの“一般” - “Bluetooth 送信”の設定で“送信”をオフに設定する。(P.161 ページ)



FM放送またはAM放送を聴く



本機に内蔵のチューナーを使用して、FM 放送および AM 放送を聴くことができます。
事前に必ず FM アンテナおよび AM ループアンテナを本機に接続してください。



FM 放送または AM 放送を聴く

- 1 アンテナを接続する。(「FM アンテナや AM ループアンテナを接続する」(P.44 ページ))
- 2 TUNER を押して、入力ソースを“Tuner”に切り替える。

【テレビ画面】



【本体のディスプレイ】

01 FM
76.00MHz

- 3 OPTION を押す。
オプションメニュー画面を表示します。
- 4 カーソル 上/下を押して“FM/AM”を選び、ENTER を押す。
受信バンド入力画面を表示します。

- 5 カーソル 左/右を押して“FM”または“AM”を選び、ENTER を押す。

FM: FM 放送を聴くときに選択します。

AM: AM 放送を聴くときに選択します。

- 6 TUNE + または TUNE - を押して、聴きたい放送局を選ぶ。
受信可能な放送局が見つかるまでスキャンします。放送局が見つかったと自動的にスキャンを停止して受信します。



- FM 放送局を受信するモードには、本機が自動的に受信できる放送局を探して受信する“オート”モードと、ボタン操作で周波数を切り替えて受信する“マニュアル”モードがあります。お買い上げ時の設定は“オート”です。そのほかにも受信周波数の数字を入力して受信する“ダイレクトチューニング”モードがあります。
“オート”モードでは、受信状態が良くない放送局は受信できません。その場合は“マニュアル”モードまたは“ダイレクトチューニング”モードで受信してください。

操作ボタン	機能
TUNE +, -	放送局の選択(アップ/ダウン)
BAND	FM と AM の切り替え
MODE	チューニングモードの切り替え
MEMORY	プリセット登録
CH/PAGE ^/v	プリセット登録した放送局の選択
カーソル 上/下	放送局の選択(アップ/ダウン)
カーソル 左/右	プリセット登録した放送局の選択



■ オプションメニューでできる操作

- 「周波数を入力して受信する(ダイレクトチューニング)」(☞69 ページ)
- 「受信モードを変更する(チューニングモード)」(☞70 ページ)
- 「自動で放送局を選局しプリセットする(オートプリセットメモリー)」(☞70 ページ)
- 「聴いている放送局をプリセットする(プリセットメモリー)」(☞71 ページ)
- 「プリセットした放送局に名前をつける(プリセットネーム)」(☞72 ページ)
- 「プリセットした放送局をスキップする(プリセットスキップ)」(☞73 ページ)
- 「左右のスピーカーの音量バランスを調節する(バランス)」(☞96 ページ)
- 「サブウーハーの音量を調節する(サブウーハー)」(☞97 ページ)
- 「トーンを調節する(トーンコントロール)」(☞98 ページ)
- 「音声の出力タイミングを調節する(オーディオディレイ)」(☞99 ページ)
- 「音声の再生中にお好みの映像をテレビに映す(ビデオセレクト)」(☞100 ページ)
- 「すべてのゾーンで同じ音楽を再生する(All Zone Stereo)」(☞101 ページ)

周波数を入力して受信する(ダイレクトチューニング)

ダイレクトに周波数を入力して、放送局を受信します。

- 1 入力ソースが“Tuner”のときに、OPTION を押す。
オプションメニュー画面を表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“ダイレクトチューニング”を選び、ENTER を押す。
周波数入力画面を表示します。
- 3 カーソル 上/下を押してを数字を選び、カーソル右を押す。
 - カーソル 左を押すと、1 つ前に入力した周波数を取り消すことができます。
- 4 手順3をくり返し、聴きたい放送局の周波数を入力する。
- 5 入力が完了したら、ENTER を押す。
放送局を受信します。



受信モードを変更する(チューニングモード)

受信モードを変更します。“オート”モードで自動的に放送局を受信できないときは、“マニュアル”モードに変更し、手動で放送局を受信してください。

- 1 入力ソースが“Tuner”のときに、OPTION を押す。
オプションメニュー画面を表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“チューニングモード”を選び、ENTER を押す。
- 3 カーソル 左/右を押してチューニングモードを選び、ENTER を押す。

オート:	自動的に受信できる放送局を探して受信するモードです。
マニュアル:	ボタン操作で 1 ステップずつ周波数を切り替えて受信するモードです。

自動で放送局を選局しプリセットする(オートプリセットメモリー)

自動で最大 56 局までプリセットできます。

- 1 入力ソースが“Tuner”のときに、OPTION を押す。
オプションメニュー画面を表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“オートプリセットメモリー”を選び、ENTER を押す。
- 3 ENTER を押す。
自動で放送局を受信し、プリセットをはじめます。
 - プリセットが完了すると“完了しました”を約 5 秒間表示し、オプションメニュー画面が消灯します。



- プリセットメモリーは上書きされます。



聴いている放送局をプリセットする(プリセットメモリー)

手動でお好みの放送局を選局し、プリセットします。
最大 56 局までプリセットできます。

- 1 **プリセットしたい放送局を受信する。**(「FM 放送または AM 放送を聴く」(P.68 ページ))
- 2 **OPTION を押す。**
オプションメニュー画面を表示します。
- 3 **カーソル 上/下を押して“プリセットメモリー”を選び、ENTER を押す。**
すでにプリセットされているチャンネルリストを表示します。
- 4 **カーソル 上/下を押してプリセットしたいチャンネルを選び、ENTER を押す。**
現在受信している放送局をプリセットします。
 - 続けて他の放送局をプリセットする場合は、手順 1~4 をおこなってください。



- リモコンの MEMORY を押しても、お気に入りの放送局をプリセットできません。
 1. プリセットしたい放送局を受信する。
(「FM 放送または AM 放送を聴く」(P.68 ページ))
 2. MEMORY を押す。
 3. カーソル 上/下を押してプリセットしたいチャンネルを選ぶ。
 4. MEMORY を押す。

チャンネル	お買い上げ時の設定
1~8	76.00 / 83.00 / 89.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00MHz
9~16	90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00MHz
17~24	90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00MHz
25~32	90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00MHz
33~40	90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00MHz
41~48	90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00MHz
49~56	90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00 / 90.00MHz

プリセットした放送局を聴く

- 1 **CH/PAGE へ▼を押して、プリセットした放送局を選ぶ。**



プリセットした放送局に名前をつける (プリセットネーム)

プリセットした放送局に名前をつけたり、変更したりすることができます。

8文字まで入力できます。

- 1 入カソースが“Tuner”のときに、OPTION を押す。
オプションメニュー画面を表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“プリセットネーム”を選び、ENTER を押す。
“プリセットネーム”画面を表示します。
- 3 カーソル 左/右を押して、名前をつけたい放送局のグループを選ぶ。
- 4 カーソル 上/下を押して名前を付ける放送局を選び、ENTER を押す。
プリセットネームの編集画面を表示します。
 - “クリア”を選択すると、周波数表示に戻ります。

- 5 文字を入力して“OK”を押す。
- 6 OPTION を押して、元の画面に戻る。



プリセットした放送局をスキップする (プリセットスキップ)

オートプリセットメモリーをおこなうと、受信できる放送局をすべてメモリーします。不要なメモリーをスキップさせることで選局しやすくなります。

- 1 入カソースが“Tuner”のときに、OPTION を押す。
オプションメニュー画面を表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“プリセットスキップ”を選び、ENTER を押す。
“プリセットスキップ”画面を表示します。
- 3 スキップしたい放送局をグループごとに設定するとき
 - ① カーソル 左/右を押して、スキップしたい放送局のグループを選ぶ。
 - ② カーソル 上を押して“*-*”をスキップ設定にします”を選び、ENTER を押す。
選択したグループ“*-*”に含まれるすべての放送局をスキップします。
(* は選択しているグループ番号です。)

スキップしたい放送局ごとに設定するとき

- ① カーソル 左/右を押して、スキップしたい放送局のグループを選ぶ。
- ② カーソル 上/下を押して、スキップしたい放送局を選ぶ。
- ③ カーソル 左/右を押して、“スキップ”を選ぶ。
選択した放送局をスキップします。

4 OPTION を押して、元の画面に戻る。



プリセットスキップを解除する

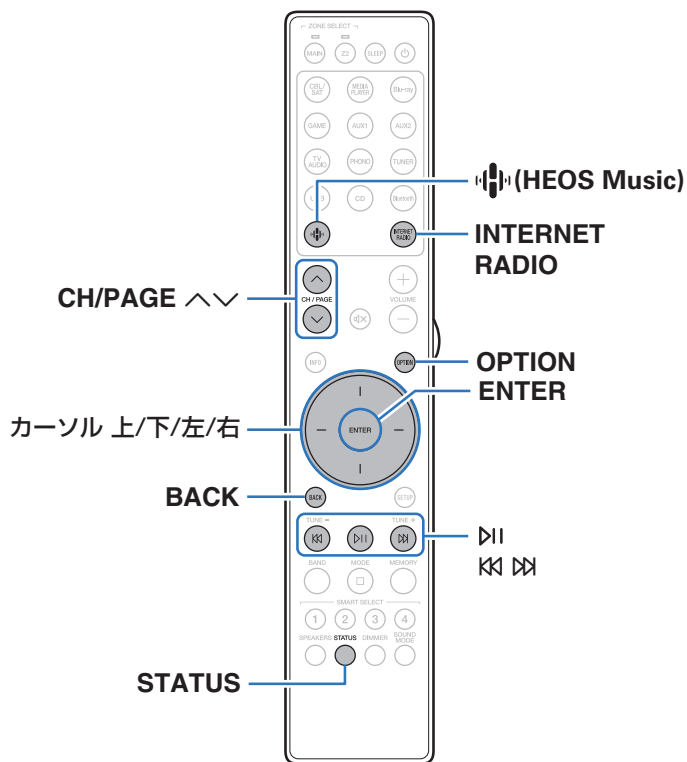
- 1 “プリセットスキップ”画面を表示中にカーソル 左/右を押して、スキップを解除したい放送局を含むグループを選ぶ。
- 2 カーソル 上/下を押して、スキップを解除したい放送局を選ぶ。
- 3 カーソル 左/右を押して、“オン”を選ぶ。
スキップを解除します。

ご注意

- “プリセットスキップ”の解除をグループごとにおこなうことはできません。



インターネットラジオを聴く




- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
- 本機のインターネットラジオ局リストは、TuneIn ラジオサービスのデータベースサービスを利用しています。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「インターネットラジオの再生について」(P.208 ページ)をご覧ください。

- WMA
- MP3
- MPEG-4 AAC






インターネットラジオを聴く

1 INTERNET RADIO を押す。

-  (HEOS Music) を押しても操作ができます。カーソル上/下を押して「TuneIn インターネットラジオ」を選び、ENTER を押す。

2 再生したい放送局を選ぶ。

操作ボタン	機能
 *	再生/一時停止
 *	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
CH/PAGE 	リストを表示中に、前のページへ移動/次のページへ移動

* ポッドキャストを再生中に有効です。










- リモコンの STATUS を押すたびにタイトル名、放送局名などを切り替えて表示します。

ご注意

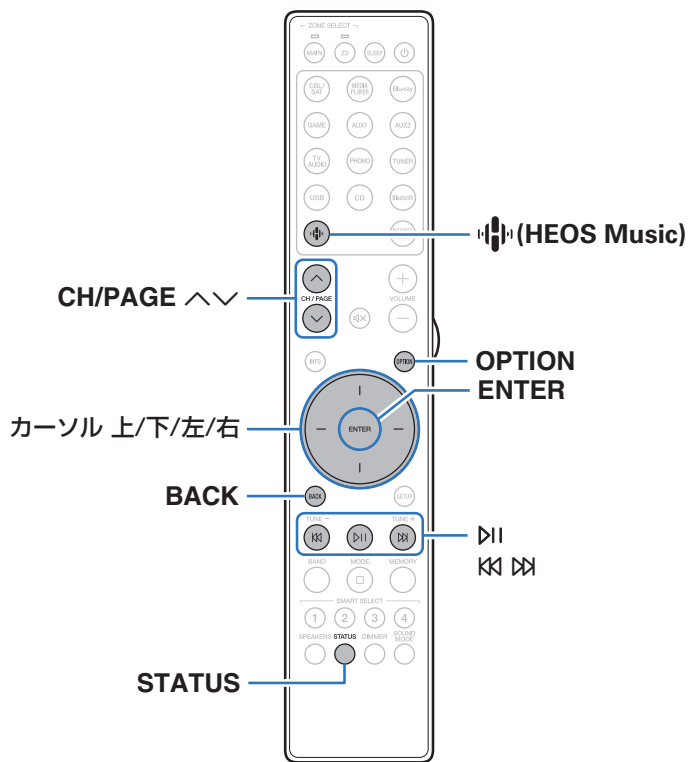
- ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。

■ オプションメニューでできる操作

- 「HEOS お気に入りに追加する」( 96 ページ)
- 「左右のスピーカーの音量バランスを調節する(バランス)」( 96 ページ)
- 「サブウーハーの音量を調節する(サブウーハー)」( 97 ページ)
- 「トーンを調節する(トーンコントロール)」( 98 ページ)
- 「音声の出カタイミングを調節する(オーディオディレイ)」( 99 ページ)
- 「音声の再生中にお好みの映像をテレビに映す(ビデオセレクト)」( 100 ページ)
- 「すべてのゾーンで同じ音楽を再生する(All Zone Stereo)」( 101 ページ)



パソコンやNASに保存されているファイルを再生する



- 本機では、パソコンやDLNA対応のNAS(Network Attached Storage)に保存されている音楽ファイルやプレイリスト(m3u、wpl)を再生できます。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「パソコンやNASに保存されているファイルの再生について」(P.207ページ)をご覧ください。


- WMA
- MP3
- WAV
- MPEG-4 AAC
- FLAC
- Apple Lossless
- DSD



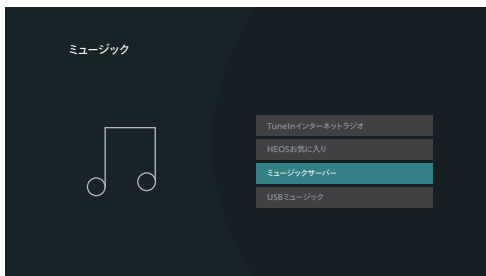
パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

DLNA ファイルサーバーに保存されている音楽ファイルやプレイリストを再生する場合におこないます。

1 (HEOS Music) を押す。

再生履歴がある場合は、最後に再生したインターネットラジオ局や曲を再生します。再度  (HEOS Music) を押すと、HEOS Music のトップメニューを表示します。

2 カーソル 上/下を押してネームラベルを選び、ENTER を押す。



3 ネットワーク上のパソコンまたはNAS(Network Attached Storage)名を選ぶ。

4 パソコンまたはNAS内の音楽データから、再生する音楽を選ぶ。

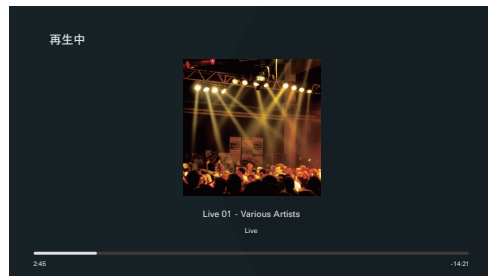


- 音楽をどのようにリストに追加するかを選択します。

すぐに再生:	現在再生している曲の直後に選択した音楽を追加し、その曲をすぐに再生します。
今すぐ再生してキューを 入れ替え:	キューを削除し、選択した曲をすぐ再生します。
次に再生:	現在再生しているトラックの直後に選択した曲を追加し、再生中の曲が終わったら選択した曲を再生します。
キューの最後に追加:	選択した曲をキューの最後に追加します。



5 カーソル 上/下を押して“すぐに再生”または“今すぐ再生してキューを入れ替え”を選び、ENTER を押す。再生をはじめます。



操作ボタン	機能
▶	再生/一時停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
CH/PAGE ◀▶	リストを表示中に、前のページへ移動/次のページへ移動









- リモコンの STATUS を押すたびにタイトル名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示します。
- WMA (Windows Media Audio)、MP3、MPEG-4 AAC のファイルで、アルバムアートのデータを持っている場合は、音楽ファイルを再生中にアルバムアートを表示できます。
- WMA ファイルのアルバムアートは、Windows Media Player(バージョン 11 以上)を使用することで表示できます。

ご注意

- 無線 LAN を経由して接続されたパソコンまたは NAS で音楽ファイルを再生すると、無線 LAN 環境によっては音声途切れることがあります。このような場合は、有線 LAN で接続してください。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、頭文字での検索が正しく動作せず、曲の表示順がアルファベット順にならない場合があります。



■ オプションメニューでできる操作

- 「左右のスピーカーの音量バランスを調節する(バランス)」
( 96 ページ)
- 「サブウーハーの音量を調節する(サブウーハー)」( 97 ページ)
- 「トーンを調節する(トーンコントロール)」( 98 ページ)
- 「音声の出カタイミングを調節する(オーディオディレイ)」
( 99 ページ)
- 「音声の再生中にお好みの映像をテレビに映す(ビデオセレクト)」( 100 ページ)
- 「すべてのゾーンで同じ音楽を再生する(All Zone Stereo)」
( 101 ページ)



HEOS アプリをダウンロードする

HEOS アプリから多くのオンライン音楽ストリーミングサービスを使用することができます。無料または有料配信で、より多くの音楽を提供するオンラインミュージックサービスをご使用いただけます。

App ストア、Google Play ストアまたは Amazon アプリストアで“HEOS”を検索して、iOS 用または Android 用の HEOS アプリをダウンロードしてください。



HEOS アカウント

HEOS アカウントは、HEOS App の“ミュージック”タブ - “詳細な設定”アイコン  をタップして登録してください。

HEOS アカウントを作成またはサインインすると、HEOS お気に入り機能を使用して本機の画面からお気に入りのストリーミングラジオ局を保存したり呼び出すことができます。

■ HEOS アカウントとは

HEOS アカウントは、1 つのユーザー名とパスワードですべての HEOS 音楽サービスを管理するマスターアカウントです。


■ HEOS アカウントが必要な理由

HEOS アカウントでログインすれば、例えば友人宅の HEOS システムで音楽を聴くときでも、アカウント登録しているストリーミング音楽サービスや再生履歴、カスタムプレイリストにアクセスできます。

■ HEOS アカウントに登録する

HEOS アプリの“ミュージック”メニューからはじめて音楽サービスにアクセスするときに、HEOS アカウントへの登録をおすすめするメッセージと登録画面を表示します。

■ HEOS アカウントを変更する

- 1 “ミュージック”タブをタップする。
- 2 画面左上の詳細な設定アイコン  をタップする。
- 3 “HEOS アカウント”をタップする。
- 4 位置情報の変更やパスワードの変更、アカウントの削除、サインアウトをおこなう。



- HEOS App でアカウントの設定変更やサインアウトをおこなうと、本機も自動的に同期します。



ストリーミング音楽サービスを再生する

無料または有料配信で、より多くの音楽を提供するオンラインミュージックサービスをご使用いただけます。


ご注意

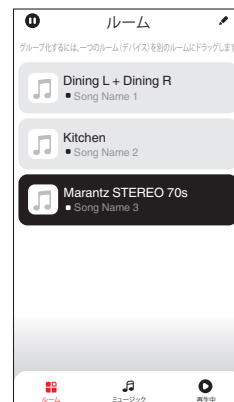
- HEOS アプリおよびブランドは、どちらのモバイルデバイスの製造元とも提携していません。音楽サービスの提供は地域によって異なり、製品購入時にすべてのサービスが利用できるわけではありません。音楽サービスプロバイダまたは第三者の決定に基づき、いくつかのサービスが追加または中止されることがあります。

■ 再生する部屋/HEOS 機器を選ぶ

- 1 “ルーム”タブをタップする。複数の HEOS 機能搭載機器がある場合は、“Marantz STEREO 70s”を選ぶ。



- 右上のえんぴつアイコンをタップすると編集モードになり、表示名を変更することができます。

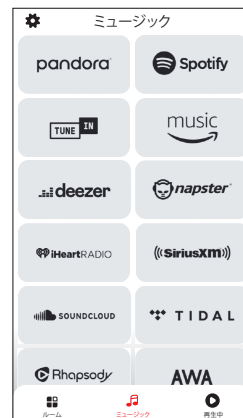


■ 音楽ソースから音楽や放送局を選ぶ

1 “ミュージック”タブをタップし、音楽ソースを選ぶ。



- 画面に表示されている音楽サービスは、お住まいの地域により利用できない場合があります。



2 再生したい音楽を選ぶ。

音楽または放送局を選ぶと、自動的に“再生画面”画面に切り替わります。



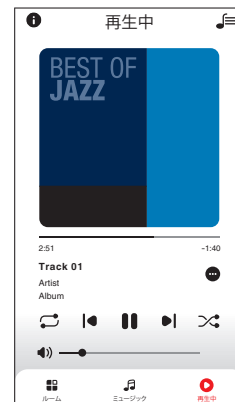
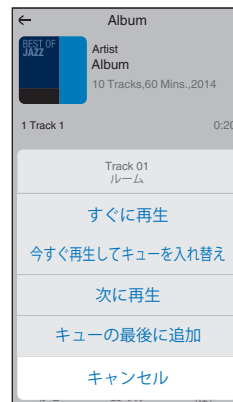
- 音楽を選択時、音楽をどのようにリストに追加するかを指定します。

すぐに再生:	現在再生している曲の直後に選択した音楽を追加し、その曲をすぐに再生します。
今すぐ再生してキューを入れ替え:	キューを削除し、選択した曲をすぐ再生します。
次に再生:	現在再生しているトラックの直後に選択した曲を追加し、再生中の曲が終わったら選択した曲を再生します。
キューの最後に追加:	選択した曲をキューの最後に追加します。



- 放送局を選択時、放送局をどのようにリストに追加するかを指定します。

すぐに再生:	選択した放送局をすぐに再生します。
HEOS お気に入り追加:	HEOS お気に入りに追加します。

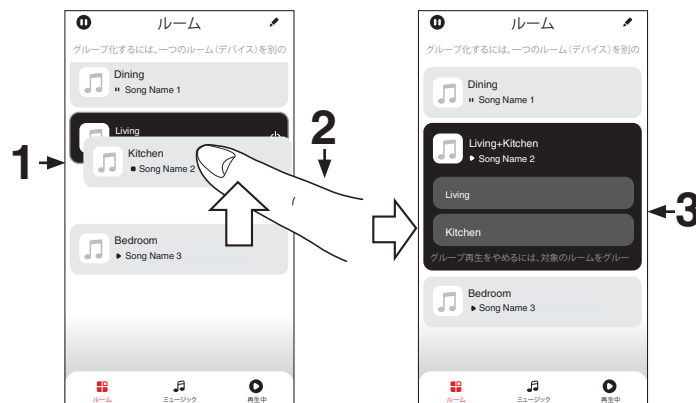


同じ音楽を複数の部屋で聴く

このシステムでは、複数の HEOS 機能搭載機器間で音楽再生を自動的に同期させることができます。これにより、さまざまな部屋で再生される音楽が完全に同期し、常に素晴らしいサウンドを得ることができます。このシステムでは最大 32 台の機器を簡単に追加できます。また最大 16 のグループ化が可能で、グループごとに完全に同期して楽曲を再生することができます。

■ 部屋をグループ化する

- 1 音楽を再生していない部屋をホールド(指で押さえたままにする)。
- 2 そのまま音楽を再生している部屋までドラッグする。
- 3 2つの部屋が1つのグループにグループ化され、両方の部屋で同じ音楽を再生する。

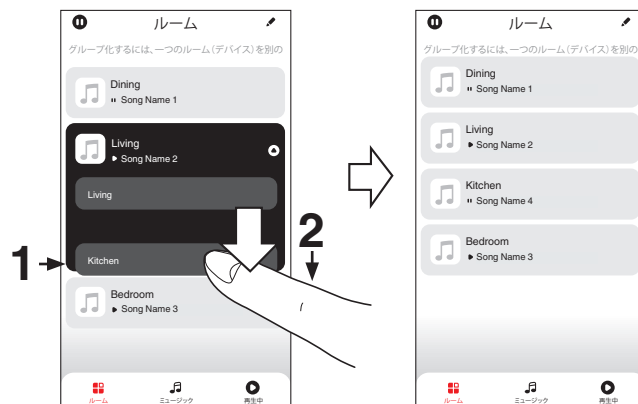


■ 部屋のグループ化を解除する

- 1 グループから外したい部屋をホールド(指で押さえたままに)する。
- 2 グループ(赤枠)の外にドラッグして、指を離す。

ご注意

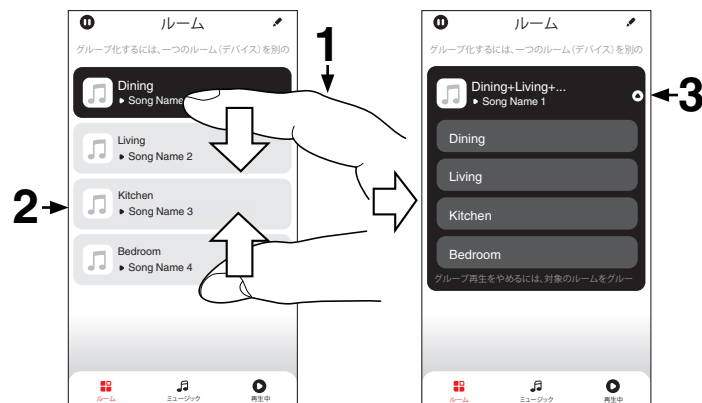
- グループ化は音楽を再生している部屋が基準となるため、その部屋をグループから解除することはできません。



■ すべての部屋をグループ化する(パーティーモード)

ピンチジェスチャーを使用して、最大 16 の部屋をグループ化できます。

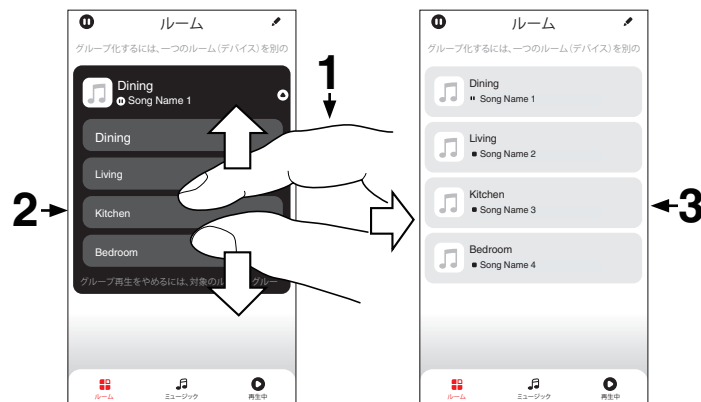
- 1 部屋のリスト上の画面に 2本の指を置く。
- 2 2本の指ですばやくつまむ動作をして、画面から離す。
- 3 すべての部屋をグループ化し、同じ音楽がすべての部屋で再生する。



■ すべての部屋のグループ化を解除する

スプレッドジェスチャーを使用して、すべての部屋のグループ化を解除できます。

- 1 部屋のリスト上の画面に2本の指を近づけて置く。
- 2 2本の指をすばやく互いに遠ざけ、画面から離す。
- 3 すべての部屋のグループ化を解除する。



AirPlay 機能

iPhone、iPod touch、iPad や iTunes に保存されている音楽ファイルを、ネットワークを経由して本機で再生できます。



- AirPlay の再生を開始すると、本機の入力ソースは自動的に“HEOS Music”に切り替わります。
- 他の入力ソースに切り替えると、AirPlay の再生が停止します。
- リモコンの STATUS を押すと、曲名とアーティスト名を確認ができます。
- iTunes の使用法は、iTunes の“ヘルプ”をご覧ください。
- 画面は、OS やソフトのバージョンによって異なる場合があります。

本機は AirPlay 2 対応製品です。

複数の AirPlay 2 に対応したデバイス/スピーカーと同期して音楽を同時に再生することが可能です。

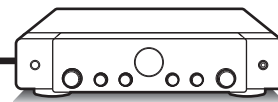


- 本機は AirPlay 2 対応製品です。iOS 11.4 以降が必要です。

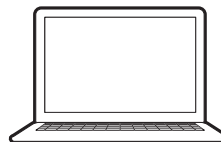
ルーター



本機



パソコン

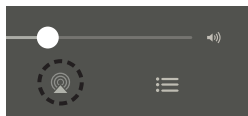


iPhone、iPod touch、iPad の曲を本機で再生する

iPhone、iPod touch、iPad を iOS 10.0.2 以上にアップデートすると、iPhone、iPod touch、iPad の曲を本機へダイレクトにストリーミングできます。

- 1 iPhone、iPod touch または iPad の Wi-Fi 設定を本機と同じネットワークに接続する。
 - 詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。
- 2 iPhone、iPod touch、iPad の曲を再生する。
iPhone、iPod touch または iPad の画面に AirPlay アイコンを表示します。
- 3 AirPlay アイコンをタップして、本機を選ぶ。

【例】iOS 15



【例】iOS 10



iTunes の曲を本機で再生する

- 1 本機と同じネットワークに接続しているパソコンに、iTunes 10 以降をインストールする。
 - 2 本機の電源を入れる。
本機の“ネットワークコントロール”設定を“常時オン”にしてください。(P.152 ページ)
- ご注意

 - “ネットワークコントロール”を“常時オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。
- 3 iTunes を起動し、AirPlay アイコンをクリックして、本機を選ぶ。

【例】iTunes



- 4 iTunes で曲を選び、再生する。
本機で再生をはじめます。



ご注意

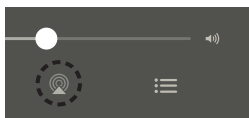
- AirPlay 機能を使用して再生する場合は、iPhone、iPod touch、iPad または iTunes で設定している音量で出力します。再生する前に、iPhone、iPod touch、iPad または iTunes の音量を最小にしてから適切な音量に調節してください。

iPhone、iPod touch、iPad の曲を複数の機器で同期して再生する (AirPlay 2)

iPhone、iPod touch、iPad が iOS 11.4 以上の場合、iPhone、iPod touch、iPad の曲を AirPlay 2 対応の複数の機器で同期して再生することができます。

1 iPhone、iPod touch、iPad の曲を再生する。

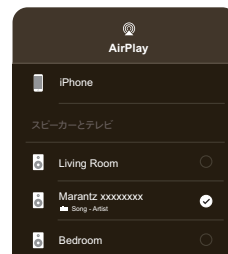
iPhone、iPod touch または iPad の画面に AirPlay アイコンを表示します。



2 AirPlay アイコンをタップして、本機を選ぶ。

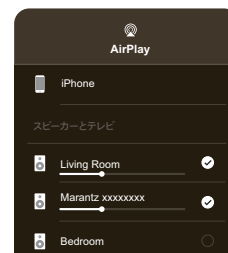
同一ネットワーク上で再生可能な機器/スピーカーの一覧を表示します。

- AirPlay 2 対応の機器名には右側に丸い印が表示されません。



3 再生したい機器/スピーカーをタップする。

- AirPlay 2 対応機器は複数台選ぶことができます。



Spotify Connect機能

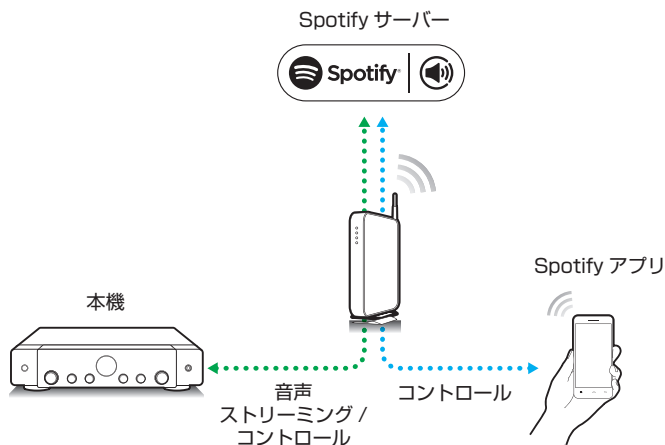
Spotify にはあなたが聴きたい音楽があります。何千万もの楽曲の中からあなたの好みに合ったお奨めの音楽をお楽しみいただけます。従来のプレミアムアカウント(有料)に加え、無料アカウントでも Spotify Connect をご利用になれます。

スマートフォン、タブレットまたはパソコンを操作して、Spotify の音楽を楽しめます。

詳しくは、www.spotify.com/jp/connect をご覧ください。


Spotify ソフトウェアには次のサードパーティのライセンスが適用されます。

www.spotify.com/connect/third-party-licenses



Spotify の曲を本機で再生する

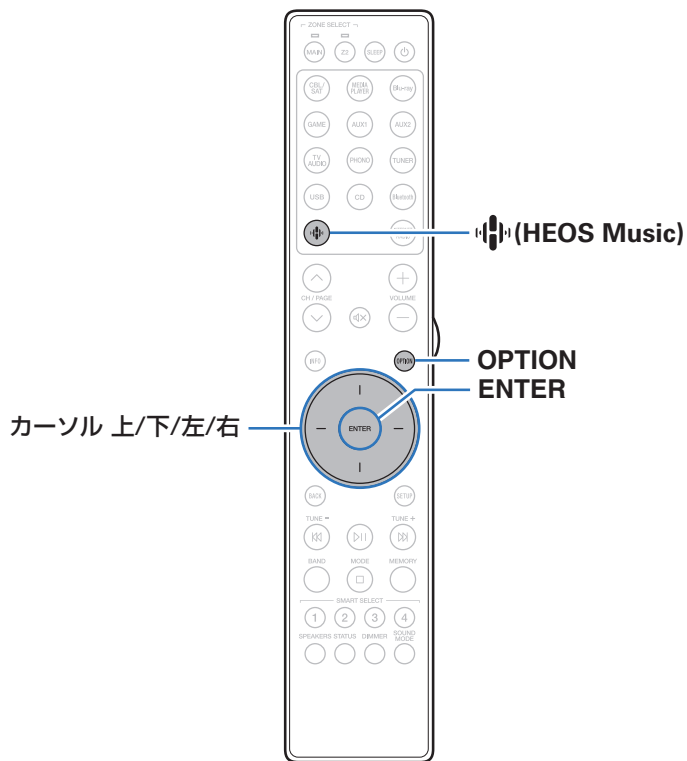
あらかじめお手持ちの iOS または Android 機器に “Spotify アプリ” をダウンロードしてください。

- 1 iOS または Android 機器の Wi-Fi 設定を本機と同じネットワークに接続する。
- 2 Spotify アプリを起動する。
- 3 Spotify の曲を再生する。
- 4 Spotify アイコン  をタップして、本機を選ぶ。
本機で再生をはじめます。

便利な機能

ここでは、各入力ソースで使用できる便利な機能の操作方法を説明します。

これらの機能は、メインゾーンでのみ設定できます。




HEOS お気に入り再生する

本機で初めて HEOS お気に入り機能を使用する場合は、HEOS App で HEOS アカウントを作成するか、作成済みのアカウントにサインインしてください。

HEOS アカウントを作成またはサインインすると、HEOS お気に入り機能を使用して本機の画面からお気に入りのストリーミングラジオ局を保存したり呼び出すことができます。

1 (HEOS Music) を押す。

再生履歴がある場合は、最後に再生したインターネットラジオ局や曲を再生します。再度  (HEOS Music) を押すと、HEOS Music のトップメニューを表示します。

2 カーソル 上/下を押して“HEOS お気に入り”を選び、ENTER を押す。



3 再生したい音楽を選ぶ。



- 本機が HEOS App の HEOS アカウントと同期していないときは、“HEOS お気に入り - HEOS アプリを使用”と表示されます。



HEOS お気に入り追加する

- 1 コンテンツの再生中に **OPTION** を押す。
オプションメニュー画面を表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して“HEOS お気に入り追加”を選び、**ENTER** を押す。

HEOS お気に入りを削除する

- 1 HEOS お気に入りリスト表示中にカーソル 上/下を押して、HEOS お気に入りリストから削除したい項目を選び、**OPTION** を押す。
- 2 カーソル 上/下を押して“HEOS お気に入りから削除”を選び、**ENTER** を押す。

左右のスピーカーの音量バランスを調節する(バランス)

左右のスピーカーの音量バランスを調節します。

- 1 **OPTION** を押す。
オプションメニュー画面を表示します。
 - 入力ソースが“HEOS Music”のときは、オンラインミュージックのオプションメニュー画面を表示します。“レシーバー オプション”を選び、**ENTER** を押す。
- 2 カーソル 上/下を押して“バランス”を選び、**ENTER** を押す。
“バランス”画面を表示します。
- 3 カーソル左/右を押して左右のスピーカーの音量バランスを調節し、**ENTER** を押す。

L 12~R 12 (お買い上げ時の設定:0)



- “バランス”の設定は、入力ソースごとに記憶します。
- サウンドモードが“Direct”または“Pure Direct”のときは設定できません。
- 音声信号が入力されていない場合、またはメニューの“HDMI オーディオ出力”の設定が“テレビ”の場合は設定できません。(P.132 ページ)
- 本体の BALANCE つまみを回しても左右のスピーカーの音量バランスを調節できません。



サブウーハーの音量を調節する(サブウーハー)

サブウーハーの音量を調節します。

1 OPTION を押す。

オプションメニュー画面を表示します。

- 入力ソースが“HEOS Music”のときは、オンラインミュージックのオプションメニュー画面を表示します。“レシーバー オプション”を選び、ENTER を押す。

2 カーソル上/下を押して“サブウーハー”を選び、ENTER を押す。

“サブウーハー”画面を表示します。

3 カーソル左/右を押して、サブウーハー出力のオン/オフを切り替える。

オン
(お買い上げ時の設定): サブウーハーを使用します。

オフ: サブウーハーを使用しません。

4 手順3で“オン”を選び、カーソル下を押してサブウーハーの音量を調節する。

-12.0 dB~+12.0 dB(お買い上げ時の設定:0.0 dB)



- “サブウーハー”の設定は、入力ソースごとに記憶します。
- メニューの“スピーカーレイアウト” - “サブウーハー”の設定が“無し”のときに設定できます。(P.145 ページ)
- 音声信号が入力されていない場合、またはメニューの“HDMI オーディオ出力”の設定が“テレビ”の場合は設定できません。(P.132 ページ)



トーンを調節する(トーンコントロール)

トーンを調節します。

1 OPTION を押す。

オプションメニュー画面を表示します。

- 入力ソースが“HEOS Music”のときは、オンラインミュージックのオプションメニュー画面を表示します。“レシーバー オプション”を選び、ENTER を押す。

2 カーソル 上/下を押して“トーンコントロール”を選び、ENTER を押す。

“トーンコントロール”画面を表示します。

3 調節する音域を選ぶ。

低音： 低音を調節します。

高音： 高音を調節します。

4 カーソル 左/右を押してトーンを調節し、ENTER を押す。

-6 dB~+6 dB(お買い上げ時の設定:0 dB)



- “トーンコントロール”の設定は、入力ソースごとに記憶します。
- サウンドモードが“Direct”または“Pure Direct”のときは設定できません。
- 音声信号が入力されていない場合、またはメニューの“HDMI オーディオ出力”の設定が“テレビ”の場合は設定できません。(p.132 ページ)
- 本体の BASS つまみまたは TREBLE つまみを回してもトーンを調節できません。



音声の出カタイミングを調節する(オーディオディレイ)

映像と音声のタイミングがずれているときに、音声の出カタイミングを調節します。

1 OPTION を押す。

オプションメニュー画面を表示します。

- 入力ソースが“HEOS Music”のときは、オンラインミュージックのオプションメニュー画面を表示します。“レシーバー オプション”を選び、ENTER を押す。

2 カーソル 上/下を押して“オーディオディレイ”を選び、ENTER を押す。

“オーディオディレイ”画面を表示します。

3 カーソル 左/右を押して、オートリップシンク機能のオン/オフを設定する。

オン (お買い上げ時の設定):	オートリップシンク機能対応のテレビからの情報に基づいて、映像と音声のタイミングのずれを自動的に補正します。
オフ:	自動的に補正しません。

4 画像と音声のタイミングのずれを手動で修正する必要がある場合は、カーソル 下を押して“調整”を選び、カーソル 左/右でタイミングを調節してください。

0 ms~500 ms (お買い上げ時の設定:0 ms)



- “オーディオディレイ”の設定は、入力ソースごとに記憶します。
- ご使用のテレビによっては、“オートリップシンク”を“オン”に設定しても、自動補正されない場合があります。
- “オートリップシンク”で補正されたディレイ値を微調整することもできます。



音声の再生中にお好みの映像をテレビに映す(ビデオセレクト)

音声の再生中に別のソースの映像をテレビに映し出します。入力ソースごとに設定できます。

□ 対応する入力ソース:

CD* / Tuner / HEOS Music / Phono

* HDMI 端子が割り当てられているときは設定できません。

1 OPTION を押す。

オプションメニュー画面を表示します。

- 入力ソースが“HEOS Music”のときは、オンラインミュージックのオプションメニュー画面を表示します。“レシーバー オプション”を選び、ENTER を押す。

2 カーソル 上/下を押して“ビデオセレクト”を選び、ENTER を押す。

“ビデオセレクト”画面を表示します。

3 カーソル 左/右を押して、ビデオセレクトモードを選ぶ。

オフ (お買い上げ時の設定): ビデオセレクトモードが無効です。

オン: ビデオセレクトモードが有効です。

4 手順3で“オン”を選んだ場合、カーソル 下を押して“ソース選択”を選んでください。

5 カーソル 左/右を押して再生したい映像の入力ソースを選び、ENTER を押す。

最後のソース (お買い上げ時の設定):	最後に再生された入力ソースから映像を再生します。
---------------------	--------------------------

CBL/SAT / Media Player / Blu-ray / Game / AUX1 / AUX2 / TV Audio / CD:	選択した入力ソースから映像を再生します。*
--	-----------------------

* HDMI 端子が割り当てられている入力ソースを選択できます。



- “ビデオセレクト”の設定は、入力ソースごとに記憶します。



すべてのゾーンで同じ音楽を再生する (All Zone Stereo)

メインゾーンで再生している音楽をゾーン 2 (別の部屋) でも同時に再生できます。

ホームパーティーのときに各部屋で同時に同じ音楽を楽しみたい場合や、家全体で BGM を流したい場合に便利です。

1 OPTION を押す。

オプションメニュー画面を表示します。

- 入力ソースが“HEOS Music”のときは、オンラインミュージックのオプションメニュー画面を表示します。“レシーバー オプション”を選び、ENTER を押す。

2 カーソル 上/下を押して“All Zone Stereo”を選び、ENTER を押す。

“All Zone Stereo”画面を表示します。

3 “スタート”を選び、ENTER を押す。

ゾーン 2 の入力ソースがメインゾーンと同じ入力ソースに切り替わり、All Zone Stereo モードで再生をはじめます。

■ All Zone Stereo モードを解除する

1 All Zone Stereo モードで再生中に、OPTION を押す。

オプションメニュー画面を表示します。

- 入力ソースが“HEOS Music”のときは、オンラインミュージックのオプションメニュー画面を表示します。“レシーバー オプション”を選び、ENTER を押す。

2 カーソル 上/下を押して“All Zone Stereo”を選び、ENTER を押す。

3 “ストップ”を選び、ENTER を押す。



- メインゾーンの電源をオフにしたときも All Zone Stereo モードを解除します。
- “All Zone Stereo”モード中は、サウンドモードの“Stereo”のみ選択できます。
- メニューの“HDMI オーディオ出力”の設定が“テレビ”の場合は、All Zone Stereo モードを使用できません。(P.132 ページ)
- All Zone Stereo モードでの再生状態をスマートセレクト機能に記憶させると、いつでもワンタッチで All Zone Stereo モードでの再生ができます。



サウンドモードを選ぶ



**SOUND
MODE**

本機は入力ソースに収録されている音声をそのまま再生するダイレクトモード、低域や高域の音量を調整できるステレオモード、本体のディスプレイをオフにして、ダイレクトモードよりもさらに高音質の再生をおこなうピュアダイレクトモードをお楽しみいただけます。

サウンドモードを選ぶ

- 1 SOUND MODE を押して、サウンドモードを選ぶ。



サウンドモードの種類について

サウンドモードの種類	説明
Stereo	2チャンネルのステレオモードで再生します。 M-DAX、トーンコントロール(BASS、TREBLE)およびバランス機能を用いて音声を調節することができます。
Direct	音声信号が M-DAX、トーンコントロール(BASS、TREBLE)および BALANCE 回路を通らないため、より高音質で再生します。
Pure Direct	“Direct”モードよりもさらに高音質の再生をおこなうモードです。 より音質を高めるために次の回路を停止します。 <ul style="list-style-type: none">• 本体のディスプレイ表示回路(ディスプレイが消灯します。)



HDMIコントロール機能

本機と HDMI コントロール機能対応のテレビやプレーヤーを HDMI ケーブルで接続し、各機器の HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、機器間で相互に制御できます。

設定のしかた

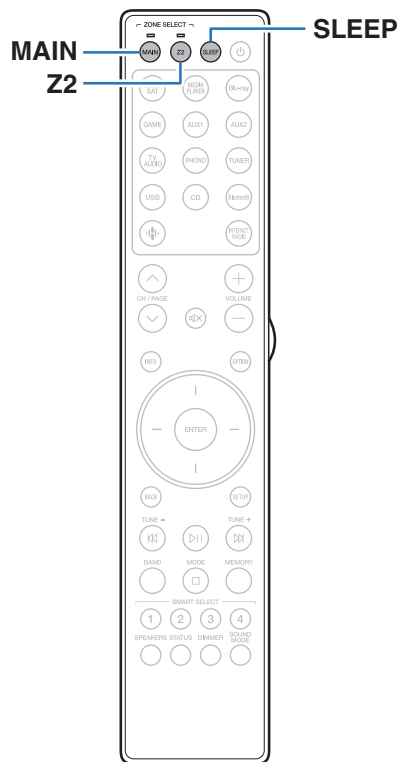
- 1 本機の HDMI コントロール機能を有効にする。
メニューの“HDMI コントロール”を“オン”に設定してください。(P.134 ページ)
- 2 HDMI ケーブルで接続しているすべての機器の電源を入れる。
- 3 HDMI ケーブルで接続しているすべての機器の HDMI コントロール機能を有効にする。
 - 接続している機器の設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
 - いずれかの機器の電源プラグを抜いた場合は、手順 2、3 をおこなってください。
- 4 テレビの入力を、本機に接続した HDMI 入力に切り替える。
- 5 本機の入力ソースを切り替えて、HDMI 接続しているプレーヤーの映像が正しく映ることを確認する。
- 6 テレビの電源をスタンバイにすると、本機とプレーヤーの電源もスタンバイになることを確認する。

ご注意

- 接続しているテレビやプレーヤーによっては、動作しない機能があります。あらかじめ各機器の取扱説明書をご覧ください。



スリープタイマー機能



設定した時間が経過すると、自動的に電源をスタンバイにすることができます。視聴しながら、おやすみになるときに便利です。スリープタイマー機能は、ゾーンごとに設定できます。

スリープタイマーを設定する

1 MAIN または Z2 を押して、リモコンで操作するゾーンを選ぶ。

選択したゾーンの表示が点灯します。

2 SLEEP を押して、スリープ時間を設定する。

- ディスプレイの SLEEP 表示が点灯して、スリープタイマーが動作します。
- スリープタイマーは、10～120 分の範囲で 10 分ごとに設定できます。

■ 残り時間を確認する

スリープタイマー中に SLEEP を押す。
ディスプレイに残り時間を表示します。

■ スリープタイマーを解除する

SLEEP を押して、“Off”を選ぶ。
ディスプレイの SLEEP 表示が消灯します。



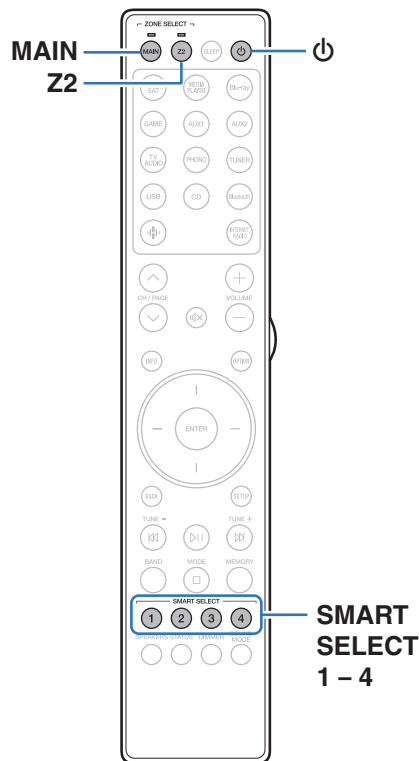
- 本機の電源がスタンバイになると、スリープタイマーの設定を解除します。

ご注意

- スリープタイマー機能では、本機に接続した機器の電源は切れません。接続した機器の電源を切る場合は、接続した機器側でスリープタイマーの設定をおこなってください。



スマートセレクト機能



SMART SELECT 1～4 ボタンに入力ソース、音量レベル、サウンドモードの設定などを登録できます。

次に再生するときは、登録してある SMART SELECT ボタンを押すだけで、記憶しているさまざまな設定を一度に切り替えることができます。

よく使う設定を SMART SELECT 1～4 ボタンに記憶させておくと、常に同じ再生環境を簡単に呼び出してお楽しみいただくことができます。

スマートセレクト機能は、ゾーンごとに記憶できます。

設定を呼び出す

1 MAIN または Z2 を押して、リモコンで操作するゾーンを選ぶ。

選択したゾーンの表示が点灯します。

2 SMART SELECT を押す。

押したボタンに記憶している設定内容を読み出します。

- お買い上げ時の入力ソースの設定は、次のとおりです。

【メインゾーン】

ボタン	入力ソース
SMART SELECT 1	CBL/SAT
SMART SELECT 2	Blu-ray
SMART SELECT 3	CD
SMART SELECT 4	HEOS Music

【ゾーン 2】

ボタン	入力ソース
SMART SELECT 1	CBL/SAT
SMART SELECT 2	—
SMART SELECT 3	CD
SMART SELECT 4	HEOS Music



- お買い上げ時の音量は、スマートセレクト機能に記憶されていません。
スマートセレクト機能に音量を記憶したい場合は、「設定を変更する」を参照しておこなってください。(P.109 ページ)



設定を変更する

1 次の内容を記憶させたい状態にする。

メインゾーンでは次の①～④の設定を記憶させ、ゾーン2では次の①、②の設定を記憶させることができます。

- ① 入力ソース(☞53 ページ)
- ② 音量(☞54 ページ)
- ③ サウンドモード(☞102 ページ)
- ④ 「M-DAX」(☞129 ページ)
- ⑤ 「左右のスピーカーの音量バランスを調節する(バランス)」(☞96 ページ)
- ⑥ 「サブウーハーの音量を調節する(サブウーハー)」(☞97 ページ)
- ⑦ 「音声の再生中にお好みの映像をテレビに映す(ビデオセレクト)」(☞100 ページ)
- ⑧ 「テレビ音声の共有設定」(☞110 ページ)
- ⑨ 「すべてのゾーンで同じ音楽を再生する(All Zone Stereo)」(☞101 ページ)



- 次の入力ソースで、ラジオの受信中に SMART SELECT を長押しすると、受信中のラジオ局を記憶します。
 - Tuner / インターネットラジオ局 / Spotify

2 MAIN または Z2 を押して、リモコンで操作するゾーンを選ぶ。

選択したゾーンの表示が点灯します。

3 ディスプレイに“Smart* Memory”または“Z2 Smart* Memory”が表示されるまで、変更したい SMART SELECT を長押しする。

現在の設定を記憶します。

* は押された SMART SELECT の数字を表示します。

■ スマートセレクトの設定項目を変更する

本機では、テレビ画面や本体のディスプレイに表示する MAIN ZONE のスマートセレクト名や、記憶する設定項目を変更できます。


変更のしかたは、メニューの“スマートセレクト”をご覧ください。(☞163 ページ)



■ テレビ音声の共有設定

本機はメインゾーンでテレビなどの再生機器のコンテンツを再生しながら、ゾーン2でもメインゾーンと同じコンテンツを楽しむことができます。

以下の設定をあらかじめ Smart Select に記憶しておくことで、本機能によるメインゾーンとゾーン2の再生環境を簡単に呼び出すことができます。

- 1 メインゾーンで再生する入力ソースを選びます。
- 2 リモコンの Z2 を押してから電源ボタン (POWER ) を押して、ゾーン2の電源をオンにする。
- 3 ゾーン2の入力ソースを“Source”にする。
ゾーン2の入力ソースを“Source”にすると、メインゾーンと同じ入力ソースが選択されます。
 - お買い上げ時のゾーン2の入力ソースは“Source”に設定されています。
 - ゾーン2の入力ソースをお買い上げ時の設定から変更している場合は、“Marantz AVR Remote”アプリを使用して“Source”に変更してください。
 - ① ゾーンコントロール(Ⓔ)をタップしてゾーン2を選ぶ。
 - ② 入力ソースから“Source”を選ぶ
- 4 ディスプレイに“Smart* Memory”が表示されるまで、変更したい SMART SELECT を長押しする。

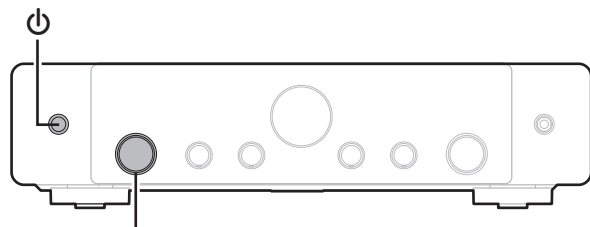


- 本体およびリモコンではゾーン2の入力ソースを“Source”に設定することはできません。



フロントキーロック機能

本機を誤って操作してしまうことを防ぐために、フロントパネルのボタン操作を無効にできます。



入力ソース選択つまみ (INPUT)

すべてのつまみ操作を無効にする

- 1 本機の電源が入っているときに、ディスプレイに“SPECIAL MODE”と表示されるまで本体の電源ボタンを長押しする。
- 2 入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“4P/R LOCK”を選んでから電源ボタンを押す。
- 3 入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“P/V LOCK ON”を選んでから電源ボタンを押して、設定を確定する。
電源ボタン以外のつまみ操作が無効になります。

VOLUME 以外のすべてのつまみ操作を無効にする

- 1 本機の電源が入っているときに、ディスプレイに“SPECIAL MODE”と表示されるまで本体の **⏻** を長押しする。
- 2 入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“4P/R LOCK”を選んでから **⏻** を押す。
- 3 入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“FP LOCK ON”を選んでから **⏻** を押して、設定を確定する。
⏻ および VOLUME 以外のつまみ操作が無効になります。

フロントキーロック機能を解除する

- 1 本機の電源が入っているときに、ディスプレイに“SPECIAL MODE”と表示されるまで本体の **⏻** を長押しする。
- 2 入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“4P/R LOCK”を選んでから **⏻** を押す。
- 3 入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“FP LOCK *OFF”を選んでから **⏻** を押して、設定を確定する。
(* は現在の設定モードです。)
フロントキーロック機能を解除します。



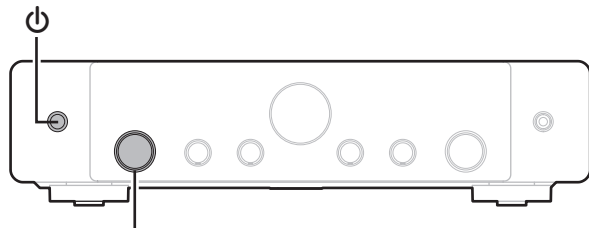
- フロントキーロック機能の設定が有効でも、リモコンによる操作は可能です。



リモートロック機能

本機に赤外線受信機を接続しない場合は、リモートロック機能を無効に設定してください。有効に設定すると、リモコンの操作ができなくなります。

お買い上げ時は無効に設定されています。



入力ソース選択つまみ (INPUT)

リモコンの受信機能を無効にする

- 1 本機の電源が入っているときに、ディスプレイに“SPECIAL MODE”と表示されるまで本体の電源ボタンを長押しする。
- 2 入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“4P/R LOCK”を選んでから電源ボタンを押す。
- 3 入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“RC LOCK ON”を選んでから電源ボタンを押して、設定を確定する。
リモコン信号の受信機能が無効になります。

リモコンの受信機能を有効にする

- 1 本機の電源が入っているときに、ディスプレイに“SPECIAL MODE”と表示されるまで本体の **⓪** を長押しする。
- 2 入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“4P/R LOCK”を選んでから **⓪** を押す。
- 3 入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“RC LOCK *OFF”を選んでから **⓪** を押して、設定を確定する。

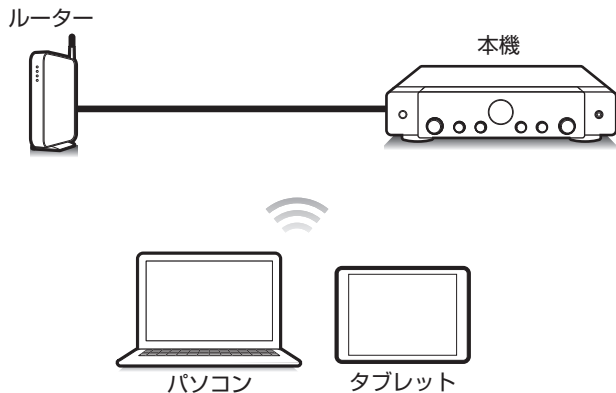
(* は現在の設定モードです。)

リモコン信号の受信機能が有効になります。



ウェブコントロール機能

ブラウザに表示されるウェブコントロール画面を使用して、本機を操作できます。



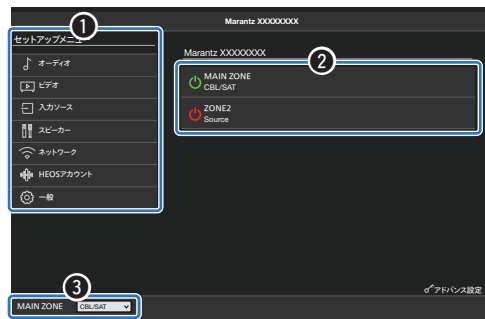
- ウェブコントロール機能をご使用になるには、本機とパソコンまたはタブレットが同じネットワークに正しく接続されている必要があります。(P.46 ページ)
- セキュリティソフトなどの設定により、パソコンから本機にアクセスできないことがあります。このような場合には、セキュリティソフトの設定を変更してください。

ウェブコントロール機能で本機をコントロールする

ウェブコントロール画面は以下の機能に対応しています。

- ① 設定メニュー
- ② 各ゾーンの電源オン/オフ
- ③ メインゾーン入カソース切り替え

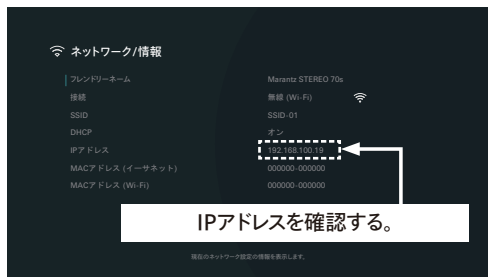
ウェブコントロール画面
トップメニュー



- “アドバンス設定”は、カスタムインストーラーが使用する設定が含まれているため使用しないでください。

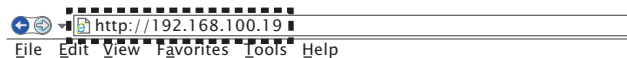


- 1 メニューの“ネットワークコントロール”設定を“常時オン”にする。(P.152 ページ)
- 2 メニューの“情報”で、本機の IP アドレスを確認する。(P.148 ページ)

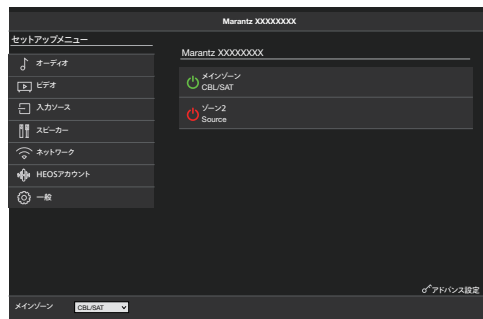


- 3 パソコンまたはタブレットでブラウザを開きます。

- 4 ブラウザのアドレスに、本機の IP アドレスを入力する。
例えば、本機の IP アドレスが“192.168.100.19”の場合は、“http://192.168.100.19”と入力してください。



- 5 ウェブブラウザにトップメニューが表示されたら、操作したいメニュー項目をクリックする。



ゾーン2(別の部屋)での再生

本機を操作して、メインゾーン(本機のある部屋)以外の部屋(ゾーン2)で音声を楽しむことができます。

- メインゾーンおよびゾーン2で同時に同じソースを再生することができます。
- また、メインゾーンおよびゾーン2で別々のソースを再生することもできます。

■ ゾーン2の接続(🔗118ページ)

「接続1:外部アンプを使用した接続(ゾーン2)」(🔗118ページ)

■ ゾーン2で入力ソースを再生する(🔗119ページ)

「メインゾーンとゾーン2で同じ入力ソースを再生する(テレビ音声共有設定)」(🔗119ページ)

「メインゾーンとゾーン2で異なる入力ソースを再生する」(🔗121ページ)

■ ゾーン2の音量を調節する(🔗122ページ)

「音量を調節する」(🔗122ページ)

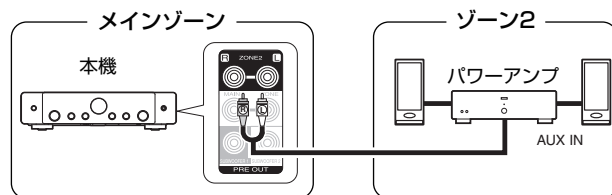
「一時的に音を消す(ミュート)」(🔗122ページ)



ゾーン2の接続

■ 接続1:外部アンプを使用した接続(ゾーン2)

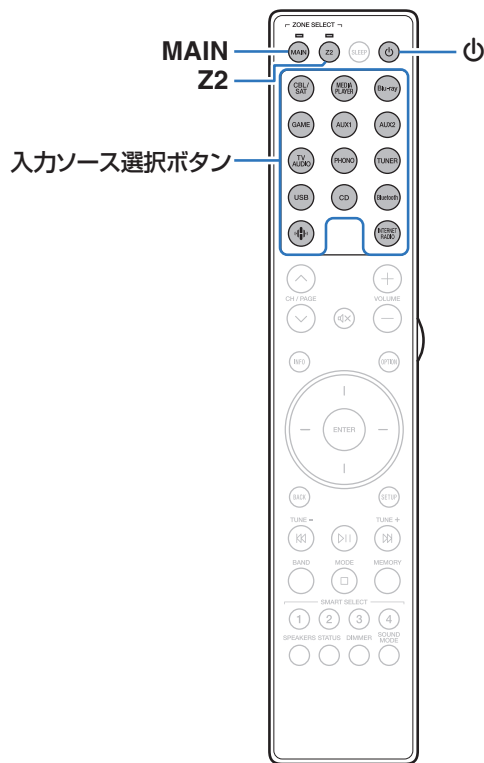
本機のゾーン2の音声を外部のアンプに出力して再生します。



ゾーン2で入力ソースを再生する

■ メインゾーンとゾーン2で同じ入力ソースを再生する(テレビ音声共有設定)

本機のテレビ音声共有設定で、ゾーン2の入力ソースを“Source”に設定することで、ARC 経由でテレビから入力された音声や、再生機器から入力された音声をメインゾーンで再生しながら、同じコンテンツをゾーン2で楽しむことができます。



- 1 **MAIN** を押して、リモコンで操作するゾーンをゾーン2に設定する。
MAIN 表示が点灯します。
- 2 入力ソース選択ボタンを押して、再生する入力ソースを選ぶ。
選択した入力ソースの音声を、メインゾーンのスピーカーに出力します。
- 3 **Z2** を押して、リモコンで操作するゾーンをゾーン2に設定する。
Z2 表示が点灯します。
- 4 **POWER** を押して、ゾーン2の電源を入れる。
ディスプレイのゾーン2電源表示が点灯します。

5 ゾーン2の入カソースを“Source”にする。

ゾーン2の入カソースに“Source”を選択した場合、メインゾーンの入カソースに変更されます。

- お買い上げ時のゾーン2の入カソースは“Source”に設定されています。
- ゾーン2の入カソースをお買い上げ時の設定から変更している場合は、“Marantz AVR Remote”アプリを使用して“Source”に変更してください。
 - ① ゾーンコントロール(Ⓔ)をタップしてゾーン2を選ぶ。
 - ② 入カソースから“Source”を選ぶ

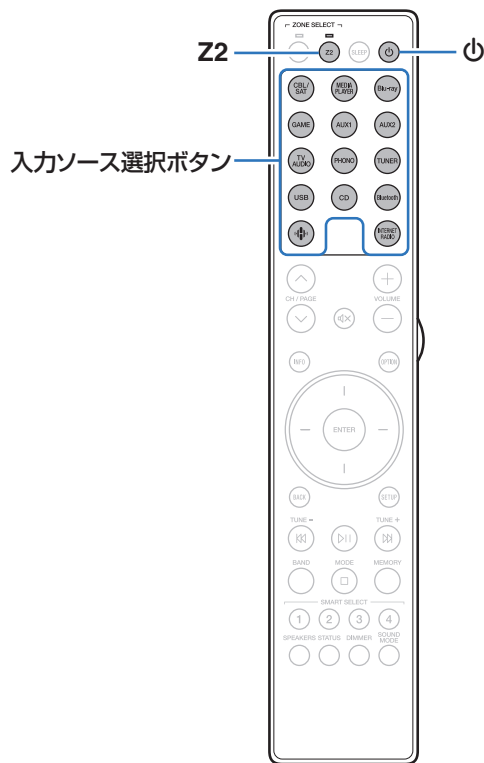


- 本体およびリモコンではゾーン2の入カソースを“Source”に設定することはできません。
- ゾーン2で再生できる音声信号は次のとおりです。

入カ	出力
	ゾーン2
デジタル音声(HDMI)	○
デジタル音声(COAXIAL/ OPTICAL)	○
アナログ音声	○
USB	○
HEOS ミュージック	○
TUNER	○



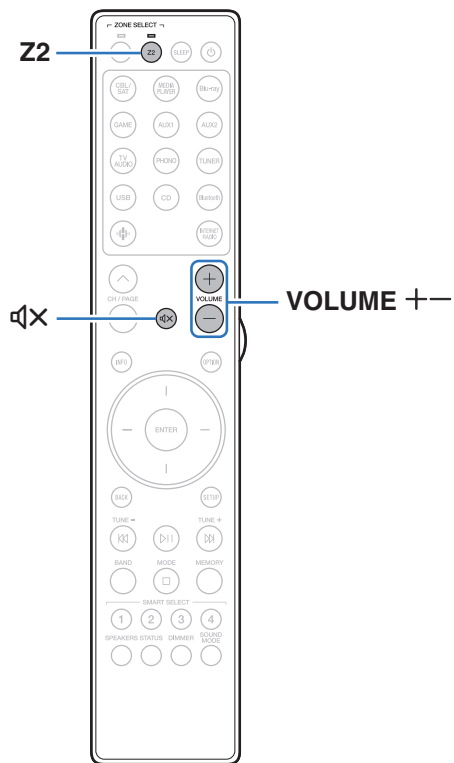
■ メインゾーンとゾーン2で異なる入力ソースを再生する



- 1** Z2 を押して、リモコンで操作するゾーンをゾーン2に設定する。
Z2 表示が点灯します。
 - 2** POWER 電源 を押して、ゾーン2の電源を入れる。
ディスプレイのゾーン2 電源表示が点灯します。
 - 3** 入力ソース選択ボタンを押して、再生する入力ソースを選ぶ。
選択した入力ソースの音声を、ゾーン2のスピーカーに出力します。
- ゾーン2で再生できる音声信号は次のとおりです。

入力	出力
	ゾーン2
デジタル音声 (HDMI)	
デジタル音声 (COAXIAL/ OPTICAL)	○
アナログ音声	○
USB	○
HEOS ミュージック	○
TUNER	○



ゾーン2の音量を調節する



■ 音量を調節する



- 1 Z2 を押して、リモコンで操作するゾーンをゾーン2に設定する。
Z2 表示が点灯します。
- 2 VOLUME + を押して、音量を調節する。
 - お買い上げ時は、“音量の上限”を“70 (-10 dB)”に設定しています。(P.162 ページ)




■ 一時的に音を消す(ミュートイング)

- 1 Z2 を押して、リモコンで操作するゾーンをゾーン2に設定する。
Z2 表示が点灯します。
- 2 MUTE  を押す。
 - ミュートイングを解除するときには、音量を調節するか、もう一度 MUTE  を押してください。


メニュー 一覧

メニューの操作をおこなうときは、本機にテレビを接続し、テレビ画面を見ながら操作してください。
本機のお買い上げ時の設定は、おすすめの設定にしております。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。


設定項目	詳細項目	内容	関連ページ
 オーディオ	M-DAX	MP3 などの圧縮オーディオを再生するときに、低域や高域を拡張して、より豊かな再生をします。	129
	音量	メインゾーン(本機のある部屋)の音量に関する設定をします。	130
	バイリンガルモード	AAC ソースの二重音声の出力内容を設定します。	131
 ビデオ	HDMI 設定	HDMI オーディオ出力、HDMI パススルーおよび HDMI コントロールの設定をします。	132
	HDMI アップスケーラー	1080p および 4K HDMI コンテンツを 8K にアップスケーリングするためのモードを設定します。	136
	オンスクリーンディスプレイ	オンスクリーンディスプレイに関する設定をします。	137
	スクリーンセーバー	スクリーンセーバーを設定します。	138
	4K/8K 信号フォーマット	4K または 8K のテレビや再生機器に応じて、本機の HDMI 入出力の映像フォーマットを設定します。	138
	HDCP 設定	HDMI 入力端子が割り当てられている入力ソースごとに HDCP バージョンを設定します。	140

設定項目	詳細項目	内容	関連ページ
 入力ソース	入力端子の割り当て	入力端子の割り当てや音声入力モードを変更します。	141
	入力ソース名の変更	入力ソースの表示名を変更します。	144
	使用ソースの選択	使用しない入力ソースを表示しないように設定します。	144
	ソースレベル	選択した入力ソースの音声入力の再生レベルを補正します。	144
 スピーカー	スピーカーレイアウト	スピーカーレイアウトを選択します。	145
	距離	リスニングポイントからスピーカーまでの距離を設定します。	146
	レベル	リスニングポイントに対して、各スピーカーから出力されるテストトーンの音量が同じになるように設定します。	147
	アドバンス設定	スピーカーの詳細設定をおこないます。(スピーカーの割り当て)	147
 ネットワーク	情報	ネットワークの情報を表示します。	148
	接続	ネットワーク接続方式を設定します。	148
	詳細な設定	DHCP や IP アドレスの設定をします。	150
	ネットワークコントロール	電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。	152
	フレンドリーネーム	ネットワーク上に表示されている本機の名称を編集します。	152
	診断	ネットワークの接続を確認します。	153
	AirPlay	Apple AirPlay 機能を設定します。	154
	Spotify Connect	Spotify Connect へのアクセスをオン/オフします。	154
	Wi-Fi と Bluetooth	Wi-Fi および Bluetooth 無線の電源を切り替えます。	155




設定項目	詳細項目	内容	参照ページ
 HEOS	【HEOS アカウントでサインインしていない場合】		
	“-”	HEOS アプリのダウンロードを案内します。	156
	【HEOS アカウントでサインインしている場合】		
	サインイン中	サインインしているアカウントを表示します。	156

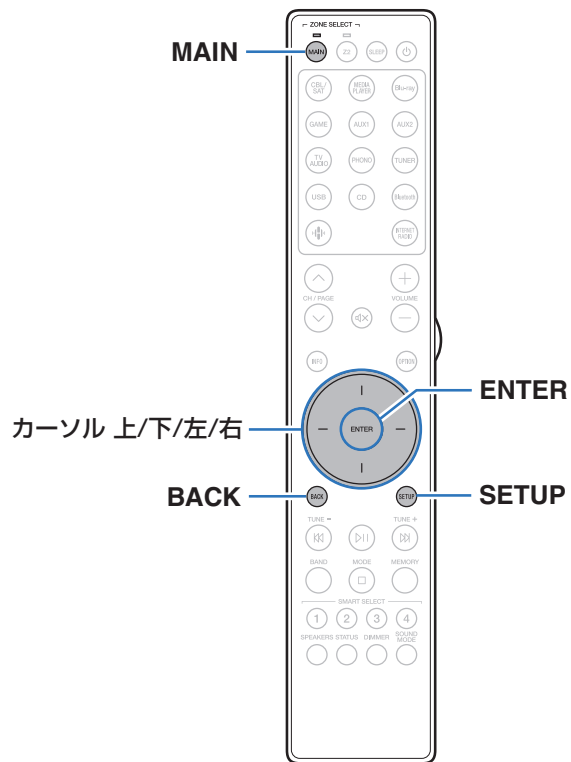


設定項目	詳細項目	内容	関連ページ
 一般	言語	テレビ画面に表示するメニューの言語を設定します	157
	オーナーズマニュアル	モバイル機器からオンラインの取扱説明書にアクセスします。	157
	エコ設定	エコモードとオートスタンバイの省電力機能の設定をします。	157
	Bluetooth 送信	Bluetooth 送信の設定をします。	161
	ゾーン 2 の設定	ゾーン 2 で再生する音声の設定をします。	162
	ゾーン名の変更	ゾーンの表示名をお好みの名前に変更します。	163
	スマートセレクト	スマートセレクト名をお好みの名前に変更します。	163
	フロントディスプレイ	本機のディスプレイの明るさを調節します。	164
	ファームウェア	アップデートに関する最新のファームウェア情報を確認し、ファームウェアをアップデートします。	165
	情報	本機の設定状態や入力信号などの情報を表示します。	167
	使用状況の送信設定	お客様の使用状況の情報を当社へ送信するかしないかの設定をします。	170
	セーブ&ロード	USB メモリーを使用して、本機の設定を保存または復元します。	170
	セットアップロック	設定した内容を変更できないようにロックします。	171
	初期化	各種設定がお買い上げ時の設定に戻ります。	171



設定項目	詳細項目	内容	関連ページ
 セットアップアシスタント	初めから設定を行う	テレビ画面に表示されるガイダンスに沿って、基本的な設置/接続/設定を最初からおこないません。	別冊の「かんたんスタートガイド」の8ページ
	言語の設定	テレビ画面に表示されるガイダンスに沿って、項目ごとに設定をおこないます。	
	スピーカーの設定		
	ネットワークの設定		
	テレビ音声の設定		
	入力の設定		
	モバイルアプリ		





メニュー操作のしかた

- 1 MAIN を押して、リモコンで操作するゾーンをメインゾーンに設定する。
MAIN 表示が点灯します。
- 2 SETUP を押す。
テレビ画面にメニューを表示します。
- 3 カースル 上/下/右を押して設定または操作したい設定メニューを選び、ENTER を押す。
- 4 カースル 左/右を押して、お好みの設定に変更する。
- 5 ENTER を押して、設定を確定する。
 - 前の項目に戻るときは、BACK を押してください。
 - メニューを終了するときには、メニュー表示中に SETUP を押してください。メニュー表示が消灯します。



オーディオ

音声に関する設定をします。

M-DAX

MP3、WMA (Windows Media Audio) や MPEG-4 AAC などの圧縮オーディオフォーマットは、人間の耳には聞こえにくい部分の信号を省いてデータ量を減らしています。“M-DAX”は、圧縮処理をするときに省かれた信号を生成し、圧縮する前の音に近い状態に復元する機能です。同時に低音域の量感の補正もおこないますので、圧縮オーディオ信号をより豊かに再生できます。

■ モード

強:	高域が極端に少ない圧縮音声ソースに対して、最適なモードです。(64kbps 以下)
中:	圧縮音声全般に対して、低域と高域を適切に補正します。(96kbps 以下)
弱:	高域が十分にある圧縮音声ソースに対して、最適なモードです。(96kbps 以上)
オフ (お買い上げ時の設定):	“M-DAX”を使用しません。



- アナログ入力や PCM 信号(サンプリング周波数=44.1/48kHz)が入力されたときに設定できます。
- サウンドモードが“Direct”または“Pure Direct”のときは設定できません。
- “M-DAX”の設定は、入力ソースごとに記憶します。



音量

メインゾーン(本機のある部屋)の音量に関する設定をします。

■ 表示方法

音量の表示方法を設定します。

0 - 98
(お買い上げ時の設定): 0(最小)~98の範囲で表示します。

-79.5 dB - 18.0 dB: ---dB(最小)、-79.5dB~18.0dBの範囲で表示します。



- “表示方法”の設定は、すべてのゾーンに反映します。

■ 音量の上限

音量の上限を設定します。

60~80(-20 dB~0 dB)

オフ (お買い上げ時の設定)



- “表示方法”の設定が“-79.5 dB - 18.0 dB”のときに dB 値を表示します。(P130 ページ)

■ 電源オン時の音量

電源をオンにしたときの音量を設定します。

前回の音量
(お買い上げ時の設定): 前回使用したときの音量になります。

消音: 電源をオンにする際は、かならずミュート状態でおこなってください。

1 - 98
(-79 dB - 18 dB): 音量が設定したレベルに調節されます。



- “表示方法”の設定が“-79.5 dB - 18.0 dB”のときに dB 値を表示します。(P130 ページ)

■ ミューティングレベル

ミューティング時の音量の減衰量を設定します。

消音
(お買い上げ時の設定): 音声完全にミュートされます。

-40 dB: 音声 40dB 減衰します。

-20 dB: 音声 20 dB 減衰します。



バイリンガルモード

AAC ソースの二重音声を再生するときの出力内容を設定します。

■ モード

主音声 (お買い上げ時の設定):	主音声のみ出力します。
副音声:	副音声のみ出力します。
主/副:	主音声は左チャンネルから、副音声は右チャンネルから出力します。
主+副:	主音声と副音声をミックスして出力します。



ビデオ

映像に関する設定をします。

HDMI 設定

HDMI オーディオ出力、HDMI パススルーおよび HDMI コントロールの設定をします。

ご注意

- “HDMI パススルー”および“HDMI コントロール”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。(「HDMI パススルー」(P.133 ページ)、「HDMI コントロール」(P.134 ページ))
長期間本機を使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜くことをおすすめします。

■ HDMI オーディオ出力

HDMI の音声の出力先を設定します。

Stereo Receiver

(お買い上げ時の設定): 本機に接続したスピーカーで再生します。

テレビ:

本機に接続したテレビで再生します。



- HDMI コントロール機能が動作しているときは、本機に接続したテレビの音声設定を優先します。(P.104 ページ)
- “HDMI オーディオ出力”の設定が“テレビ”で本機の電源が入っている場合、HDMI 出力端子から 2 チャンネルの音声を出力します。



■ HDMI パススルー

本機がスタンバイのときに、入力されている HDMI 信号を HDMI モニターへ出力する設定をします。


オン (お買い上げ時の設定):	本機がスタンバイのときでも、入力されている HDMI 信号を HDMI モニターへ出力します。
オフ:	本機がスタンバイのときに、入力されている HDMI 信号を HDMI モニターへ出力しません。




■ パススルーソース

本機がスタンバイのときに、HDMI 信号を入力する HDMI 端子を設定します。

最後のソース (お買い上げ時の設定):	最後に使用した入力ソースはスタンバイモードになります。
------------------------	-----------------------------

CBL/SAT /
Media Player /
Blu-ray / Game /
AUX1 / AUX2 / CD*: 選択した入力ソースをパススルーします。

* “入力端子の割り当て”の設定で、CD に HDMI 端子が割り当てられているときのみ、“パススルーソース”を“CD”に設定できます。
( 141 ページ)

-  “パススルーソース”は、“HDMI コントロール”が“オン”のとき、または“HDMI パススルー”の設定が“オン”のときに設定できます。
(「HDMI パススルー」( 133 ページ)、
「HDMI コントロール」( 134 ページ))



■ スタンバイ時のソース選択

本機がスタンバイ状態のときに、リモコンの入力ソース選択ボタンで本機の電源をオンにするかどうかを設定します。

電源オン + 入力ソース選択 (お買い上げ時の設定):	本機の電源をオンして、入力ソースを切り替えます。
--------------------------------	--------------------------

入力ソース選択のみ:	本機はスタンバイ状態のままで HDMI の入力ソースを切り替えます。リモコンの入力ソース選択ボタンを受け付けたときに、本機の電源表示が点滅します。
------------	---



- “スタンバイ時のソース選択”は、“HDMI コントロール”が“オン”のとき、または“HDMI パススルー”の設定が“オン”のときに設定できます。
(「HDMI パススルー」( 133 ページ)、
「HDMI コントロール」( 134 ページ))



■ HDMI コントロール

HDMI 接続した HDMI コントロール対応機器と連動して操作できます。

オン: HDMI コントロール機能を使用します。

オフ
(お買い上げ時の設定): HDMI コントロール機能を使用しません。



- 接続した機器の設定方法は、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- “HDMI コントロール”を“オン”に設定すると、本機の電源をテレビの電源に連動させたり、テレビのリモコンで本機の音量を調節したりできます。
- HDMI コントロール機能については、「HDMI コントロール機能」をご覧ください。(P.104 ページ)

ご注意

- “HDMI コントロール”の設定を変更した場合は、変更後必ず接続機器の電源を切り、電源を入れ直してください。

■ ARC

ARC 機能を使用し、HDMI OUT 端子に接続されているテレビから、HDMI 経由でテレビの音声を受信するかどうかを設定します。

オン: ARC 機能を使用します。

オフ
(お買い上げ時の設定): ARC 機能を使用しません。



- この機能を使用する場合は、ARC (Audio Return Channel)に対応したテレビを使用し、テレビの HDMI コントロール機能を有効にしてください。
- “ARC”を“オン”に設定すると、本機で“HDMI コントロール”を“オフ”に設定している場合でも、テレビ用リモコンで音量を調節できます。

ご注意

- “ARC”の設定を変更した場合は、変更後必ず接続機器の電源を切り、電源を入れ直してください。
- ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。



■ TV Audio 切り替え

HDMI ケーブルで接続したテレビから、CEC コマンドを受信したとき、自動的に入力ソースを“TV Audio”に切り替えるかどうかを設定します。

オン (お買い上げ時の設定): テレビからのコマンドを受信すると自動的に入力ソースを“TV Audio”にします。

オフ: テレビからのコマンドを受信すると自動的に入力ソースを“TV Audio”にしません。



- “TV Audio 切り替え”は“HDMI コントロール”の設定が“オン”のときに設定できます。(P.134 ページ)

■ パワーオフコントロール

テレビの電源オフに連動して、本機の電源をスタンバイにします。

すべて (お買い上げ時の設定): 本機の入力ソースに関わらず、テレビの電源をオフにすると、自動的に本機の電源がスタンバイになります。

ビデオ: “HDMI”が割り当てられている入力ソースのときに、テレビの電源をオフにすると、自動的に本機の電源がスタンバイになります。(P.142 ページ)

オフ: 本機はテレビの電源に連動しません。



- “パワーオフコントロール”は“HDMI コントロール”の設定が“オン”のときに設定できます。(P.134 ページ)



■ 省電力

本機の省電力機能をオンにすると、テレビのスピーカーを使用するときの消費電力を抑えます。

この機能は次のときに動作します。

- 本機の入力ソースが“TV Audio”のとき
- HDMI 接続されている機器のコンテンツを視聴しているとき

オン: 省電力機能を使用します。

オフ
(お買い上げ時の設定): 省電力機能を使用しません。



- “省電力”は“HDMI コントロール”の設定が“オン”のときに設定できます。(P134 ページ)

HDMI アップスケーラー

1080p および 4K HDMI コンテンツを 8K にアップスケーリングするためのモードを設定します。

オート: お使いのテレビに合わせて、1080p および 4K HDMI ビデオを 8K にアップスケールします。

オフ
(お買い上げ時の設定): 8K へのアップスケールは行いません。



- 各入力ソースに“HDMI”割り当てられているときに設定できます。
- この機能は、入力された信号が“x.v.Color”、3D、sYCC601 color、Adobe RGB color、Adobe YCC601 color およびコンピューター解像度のときは効果がありません。



オンスクリーンディスプレイ

オンスクリーンディスプレイに関する設定をします。

■ 音量

音量の表示に関する設定をします。

下
(お買い上げ時の設定): 画面の下部に表示します。

上: 画面の上部に表示します。

オフ: 表示しません。



- 音量表示が映画の字幕に重なって見づらい場合は、“上”に設定してください。

■ 情報

入力ソースの切り替えなど情報表示の設定をします。

オン
(お買い上げ時の設定): 情報を表示します。

オフ: 情報を表示しません。

■ 再生画面

入力ソースが“HEOS Music”または“Tuner”のときの再生画面の表示時間を設定します。

常時オン
(お買い上げ時の設定): 常に表示します。

オートオフ: 操作したときに約 30 秒間表示します。



スクリーンセーバー

スクリーンセーバーを設定します。

ビデオ信号が入力されていない場合や、セットアップメニュー画面のように同じ映像が続けて表示される場合に、5分以上操作が無いときにスクリーンセーバーが作動して、テレビの焼き付けを防止します。

また、スクリーンセーバーを解除する場合は、カーソル 上/下/左/右を押してください。

オン:	スクリーンセーバーを使用します。
オフ (お買い上げ時の設定):	スクリーンセーバーを使用しません。



- 次のときにスクリーンセーバーが作動します。
 - セットアップメニュー画面が表示されているとき
 - ビデオ信号が入力されていないとき
 - HEOS Music や USB、Bluetooth、Tuner の再生画面が表示されているとき

4K/8K 信号フォーマット

本機に接続しているテレビや再生機器が HDMI 4K または 8K 信号に対応しているときに、本機で再生する 4K/8K 信号のフォーマットを設定します。

■ 4K/8K 信号フォーマット

本機で再生する 4K および 8K 信号のフォーマットを設定します。

スタンダード:	ご使用のテレビと再生機器が標準的な 4K フォーマット(4K 60Hz 4:2:0 8bit)の映像信号に対応しているときに選択します。
拡張 (お買い上げ時の設定):	ご使用のテレビと再生機器、HDMI ケーブルが高精細な 4K 60Hz 4:4:4 8bit、4:2:2 または 4:2:0 10bit の映像信号に対応しているときに選択します。
8K 拡張:	ご使用のテレビと再生機器、HDMI ケーブルが高精細な 8K 60Hz または 4K 120Hz の映像信号に対応しているときに選択します。



【“4K/8K 信号フォーマット”の設定と対応する解像度の関係】

対応解像度	カースペース	ビット数	4K/8K 信号フォーマット		
			標準	拡張	8K 拡張
4K 24Hz, 4K 30Hz, 4K 25Hz	RGB / YCbCr 4:4:4	8bit	✓	✓	✓
		10, 12bit	-	✓	✓
	YCbCr 4:2:2	12bit	✓	✓	✓
4K 60Hz, 4K 50Hz	YCbCr 4:2:0	8bit	✓	✓	✓
		10, 12bit	-	✓	✓
	RGB / YCbCr 4:4:4	8bit	-	✓	✓
		10, 12bit	-	-	✓
	YCbCr 4:2:2	12bit	-	✓	✓
4K 120Hz, 4K 100Hz	YCbCr 4:2:0	8、10、 12bit	-	-	✓
	RGB / YCbCr 4:4:4	8、10bit	-	-	✓
	YCbCr 4:2:2	12bit	-	-	✓
8K 24Hz, 8K 30Hz, 8K 25Hz	YCbCr 4:2:0	8、10、 12bit	-	-	✓
	RGB / YCbCr 4:4:4	8、10bit	-	-	✓
	YCbCr 4:2:2	12bit	-	-	✓
8K 60Hz, 8K 50Hz	YCbCr 4:2:0	8、10 bit	-	-	✓



- この設定を“拡張”に設定したときは、“HDMI Premium Certified Cable”ラベルが製品のパッケージに貼られている“Premium High Speed HDMI Cable”または“Premium High Speed HDMI Cable with Ethernet”のご使用をおすすめします。
- この設定を“8K 拡張”に設定したときは、“Ultra High Speed HDMI cable”のご使用をおすすめします。
- この設定を“8K 拡張”に設定したときは、テレビや再生機器の設定も合わせて設定してください。
- この設定を“8K 拡張”に設定したとき、接続した再生機器や HDMI ケーブルによっては正しく映像が出力されない場合があります。このような場合は、“拡張”または“スタンダード”に設定してください。
- 当社のサービスエンジニアやカスタムインストーラーが本機の HDMI 信号フォーマットの設定をおこなっている場合は、設定項目に“カスタム”を表示します。
- “4K/8K 信号フォーマット”は、次の操作でも設定できます。この設定中は、メニュー画面を表示しません。ディスプレイの表示を見ながら設定してください。
 - 設定したい HDMI 入力ソースに切り替える。
 - 本機の電源が入っているときに、ディスプレイに“SPECIAL MODE”と表示されるまで本体の **⏻** を長押しする。
 - 本体の入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“5Special Settings”を選んでから **⏻** を押す。
ディスプレイに“4K/8K Format <Enh>”を表示します。
 - 本体のスピーカー切り替えつまみ (SPEAKERS) を回して、4K/8K 信号フォーマットの設定を選ぶ。
 - 本体の **⏻** を押して、設定を確定する。



HDCP 設定

HDMI 入力端子が割り当てられている入力ソースごとに HDCP バージョンを設定します。

ご使用のプレーヤーやテレビの組み合わせによっては、HDCP のバージョンの違いにより映像が出力されない場合があります。

このような場合は、本設定で HDCP のバージョンを制限することにより映像を出力することができます。

オート (お買い上げ時の設定):	接続しているテレビの HDCP バージョンに合わせて本機の対応 HDCP バージョンを自動的に適用します。
1.4:	本機の HDCP バージョンを 1.4 に固定します。
2.3:	本機の HDCP バージョンを 2.3 に固定します。



- 当社のサービスエンジニアやカスタムインストーラーが本機の HDMI 信号フォーマットの設定をおこなっている場合は、設定項目に“カスタム”を表示します。



入カソース

現在選択している入カソースに関する設定をします。
設定を変更しなくてもご使用いただけます。必要に応じて設定してください。

入力端子の割り当て

本機の音声/映像入力端子に印字された入カソースのとおり接続をおこなうと、入カソース切り替えボタンを押すだけで、接続した機器の音声や映像を簡単に再生できます。

本機の音声/映像入力端子に印字された入カソースと異なる接続をおこなう場合は、この項目で、HDMI 入力端子、デジタルオーディオ入力端子、アナログオーディオ入力端子およびビデオ入力端子の割り当てを変更してください。

“INPUT MODE”で各入カソースの音声入力モードを設定します。通常は、“AUTO”に設定することをおすすめします。HDMI > DIGITAL > ANALOG の優先順位で本機に入力されている信号を自動的に検出して再生します。



- 各項目のお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

入カソース	入力端子			INPUT MODE
	HDMI	DIGITAL	ANALOG	
CBL/SAT	1	COAX	1	AUTO
Media Player	2	-	-	HDMI
Blu-ray	3	-	-	HDMI
Game	4 (8K)	-	-	HDMI
AUX1	5 (8K)	-	2	AUTO
AUX2	6 (8K)	-	-	HDMI
TV Audio	-	OPT	-	DIGITAL
CD	-	-	3	ANALOG



□ 衛星放送チューナーやケーブルテレビチューナーを設定する際のご注意

テレビや衛星放送チューナーをデジタルオーディオ出力端子に接続する場合：

“入力端子の割り当て” - “DIGITAL”で割り当てた音声信号と、“HDMI”で割り当てた映像信号を組み合わせる場合は、“INPUT MODE”を“DIGITAL”に設定してください。



- 同じ入力端子を複数の入力ソースに割り当てることができます。例えば、同じ HDMI 入力端子を複数の入力ソースに割り当てて、それぞれの入力ソースにお好みのアナログオーディオ端子やデジタルオーディオ端子を組み合わせることができます。この場合、あらかじめ再生したいオーディオ端子を“INPUT MODE”で設定してください。

■ HDMI

入力ソースに割り当てられている HDMI 入力端子を変更するときに設定します。

1 / 2 / 3 / 4(8K) / 5(8K) / 6(8K) :	選択した入力ソースに、いずれかの HDMI 入力端子を割り当てます。
— :	選択した入力ソースに HDMI 入力端子を割り当てません。



- メニューの“HDMI コントロール”または“ARC”を“オン”に設定している場合は、“TV Audio”に“HDMI”を割り当てることはできません。(「HDMI コントロール」(P.134 ページ)、「ARC」(P.134 ページ))

■ DIGITAL

入力ソースに割り当てられているデジタルオーディオ入力端子を変更するときに設定します。

COAX (Coaxial) / OPT (Optical) :	選択した入力ソースにデジタルオーディオ入力端子を割り当てます。
— :	選択した入力ソースにデジタルオーディオ入力端子を割り当てません。

■ ANALOG

入力ソースに割り当てられているアナログオーディオ入力端子を変更するときに設定します。

1 / 2 / 3 :	選択した入力ソースにアナログオーディオ入力端子を割り当てます。
— :	選択した入力ソースにアナログオーディオ入力端子を割り当てません。



■ INPUT MODE

各入力ソースの音声入力モードを設定します。
通常は、“AUTO”に設定することをおすすめします。

AUTO (お買い上げ時の設定):	本機に入力されている信号を自動的に検出して再生します。
HDMI:	HDMI 入力端子からの入力信号のみを再生します。
DIGITAL:	デジタルオーディオ入力端子からの入力信号のみを再生します。
ANALOG:	アナログオーディオ入力端子からの入力信号のみを再生します。



- メニューの“ARC”の設定が“オン”で、HDMI OUT 端子に ARC 対応テレビを接続している場合、入力ソースが“TV Audio”のときの入力モードは ARC 固定になります。

■ 初期化

“入力端子の割り当て”で設定した内容がお買い上げ時の設定に戻ります。



- 本機はアナログ音声信号および PCM 2 チャンネル信号の再生に対応しています。HDMI や DIGITAL 端子を使用して接続する場合は、再生機器の設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。



入力ソース名の変更

- 入力ソースの表示名を変更します。
変更後は、本体のディスプレイとメニュー画面にその名前を表示します。
- 接続した HDMI 機器から機器名を取得できた場合は、自動的に表示名を変更します。
ご使用の機器名と本機の入力ソース名が異なっている場合には、お好みに合わせて変更してください。

CBL/SAT / Media

Player /

Blu-ray / Game / AUX1 / 選択した入力ソースの表示名を変更します。

AUX2 / TV Audio / CD /

Phono:

初期化: “入力ソース名の変更”で設定した内容がお買い上げ時の設定に戻ります。



- 16 文字まで入力できます。

使用ソースの選択

使用しない入力ソースを表示しないように設定します。

使用する
(お買い上げ時の設定): 選択した入力ソースを使用します。

使用しない: 選択した入力ソースを使用しません。

ソースレベル

選択した入力ソースの音声入力の再生レベルを補正します。
ソースによって再生レベルに差があるときなどに設定してください。

-12 dB~+12 dB(お買い上げ時の設定:0 dB)



- “ソースレベル”の設定は、入力ソースごとに記憶します。



スピーカー

スピーカーに関する設定をします。

スピーカーレイアウト

左右スピーカーの出力端子や、サブウーハーの有無、低音域の再生能力を選択します。

■ 左右

左右スピーカーの出力端子を設定します。

□ スピーカー構成

左右スピーカーは再生に必要なため、“有り”に固定されています。

有り (お買い上げ時の設定)

□ 接続

左右スピーカーの出力端子を選択します。

スピーカー+プリ
(お買い上げ時の設定): スピーカー端子とプリアウト端子を使用します。

プリアウト: プリアウト端子のみ使用します。音質を向上させるために、プリアウト端子のみを使用してスピーカー出力をオフにします。

■ サブウーハー

サブウーハーの有無を設定します。

有り
(お買い上げ時の設定): サブウーハーを使用します。

無し: サブウーハーを使用しません。

■ ローパスフィルター

サブウーハーチャンネルのローパスフィルターを設定します。

40 Hz / 60 Hz / 80 Hz / 90 Hz / 100 Hz / 110 Hz / 120 Hz / 150 Hz / 200 Hz / 250 Hz (お買い上げ時の設定: 80Hz)



- メニューの“サブウーハー”の設定が“無し”のときは設定できません。



距離

リスニングポイントからスピーカーまでの距離を設定します。
あらかじめリスニングポイントから各スピーカーまでの距離を測定しておいてください。

■ 単位

距離の単位を設定します。

メートル (お買い上げ時の設定)

フィート

■ ステップ

距離の最小可変幅を設定します。

0.1 m / 0.01 m (お買い上げ時の設定: 0.1 m)

1 ft / 0.1 ft

■ 距離を設定します

0.00 m - 18.00 m / 0.0 ft - 59.1 ft (お買い上げ時の設定:
3.60m(11.8ft))



- “スピーカーレイアウト” - “サブウーハー”の設定が“無し”のとき、サブウーハーの設定はできません。(P.145 ページ)
- 各スピーカーに設定した距離の差は、6.00 m(19.7 ft)以下になるように設定してください。

■ 初期化

“距離”で設定した内容がお買い上げ時の設定に戻ります。



レベル

リスニングポイントに対して、各スピーカーから出力されるテストトーンの音量が同じになるように設定します。

■ テストトーン開始

選択したスピーカーからテストトーンを出力します。
テストトーンを聞きながら、各スピーカーの音量を調節してください。

-12.0 dB~+12.0 dB(お買い上げ時の設定:0.0 dB)



- 設定した“レベル”は、すべてのサウンドモードに反映します。
- 入力ソースごとに左右の音量バランスを調節したい場合は、“バランス”で設定してください。(P.96 ページ)
- 本体の PHONES 端子にヘッドホンを挿入している場合は、“レベル”の設定はできません。

■ 初期化

“レベル”で設定した内容がお買い上げ時の設定に戻ります。

アドバンス設定

■ スピーカー選択

□ スピーカー

ご使用になるスピーカー A または B を設定します。

A
(お買い上げ時の設定): スピーカー A を使用します。

B: スピーカー B を使用します。

A+B: スピーカー A と B の両方を使用します。



- 本体の SPEAKERS つまみを回してもスピーカーを選択することができません。



ネットワーク

本機をホームネットワーク(LAN)に接続して使用できるようにするためには、ネットワークの設定をおこなう必要があります。DHCPでホームネットワーク(LAN)を構築している場合は、“DHCP”を“オン”に設定します。(お買い上げ時の設定のまま使用してください。)これにより、ホームネットワーク(LAN)を使用できるようになります。各機器にIPアドレスを手動で割り当てている場合は、“IPアドレス”の設定で本機にIPアドレスを割り当て、ゲートウェイアドレスやサブネットマスクなど、ご使用のホームネットワーク(LAN)に関する情報を入力する必要があります。

情報

ネットワークの情報を表示します。

フレンドリーネーム / 接続 / SSID / DHCP / IP アドレス /
MAC アドレス (イーサネット) / MAC アドレス (Wi-Fi) /
Wi-Fi 電波強度

接続

ホームネットワーク(LAN)に有線 LAN で接続するか、無線 LAN で接続するかを設定します。有線 LAN でネットワークに接続する場合、LAN ケーブルを接続してから“有線 (イーサネット)”を選択してください。無線 LAN でネットワークに接続する場合、“無線 (Wi-Fi)”を選択し、“Wi-Fi 設定”を設定してください。(P.149 ページ)

■ 接続方法

ホームネットワーク(LAN)に接続する方法を設定します。

有線 (イーサネット):	LAN ケーブルを使用して、ネットワークに接続します。
無線 (Wi-Fi) (お買い上げ時の設定):	無線 LAN (Wi-Fi) 機能を使用して、ネットワークに接続します。



- “有線 (イーサネット)”は“Wi-Fi”の設定が“無効”のときに設定できません。(P.155 ページ)



Wi-Fi 設定

無線 LAN (Wi-Fi) ルーターとの接続をおこないます。ルーターとの接続には次の方法があります。ご家庭の環境に合わせて接続方法を選択してください。

■ ネットワーク検索

テレビ画面に表示された接続可能な無線ネットワークの一覧から、接続したいネットワークを選択します。

1. 無線ネットワークの一覧から、接続したいネットワークを選ぶ。
- 見つからない場合は、“再スキャン”を選択してください。
2. パスワードを入力し、“OK”を選ぶ。

■ iOS を使用

お手持ちの iOS デバイス (iPhone/iPod/iPad) を使用してネットワークに接続します。iOS デバイスと本機を接続することで、自動的に本機を同じネットワークに接続することができます。

1. テレビ画面で“iOS を使用”を選ぶ。
2. iOS デバイスが無線 LAN (Wi-Fi) ルーターに接続していることを確認し、iOS デバイスの Wi-Fi 設定画面の下部にある“Marantz STEREO 70s”から“新しい AIRPLAY スピーカーを設定...”を選ぶ。
3. iOS デバイスの画面で“次へ”をタップする。



- iOS 機器のファームウェアのバージョンが iOS 10.0.2 以降に対応している必要があります。

■ WPS ルーター

プッシュボタン方式の WPS に対応したルーターを使用してください。

1. テレビ画面で“プッシュボタン”を選ぶ。
2. 接続したいルーターの WPS ボタンを押して、WPS モードにする。
 - ボタンを押す時間はルーターによって異なります。
3. 2 分以内に、テレビ画面で“接続”を選ぶ。



■ マニュアル

接続したいネットワーク名(SSID)やパスワードを入力して接続します。

1. 次の項目を設定する。

SSID:	無線ネットワーク名(SSID)を入力します。
セキュリティ:	ご使用のアクセスポイントの暗号化設定に合わせて、暗号化方式を選択します。
パスワード:	パスワードを入力します。

2. 設定が終わったら“接続”を選ぶ。

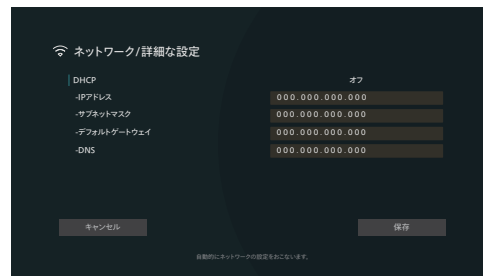


- 本機の“デフォルトキー”は“1”に固定されています。ルーターの“デフォルトキー”の設定を“1”にしてご使用ください。

詳細な設定

IP アドレスを設定します。

- ブロードバンドルーター(DHCP 機能)をご使用の場合は、本機のお買い上げ時の設定で DHCP 機能が“オン”になっていますので、IP アドレスなどネットワーク接続に必要な情報を自動で設定します。
- DHCP 機能のないネットワークに接続する場合や固定 IP アドレスを割り当てる場合のみ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよび DNS サーバーの情報を設定してください。



■ DHCP

ネットワークへの接続方法を設定します。

オン
(お買い上げ時の設定): ご使用のルーターから自動的にネットワークの設定をします。

オフ: 手動でネットワークの設定をします。

■ IPアドレス

入力する IP アドレスは下記の範囲で設定してください。

- 下記以外の IP アドレスではネットワークオーディオ機能を使用することはできません。

CLASS A: 10.0.0.1～10.255.255.254

CLASS B: 172.16.0.1～172.31.255.254

CLASS C: 192.168.0.1～192.168.255.254

■ サブネットマスク

xDSL モデムやターミナルアダプターを直接本機に接続している場合は、プロバイダから書面などで通知されたサブネットマスクを入力します。通常は“255.255.255.0”を入力します。

■ デフォルトゲートウェイ

ゲートウェイ(ルーター)に接続している場合は、その IP アドレスを入力します。

■ DNS

プロバイダから書面などで通知された DNS アドレスを入力してください。



- インターネットに接続できない場合は、再度接続や設定を確認してください。(P.46 ページ)
- インターネットの接続についてお分かりにならない場合は、ISP (Internet Service Provider) またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。



ネットワークコントロール

電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。

スタンバイ時オフ: スタンバイ時に、ネットワーク機能を停止します。

常時オン
(お買い上げ時の設定): スタンバイ時でも、ネットワーク機能を停止しません。ネットワーク対応のコントローラーを使用して本機を操作できます。



- ウェブコントロール機能や Marantz AVR Remote App アプリ、HEOS App アプリをご使用になる場合は、“ネットワークコントロール”の設定を“常時オン”にしてご使用ください。

ご注意

- “ネットワークコントロール”を“常時オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

フレンドリーネーム

フレンドリーネームとは、ネットワーク上に表示される本機の名称です。お好みの名前に変更できます。

■ ネーム

リストからフレンドリーネームを選択します。

“その他”を選択すると、お好みのフレンドリーネームに変更できます。

Home Theater / Living Room / Family Room / Guest Room / Kitchen / Dining Room / Master Bedroom / Bedroom / Den / Office / その他



- 30 文字まで入力できます。
- お買い上げ時のフレンドリーネームは、“Marantz STEREO 70s”です。

■ 初期化

編集したフレンドリーネームがお買い上げ時の設定に戻りません。



診断

ネットワークの接続を確認します。

■ ケーブル接続

LAN ポートの接続の確認をします。

OK

エラー: LAN ケーブルが接続されていません。接続を確認してください。



- 無線 LAN で接続している場合は、“接続 無線 (Wi-Fi)” を表示します。

■ ルーターアクセス

本機からルーターまでの通信の確認をします。

OK

エラー: ルーターとの通信に失敗しました。ルーターの設定を確認してください。

■ インターネットアクセス

本機からインターネット(WAN)のアクセス可否の確認をします。

OK

エラー:

インターネットへの接続に失敗しました。インターネットの接続環境またはルーターの設定を確認してください。



AirPlay

Apple AirPlay 機能を設定します。

■ AirPlay ネーム

Apple デバイスでの本機の識別名を表示します。



- 本機を Apple ホーム アプリに登録した場合は、Apple ホームアプリを使用して名前を変更してください。

■ AirPlay

Apple AirPlay 機能をオン/オフします。

オン
(お買い上げ時の設定): Apple AirPlay 機能を有効にします。

オフ: Apple AirPlay 機能を無効にします。

Spotify Connect

Spotify Connect へのアクセスをオン/オフします。

オン
(お買い上げ時の設定): Spotify Connect へのアクセスを有効にします。

オフ: Spotify Connect へのアクセスを無効にします。



Wi-Fi と Bluetooth

Wi-Fi と Bluetooth の無線機能をオン/オフします。

■ Wi-Fi

Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。有線 LAN を使用して本機をネットワークに接続する場合に、高音質な再生ができます。

有効
(お買い上げ時の設定): Wi-Fi 機能をオンにします。

無効: Wi-Fi 機能をオフにします。

■ Bluetooth

Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

有効
(お買い上げ時の設定): Bluetooth 機能をオンにします。

無効: Bluetooth 機能をオフにします。



HEOS

HEOS アカウントは、HEOS お気に入りを使用するために必要です。

表示されるメニューは、HEOS アカウントでサインインしているかどうかによって異なります。

サインインしていない場合

テレビ画面に QR コード表示します。

お持ちのモバイル機器で読み込んで、HEOS App をダウンロードしてください。

HEOS App で HEOS アカウントを作成またはサインインすると、本機の画面からあなたのお気に入りのストリーミングラジオ局を保存したり、呼び出すことができます。(P.95 ページ)

HEOS App については、「HEOS アプリをダウンロードする」(P.81 ページ)をご覧ください。



- 本機の HEOS アカウントの設定情報は HEOS App と同期します。アカウントの設定変更やサインアウトは、HEOS App でおこなってください。

サインインしている場合

■ サインイン中

現在サインインしている HEOS アカウントを表示します。



- HEOS App でアカウントの設定変更やサインアウトをおこなうと、本機の状態も自動的に同期します。HEOS アカウントを切り替えたい場合は、本機に同期させたいアカウントでサインインしている HEOS App から音楽を再生してください。“HEOS アカウント”を自動的に切り替えます。



一般

その他の設定をします。

言語

テレビ画面に表示するメニューの言語を設定します。

日本語 / English (お買い上げ時の設定: 日本語)



- “言語”は、次の操作でも設定できます。この設定中は、メニュー画面を表示しません。ディスプレイの表示を見ながら設定してください。
 - 本機の電源が入っているときに、ディスプレイに“SPECIAL MODE”と表示されるまで本体の **⏻** を長押しする。
 - 本体の入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“5Special Settings”を選んでから **⏻** を押す。
ディスプレイに“4K/8K Format <Enh>”を表示します。
 - 本体の入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“GUI Language JAPANESE”を選ぶ。
 - 本体のスピーカー切り替えつまみ (SPEAKERS) を回して、言語を選ぶ。
 - 本体の **⏻** を押して、設定を確定する。

エコ設定

エコモードとオートスタンバイモードの設定をします。

■ エコモード

本機の電源がオンのときの消費電力や発熱を低減することができます。

これは、パワーアンプへ供給される電力を減少させることによって消費電力の低減をおこないます。

オーナーズマニュアル

モバイル機器から、オンラインの取扱説明書にアクセスするための URL と QR コードを表示します。



オン:

音量や入力信号に関わらず、常に消費電力を低減します。

音量の設定や入力信号の有無に合わせて、消費電力を自動的に最適化します。

音量を低く設定している場合は、パワーアンプへ供給している電力を下げ、消費電力を低減します。音量を上げると通常の供給電力に戻り、パワフルな再生をお楽しみいただけます。

オート

(お買い上げ時の設定):

また、音量を高く設定していても無信号の状態が2分以上続いた場合は、自動的に消費電力を低減します。このような場合は、再度再生を開始したり、入力ソースを切り替えたりすると、自動的にパワーアンプへの供給電力が通常の状態に戻ります。

オフ:

消費電力を低減しません。



- “エコモード”の設定が“オート”のときに、パワーアンプへの供給電力が切り替わると、本機内部からクリック音が聞こえることがありますが、これは正常な動作です。
- “エコモード”の設定が“オート”のとき、無信号の状態が2分以上続いたあとに再生が開始されると、音の始めがクリップすることがあります。
- “エコモード”はメニューのスピーカーインピーダンスの設定が4Ωのときは設定できません。(P.28 ページ)



■ 電源オン時の設定

電源をオンにしたときのエコモードを設定します。

最後の設定 (お買い上げ時の設定):	前回電源をオフにする前の設定になります。
------------------------------	----------------------

オン:	電源をオンにしたとき、常にエコモードが“オン”になります。
------------	-------------------------------

オート:	電源をオンにしたとき、常にエコモードが“オート”になります。
-------------	--------------------------------

オフ:	電源をオンにしたとき、常にエコモードが“オフ”になります。
------------	-------------------------------

■ オンスクリーン表示

本機の消費電力を、テレビ画面にメーターで表示します。

常時オン:	テレビ画面に常にメーターを表示します。
--------------	---------------------

オート (お買い上げ時の設定):	モードや音量の変更時、テレビ画面にメーターを表示します。
----------------------------	------------------------------

オフ:	テレビ画面にメーターを表示しません。
------------	--------------------



■ オートスタンバイ

自動的に本機をスタンバイ状態にする設定をします。

□ メインゾーン

音声や映像の入力がない状態で本機を操作しないときに、自動的にスタンバイ状態にする時間を設定します。スタンバイ状態になる前に、本体のディスプレイとメニュー画面に“オートスタンバイ”を表示します。

60分:	約 60 分後に本機をスタンバイ状態にしません。
30分:	約 30 分後に本機をスタンバイ状態にしません。
15分:	約 15 分後に本機をスタンバイ状態にしません。
オフ (お買い上げ時の設定):	自動的に本機をスタンバイ状態にしません。

□ ZONE2

音声や映像の入力があっても、何も操作がない状態が続いた場合、ここで設定した時間が経過すると自動で電源が切れます。

8 時間:	約 8 時間後にゾーン 2 をスタンバイ状態にします。
4 時間:	約 4 時間後にゾーン 2 をスタンバイ状態にします。
2 時間:	約 2 時間後にゾーン 2 をスタンバイ状態にします。
オフ (お買い上げ時の設定):	自動的にゾーン 2 をスタンバイ状態にしません。



Bluetooth 送信

本機の Bluetooth 送信の設定をします。
メインゾーンで再生している音声を Bluetooth ヘッドホンで聴く場合に設定してください。

■ 送信

Bluetooth 送信機能を設定します。

オン:	Bluetooth 送信機能を使用します。
オフ (お買い上げ時の設定):	Bluetooth 送信機能を使用しません。

■ 出力モード

音声の出力方法を選択します。

Bluetooth + スピーカー (お買い上げ時の設定):	音声は Bluetooth ヘッドホンとメインゾーンのスピーカーに出力されます。
Bluetooth のみ:	音声は Bluetooth ヘッドホンのみで出力されます。

■ 接続中のデバイス

本機に接続されている Bluetooth 機器を表示します。

■ デバイスリスト

- 本機に接続したい Bluetooth ヘッドホンがペアリングモードに入ると、使用可能な機器がデバイスリストに表示されます。リストから機器名を選択して本機とペアリングしてください。
- 本機に接続できる機器は 1 台です。最大 8 台まで Bluetooth 機器を登録することができます。メニューの“Bluetooth 送信” - デバイスリストから登録済みの機器を切り替えることができます。
- 登録済みの機器をリストから削除したい場合は、カーソル上/下ボタンを押して機器名を選択後、OPTION ボタンを押して“このデバイスの登録を解除”を選択してください。



- “出力モード”はオプションメニューの“Bluetooth 送信”からでも設定できます。
- Bluetooth ヘッドホンの接続と同じ操作で A2DP プロファイル対応の Bluetooth スピーカーも接続できます。

ご注意

- Bluetooth 送信機能と Bluetooth 受信機能を同時に使用することはできません。いずれかのゾーンで Bluetooth 機器の音楽を聴いている場合、このメニューは使用できません。
- “送信”を“オン”に設定していても、リモコンの Bluetooth ボタンを押して Bluetooth 入力ソースを選択すると、Bluetooth 受信機能が有効になります。スマートフォンなどの Bluetooth 機器に保存されている音楽を本機で再生したい場合は、リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを“Bluetooth”に切り替えてから Bluetooth 機器と再接続してください。
- 本機が HEOS アプリでグループ化されている場合、このメニューは使用できません。



ゾーン2の設定

ゾーン2で再生する音声の設定をします。



- “音量の上限”および“電源オン時の音量”の設定値は、音量の“表示方法”の設定に合わせて表示します。(P.130 ページ)

■ 音量レベル

音量出力レベルを設定します。

可変

(お買い上げ時の設定): 音量の調節ができます。

1 - 98

(-79 dB - 18 dB): 音量をお好みのレベルに固定します。リモコンで音量の調節はできません。



- “表示方法”の設定が“-79.5dB - 18.0 dB”のときに dB 値を表示します。(P.130 ページ)

■ 音量の上限

音量の上限を設定します。

60(-20 dB) / 70(-10 dB) / 80(0 dB)

(お買い上げ時の設定: 70(-10 dB))

オフ:

音量の上限を設定しません。



- メニューの“音量レベル”の設定が“可変”のときに設定できます。(P.162 ページ)
- “表示方法”の設定が“-79.5 dB - 18.0 dB”のときに dB 値を表示します。(P.130 ページ)

■ 電源オン時の音量

電源をオンにしたときの音量を設定します。

前回の音量

(お買い上げ時の設定): 前回使用したときの音量になります。

消音:

常に消音状態になります。

1 - 98

(-79 dB - 18 dB): 音量が設定したレベルに調節されます。



- メニューの“音量レベル”の設定が“可変”のときに設定できます。(P.162 ページ)
- “表示方法”の設定が“-79.5 dB - 18.0 dB”のときに dB 値を表示します。(P.130 ページ)



ゾーン名の変更

ゾーンの表示名を、お好みの名前に変更します。

メインゾーン / ゾーン 2

初期化: 編集したゾーン名がお買い上げ時の設定に戻ります。



- 10文字まで入力できます。

スマートセレクト

“スマートセレクト”登録時に、設定を記憶する項目を設定します。

■ ネーム

テレビ画面に表示するネームをお好みの名前に変更します。



- 16文字まで入力できます。



■ 入力ソース/音量/サウンドモード/バランス/サブウーハー/M-DAX/ラジオステーション/All Zone Stereo/テレビ音声の共有設定

有効 (お買い上げ時の設定):	スマートセレクト登録時に、現在の設定を記憶します。スマートセレクトを呼び出した際、登録時の設定内容で呼び出されま す。
無効:	スマートセレクト登録時に、現在の設定が記憶されません。スマートセレクトを呼び出した際、登録時の設定内容で呼び出され ません。



- スマートセレクトは、“スマートセレクト”ごとに設定できます。
- “入力ソース”を“無効”に設定してした場合、ビデオセレクトの情報も登録および呼び出しできません。

フロントディスプレイ

本機のディスプレイに関する設定をします。

■ 明るさ

本機のディスプレイの明るさを調節します。

通常 (お買い上げ時の設定):	通常の明るさです。
薄暗い:	薄暗くします。
暗い:	暗くします。
消灯:	ディスプレイを消灯します。



ファームウェア

アップデートに関する最新のファームウェア情報を確認し、ファームウェアをアップデートします。

■ アップデートの確認

ファームウェアのアップデートがあるか確認します。
アップデート可能なファームウェアがリリースされている場合は、アップデートを実行できます。

今すぐアップデートする: アップデートを実行します。アップデートを開始すると、メニュー画面はシャットダウンします。アップデート中は、ディスプレイに進行状況を表示します。

後でアップデートする: 後でアップデートを実行します。



- アップデートに失敗しても、本機は自動的にアップデートを再試行します。アップデートできない場合には、ディスプレイに“Update Error”を表示します。アップデートエラーメッセージについては、「故障かな?と思ったら」-「アップデートエラーメッセージについて」をご覧ください。(P.194 ページ)
メッセージに従い環境の確認をおこなったうえで、再度アップデートしてください。
- このメニューは、“アップデートの許可”の設定が“オフ”のときは選択できません。

■ 自動アップデート

本機がスタンバイモードのときに、最新のファームウェアへ自動的に更新します。

□ 自動アップデート

本機がスタンバイモードのときに、最新のファームウェアへ自動的に更新します。

オン: 自動でアップデートします。

オフ
(お買い上げ時の設定): 自動でアップデートしません。

□ タイムゾーン

タイムゾーンを変更します。
お住まいの地域にあったタイムゾーンを設定してください。



- このメニューは、“アップデートの許可”の設定が“オフ”のときは選択できません。



■ アップデートの許可

本機のアップデートを有効または無効に設定します。

オン
(お買い上げ時の設定): アップデートを有効にします。

オフ: アップデートを無効にします。



- この設定をおこなうと、他の HEOS 機器や HEOS アプリとの互換性に問題が生じる場合があります。



“アップデート”をおこなうときのご注意

- これらの機能を使用するためには、インターネットに接続できる環境と設定が必要です。(P.46 ページ)
- アップデートが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。
- アップデートが完了するまで、1 時間程度かかります。
- 一旦アップデートを開始すると、完了するまで通常の操作ができなくなります。また、本機に設定したパラメーターなどのバックアップデータがリセットされる場合があります。
- アップデート中に更新が失敗した場合は、本体の **⏻** を 5 秒以上長押しするか、電源コードを挿入し直してください。約 1 分後、ディスプレイに“Please wait”を表示し、更新を再開します。それでも失敗が続く場合は、ネットワークの環境を確認してください。

情報

本機の設定状態や入力信号などの情報を表示します。

■ オーディオ

メインゾーンのオーディオの情報を表示します。

サウンドモード:	設定しているサウンドモード
----------	---------------

入力信号:	入力信号の種類
-------	---------

サンプリング周波数:	入力信号のサンプリング周波数
------------	----------------



■ ビデオ

メインゾーンの HDMI 入出力信号や HDMI テレビの情報を表示します。

HDMI 信号情報

解像度 / HDR / カラースペース / ビット数 / ALLM / QFT / FRL
レート

テレビ情報

インターフェース / HDR / 対応解像度 / 拡張機能 / 最大 FRL レート



- 解像度の末尾に A または B が表示される場合があります。A は非圧縮映像を表し、B は圧縮映像を表します。
- ALLM、QFT および FRL について詳しくは“HDMI について”を参照してください。(P.201 ページ)

■ ゾーン

各ゾーンの現在の設定状態を表示します。

メインゾーン:

メインゾーンの設定状態を表示します。表示する内容は、入力ソースによって異なります。

ゾーン 2:

ゾーン 2 の設定状態を表示します。

■ ファームウェア

バージョン:

現在のファームウェアのバージョン情報を表示します。



■ お知らせ

お知らせを表示します。

また、電源をオンにしたときにお知らせを表示するかしないかを設定します。

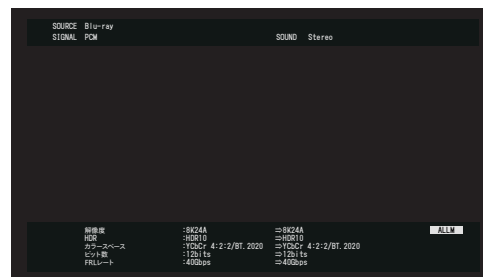
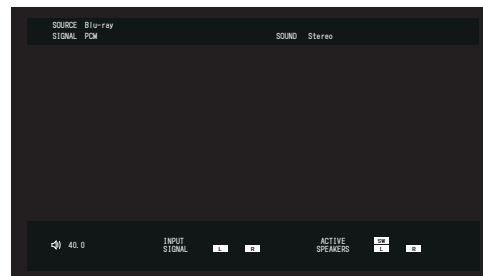
お知らせの表示

オン
(お買い上げ時の設定): 通知メッセージを表示します。

オフ: 通知メッセージを表示しません。



- リモコンの INFO を押すと、表示が切り替わり、入力ソース名、音量、サウンドモード名およびビデオ入出力信号などの情報が表示されます。FRL Rate は本機の“4K/8K 信号フォーマット”設定が“8K 拡張”で、接続している TV が FRL 伝送モードに対応しているとき FRL に表示されます。



使用状況の送信設定

当社は今後の製品改善のために、本機の設定状況や機能の使用状況に関する情報の送信をお願いしております。お客様から送信される情報は今後の製品開発の参考にさせていただきます。送信される情報は個人を特定する情報は含まれません。この情報は、当社の製品改善目的のみに利用させていただき、第三者へ提供することは決して致しません。

はい: 本機の使用状況を情報提供します。

いいえ: 本機の使用状況を情報提供しません。

セーブ&ロード

USB メモリーを使用して、本機の設定を保存または復元します。



- 空き容量が 128MB 以上で、FAT32 の形式でフォーマットされた USB メモリーが使用できます。また、USB メモリーによっては正しく保存または復元ができない場合があります。
- 保存または復元が完了するまで、10 分程度かかることがあります。完了するまで電源を切らないでください。

■ 設定を保存

USB メモリーに本機の現在の設定を保存します。

設定が正しく保存されると、ディスプレイに“Saved”を表示し、USB メモリーに“config.avr”というファイルを作成します。



- 作成されたファイルの名前を変更しないでください。変更すると、復元時に設定の保存ファイルとして認識されません。

■ 設定を復元

USB メモリーに保存した設定を本機に復元します。

保存された設定が本機に正しく復元されると、ディスプレイに“Loaded”を表示して自動的に再起動します。



セットアップロック

設定した内容を変更できないようにロックします。

■ セットアップロック

オン:	設定した内容をロックします。
オフ (お買い上げ時の設定):	設定した内容をロックしません。



- 設定を解除するときは、“セットアップロック”を“オフ”に設定してください。

ご注意

- “セットアップロック”を“オン”に設定すると、“セットアップロック”以外の設定項目は表示しません。

初期化

本機の各種設定がお買い上げ時の設定に戻ります。
すべての設定の初期化、またはネットワーク設定のみの初期化ができます。

■ すべての設定

すべての設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

■ ネットワーク設定

ネットワーク設定のみお買い上げ時の設定に戻ります。



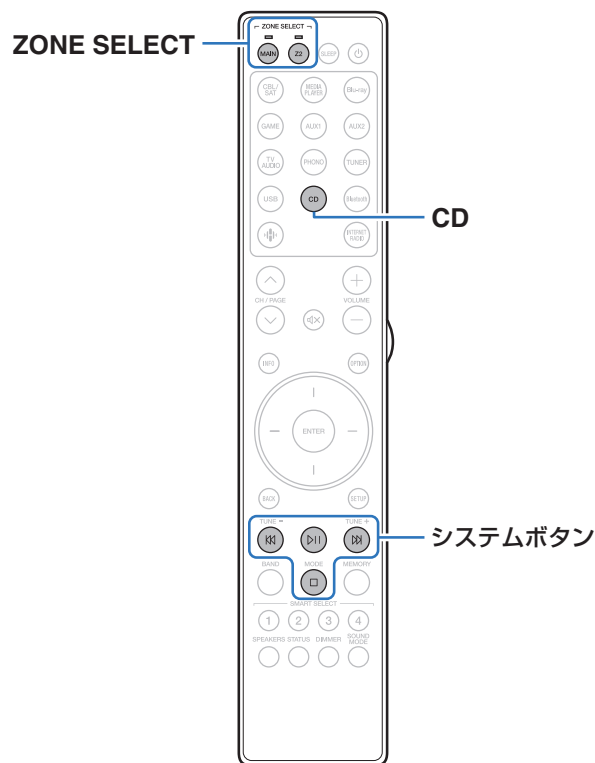
- お買い上げ時の設定に戻す前にメニューの“セーブ&ロード”機能を使用すると、本機の各種設定を記憶させ、保存および復元することができます。(P.170 ページ)
- “初期化”の操作は、本体のボタンを使用しておこなうこともできます。
すべての設定をお買い上げ時の設定に戻す方法については「お買い上げ時の設定に戻す」(P.195 ページ)、ネットワーク設定のみお買い上げ時の設定に戻す方法については「ネットワークの設定をお買い上げ時の設定に戻す」(P.196 ページ)をご覧ください。

ご注意

- ネットワーク設定の初期化中は、電源コードを抜いたり、電源をオフにしたりしないでください。



リモコンでCDプレーヤーを操作する



入力ソース選択ボタンの CD を押すと、システムコントロールボタンで Marantz の CD プレーヤーを操作できます。

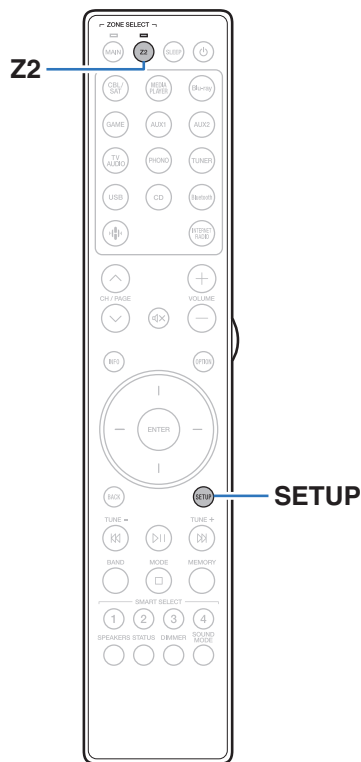
操作ボタン	機能
⏮ ⏭	曲のスキップ
⏸	再生/一時停止
□	停止



- CD 操作時に、システムコントロールボタンを押しても、ゾーン選択ボタンは点灯しません。
- ゾーン選択ボタン、電源ボタン、CD 以外の入力ソース選択ボタン、SMART SELECT ボタンを押すと、CD 操作モードが解除されます。



リモコンで操作するゾーンを限定する



リモコンでゾーン 2 を操作できないように設定することができます。

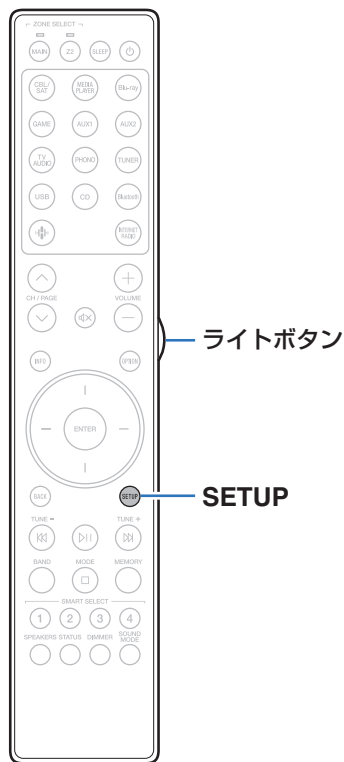
- 1 Z2 と SETUP を長押しする。
MAIN および Z2 表示が点滅します。

■ 設定を解除する

- 1 設定中に Z2 と SETUP を長押しする。
MAIN および Z2 表示が点滅し、設定を解除します。



リモコンのバックライトを設定する



リモコンのバックライトを消灯させることができます。

- お買い上げ時は、バックライトを点灯させる設定になっています。

バックライトを消灯させる

- 1 SETUP とライトボタンの両方を、リモコンの MAIN と Z2 表示が緑色に点滅するまで同時に長押しする。



- バックライト機能がオフの状態ですら再度手順 1 をおこなうと、バックライト機能をオンにできます。



■ 目次

こんなときの解決方法

誤って音量が大きくならないようにしたい	176
電源を入れたときの音量を常に同じにしたい	176
今聴いている音楽に好きな映像を組み合わせたい	176
使っていない入力ソースを消したい	176
ホームパーティーなどのときにすべてのゾーンで同じ音楽を楽しみたい	176

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	178
リモコンで操作ができない	179
本機のディスプレイが表示されない	179
音がまったく出ない	180
希望する音が出ない	181
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	183
テレビに映像が映らない	184
テレビにメニュー画面が表示されない	185
テレビに表示されるメニュー画面や操作内容の色が通常と異なる	185
AirPlay 再生ができない	186
USB メモリーが再生できない	187
Bluetooth が再生できない	188
インターネットラジオが再生できない	190
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない	191
各種オンラインサービスが再生できない	192
HDMI コントロール機能が動作しない	192
無線 LAN ネットワークに接続できない	193
アップデートエラーメッセージ	194



こんなときの解決方法

誤って音量が大きくなりたい

- メニューの“音量の上限”で音量の上限値をあらかじめ設定してください。小さな子供が誤って音量を上げすぎることを防ぎます。ゾーンごとに設定できます。(「音量」(P.130 ページ)、「音量の上限」(P.162 ページ))

電源を入れたときの音量を常に同じにしたい

- お買い上げ時の設定では、本機をスタンバイにしたときの音量設定が、次回電源を入れたときに、前回スタンバイしたときの音量がそのまま適用されます。音量を一定にしたい場合は、メニューの“電源オン時の音量”で、電源を入れたときの音量を設定してください。ゾーンごとに設定できます。(「音量」(P.130 ページ)、「電源オン時の音量」(P.162 ページ))

今聴いている音楽に好きな映像を組み合わせたい

- オプションメニューの“ビデオセレクト”を“オン”に設定してください。チューナーや CD、Phono、HEOS ミュージック、USB ミュージック、Bluetooth の音楽を聴きながら、Blu-ray やセットトップボックスなどお好みの映像ソースを組み合わせることができます。(P.100 ページ)

使っていない入力ソースを消したい

- メニューの“使用ソースの選択”で使用していない入力ソースを設定してください。本体の INPUT つまみを回したときに使用していない入力ソースをスキップできます。(P.144 ページ)

ホームパーティーなどのときにすべてのゾーンで同じ音楽を楽しみたい

- オプションメニューの“All Zone Stereo”で“スタート”を選択してください。メインゾーンで再生している音楽をゾーン 2 でも同時に再生できます。(P.101 ページ)



故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか



- 手順 1 から 3 を実行しても問題が解決しない場合は、本機を再起動してください。再起動は以下の手順でおこなってください。
 1. 本機の電源が入っているときに、ディスプレイに“SPECIAL MODE”と表示されるまで本体の **⏻** を長押しする。
 2. 本体の入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“1 Reboot”を選んでから **⏻** を押す。

本機の電源コードを抜いて、接続しなおしてください。

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。



電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P.51 ページ)

電源が自動的に切れる。

- スリープタイマーが設定されています。再度電源を入れてください。(P.105 ページ)
- “オートスタンバイ”が設定されています。操作がない状態で一定時間が経過すると、“オートスタンバイ”が動作します。“オートスタンバイ”を無効にするには、メニューの“オートスタンバイ”を“オフ”に設定してください。(P.160 ページ)

電源が切れ、保護回路動作表示が約 2 秒間隔で、オレンジに点滅している。

- 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。電源が切れている状態で、1 時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。(P.212 ページ)
- 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。

電源が切れ、保護回路動作表示が約 0.5 秒間隔で、オレンジに点滅している。

- スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路がはたらいている可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直すか、端末処理をするなどしたあとで、接続し直してください。(P.28 ページ)
- 音量を下げて、電源を入れ直してください。(P.53 ページ)
- 本機のアンプ回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

電源ボタンを押しても本機の電源がオフにならず、ディスプレイに“ZONE2 On”と表示される。

- ゾーン 2 の電源がオンになっています。本機の電源をオフ(スタンバイ)にする場合は POWER  ボタンを押して、ゾーン 2 の電源をオフにしてください。



リモコンで操作ができない

リモコンで操作ができない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(P.9 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P.9 ページ)
- 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。(P.9 ページ)
- 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。
- 操作したいゾーンとリモコンのゾーンの設定が合っていません。MAIN または Z2 ボタンを押して、リモコンを操作するゾーンを選択してください。(P.128 ページ)
- 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の赤外線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。
- リモコンが CD プレーヤーの操作モードになっています。HEOS ミュージックやチューナーを操作したい場合は、ゾーン選択ボタン(MAIN または Z2)を押してください。(P.172 ページ)

本機のディスプレイが表示されない

ディスプレイの表示が消える。

- メニューの“明るさ”を“消灯”以外の設定にしてください。(P.164 ページ)
- サウンドモードが“Pure Direct”のとき、ディスプレイは消灯します。(P.102 ページ)



音がまったく出ない

スピーカーから音が出ない。

- 本機はアナログ音声信号および PCM 2 チャンネル信号の再生に対応しています。Dolby Digital 対応のディスクなどを再生する場合は、あらかじめ再生機器の音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。
- すべての機器の接続を確認してください。(P.28 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。(P.28 ページ)
- スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子の締めつけがゆるんでいないか確認してください。(P.28 ページ)
- 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。(P.53 ページ)
- 音量を適切な大きさに調節してください。(P.54 ページ)
- ミューティング(消音)モードを解除してください。(P.54 ページ)
- デジタルオーディオ入力端子の設定の確認をおこなってください。(P.141 ページ)
- 接続した機器のデジタル音声出力の設定を確認してください。機器によってはお買い上げ時の設定がオフになっていることがあります。
- 本体の PHONES 端子にヘッドホンのプラグを挿入していると、スピーカー端子およびプリアウト端子から音が出なくなります。
- SPEAKERS 切り替えつまみの設定を確認してください。

DVI-D 接続時に、音が出ない。

- 本機を DVI-D 端子付きの機器に接続した場合、音声は出力しません。別途、音声の接続をおこなってください。



希望する音が出ない

音量が上がらない。

- 音量の上限値が低く設定されています。メニューの“音量の上限”で上限値を設定してください。(P.130 ページ)
- 入力された音声フォーマットや設定に合わせて適切な音量補正処理をしているため、上限値まで上がらない場合があります。

Bluetooth ヘッドホンに音量調節機能が無く、音量が小さすぎる、または大きすぎる。

- オプションメニューから“Bluetooth 送信”の“レベル”で音量を調節してください。(P.65 ページ)

Bluetooth ヘッドホンに音量調節機能はあるが、音量が小さすぎる、または大きすぎる。

- オプションメニューから“Bluetooth 送信”の“レベル”で音量を調節してください。(P.65 ページ)

HDMI で接続したときに、音が出ない。

- HDMI 端子の接続を確認してください。(P.35 ページ)
- HDMI の音声信号をスピーカーから出力するときは、メニューの“HDMI オーディオ出力”の設定を“Stereo Receiver”に設定してください。テレビから出力するときは“テレビ”に設定してください。(P.132 ページ)
- HDMI コントロール機能を使用している場合は、テレビ側のオーディオ出力の設定が AV アンプになっているか確認してください。(P.104 ページ)

特定のスピーカーから音が出ない。

- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
- メニューの“スピーカーレイアウト” - “サブウーハー”の設定が“有り”になっているか確認してください。(P.145 ページ)



サブウーハーから音が出ない。

- サブウーハーの接続を確認してください。
- サブウーハーの電源を入れてください。
- メニューの“スピーカーレイアウト” - “サブウーハー”を“有り”に設定してください。(P.145 ページ)

“M-DAX”が選択できない。

- アナログ信号または PCM 信号(サンプリング周波数=44.1/48kHz)が入力されているか確認してください。(P.129 ページ)
- サウンドモードを“Direct”、“Pure Direct”以外に切り替えてください。(P.102 ページ)

ゾーン2から音が出ない。

- ゾーン2では、アナログオーディオ端子から入力される音声信号と、デジタル端子(OPTICAL/COAXIAL)から入力される PCM 2チャンネル信号を再生できます。
- ゾーン2で Bluetooth の音声を聴く場合、本機と Bluetooth 機器の間に障害物がなく、なおかつ約 30m の範囲内で使用してください。

Bluetooth ヘッドホンを使用中にサウンドモードやオーディオメニューの設定を変更できない。

- 本機は Bluetooth ヘッドホンの音声出力に対して、サウンドモードやオーディオメニューの設定を変更することはできません。



音が途切れたり、ノイズが入ったりする

インターネットラジオや USB メモリーを再生中に、音が途切れることがある。

- USB メモリーの転送速度が遅いと音が途切れることがあります。
- ネットワークの通信速度が遅いか、ラジオ局が混雑しています。

iPhone で通話すると、本機の音声出力にノイズが入る。

- iPhone を本機から 20cm 以上離して通話してください。

FM 放送または AM 放送の雑音が多い。

- アンテナの向きや位置を変えてください。(P.44 ページ)
- 本機から AM ループアンテナを外してください。
- 屋外アンテナを使用してください。(P.44 ページ)
- アンテナと他の接続ケーブルを離してください。(P.44 ページ)

音が歪んで聴こえる。

- 音量を下げてください。(P.54 ページ)
- メニューの“エコモード”を“オフ”に設定してください。“エコモード”が“オン”または“オート”のときは、大きな音量を再生すると音声が歪むことがあります。(P.157 ページ)

Wi-Fi 接続時に音切れがする。

- 無線 LAN で使用する周波数帯域は、電子レンジ・コードレスフォン・ゲーム機のワイヤレスコントローラー・その他の無線 LAN 機器で使います。そのため、これらの機器と本機を同時に使用すると、電波干渉により音途切れが発生する場合があります。次の方法をおこなうと、音途切れが改善される場合があります。(P.46 ページ)
 - 干渉している機器を本機から離して設置する。
 - 干渉している機器の電源を切る。
 - 本機に接続しているルーターのチャンネル設定を変更する。(チャンネルの変更のしかたは、無線ルーターの取扱説明書をご覧ください。)
 - 有線 LAN 接続に切り替える。
- 特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、ご使用の無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。(P.149 ページ)



テレビに映像が映らない

映像が映らない。

- すべての機器の接続を確認してください。(☞ 35 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- 本機に接続されたテレビの入力端子に入力の設定を合わせてください。(☞ 141 ページ)
- 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。(☞ 53 ページ)
- ビデオ入力端子の設定の確認をおこなってください。(☞ 141 ページ)
- プレーヤーとテレビの解像度が合っていることを確認してください。(☞ 168 ページ)
- テレビが著作権保護 (HDCP) に対応しているか確認してください。HDCP に対応していない機器を接続した場合、映像が正しく出力されません。(☞ 202 ページ)
- HDCP 2.2 または HDCP 2.3 で著作権保護されているコンテンツを楽しむ場合は、HDCP 2.2 または HDCP 2.3 に対応した再生機器とテレビをご使用ください。
- 4K の映像を再生したい場合は、“High Speed HDMI Cable”または“High Speed HDMI Cable with Ethernet”をご使用ください。より高品位に 4K の映像を楽しむために、HDMI Premium Certified Cable のラベルが製品のパッケージに貼られている“Premium High Speed HDMI Cables”または“Premium High Speed HDMI Cables with Ethernet”のご使用をおすすめします。
- 認証された“Ultra High Speed HDMI cable”を使用して、8K または 4K 120Hz の映像をお楽しみください。他の HDMI ケーブルを使用すると、映像が映らないなどの問題が発生する場合があります。

DVI-D 接続時に、テレビに映像が映らない。

- DVI-D 接続の場合、機器間によってはコピーガード著作権保護 (HDCP) によって正しく動作しない場合があります。(☞ 202 ページ)

メニューを表示中に、テレビに映像が映らない。

- メニューを操作すると、メニューの背景に再生映像は表示されません。



テレビにメニュー画面が表示されない

テレビにメニュー画面や操作内容が表示されない。

- 次の映像信号の再生中は、テレビに操作内容は表示されません。
 - ・一部の 3D ビデオコンテンツの映像
 - ・コンピューター解像度(例:VGA)の映像
 - ・16:9、4:3 以外のアスペクト比の映像
 - ・HDR 信号の種類による
 - ・ゲームコンテンツの種類による
 - ・圧縮映像
- テレビ側で 2D 映像を 3D 映像に変換している場合は、メニュー画面や操作内容を正しく表示しません。(P.169 ページ)

テレビに表示されるメニュー画面や操作内容の色が通常と異なる

テレビに表示されるメニュー画面や操作内容の色が違う。

- 一部の HDR 信号を再生中に本機を操作すると、表示されるメニュー画面や操作内容の色が通常と異なる場合があります。これは一部の HDR 信号の特性により起こるもので、故障ではありません。



AirPlay 再生ができない

iTunes/iPhone/iPod touch/iPad 上に AirPlay のアイコンが表示されない。

- 本機とパソコン/iPhone/iPod touch/iPad が同一のネットワーク (LAN) に接続されていません。本機と同一の LAN に接続してください。(P.46 ページ)
- iTunes/iPhone/iPod touch/iPad が AirPlay 対応のファームウェアではありません。最新のファームウェアにアップデートしてください。

音が出ない。

- iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の音量が最小になっています。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の音量と本機の音量は連動しています。適切な値に設定してください。
- AirPlay の再生をしていないか、本機が選択されていません。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の画面で AirPlay アイコンをクリックして、本機を選択してください。(P.91 ページ)

iPhone/iPod touch/iPad で AirPlay 再生時に音が途切れる。

- iPhone/iPod touch/iPad のバックグラウンドで起動しているアプリケーションを終了してから AirPlay 再生をしてください。
- 無線接続で外部の影響を受けている可能性があります。無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くするなどネットワーク環境を変更してください。

リモコンで iTunes の再生操作ができない。

- iTunes の“リモートスピーカーから iTunes のコントロールを許可する”の設定を有効にしてください。リモコンで再生/一時停止/スキップ操作ができます。



USB メモリーが再生できない

USB メモリーが認識できない。

- USB メモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。(P.43 ページ)
- マスストレージクラス対応の USB メモリーに対応しています。
- 本機は、USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは USB 端子に直接接続してください。
- USB メモリーのフォーマットを“FAT32”または“NTFS”に設定してください。
- すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクを使用する場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続して使用してください。

USB メモリー内のファイルを表示しない。

- 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。(P.55 ページ)
- 本機が表示できるファイルのフォルダ階層は最大 8 階層です。また、1 階層あたり最大 5000 ファイル(フォルダ)です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。
- USB メモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。

iOS および Android 機器が認識できない。

- 本機の USB 端子は、iOS および Android 機器の再生には対応していません。

USB メモリーのファイルを再生できない。

- 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(P.205 ページ)
- 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしています。本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。
- ファイルサイズが 2MB を超えるアルバムアートを使用している場合、再生できない場合があります。



Bluetoothが再生できない

本機に Bluetooth 機器が接続できない。

- Bluetooth 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください、Bluetooth 機能を有効にしてください。
- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- Bluetooth 機器が A2DP プロファイルに対応していない場合、本機と接続できません。
- ご使用の Bluetooth 機器の電源を入れ直してから、お試しください。

スマートフォンなどの Bluetooth 機器と接続できない。

- “送信”を“オン”に設定している場合は、スマートフォンなどの Bluetooth 機器を接続できません。リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを“Bluetooth”に切り替えてから Bluetooth 機器を接続してください。(P.161 ページ)

Bluetooth ヘッドホンを接続できない。

- Bluetooth ヘッドホンを本機に近づけてください。
- Bluetooth ヘッドホンの電源を入れ直してからお試しください。
- メニューの“一般” - “Bluetooth 送信”の設定で、“送信”を“オン”に設定してください。(P.161 ページ)
- 本機が別の Bluetooth ヘッドホンに接続されていないことを確認してください。リモコンの INFO ボタンまたは本体の STATUS ボタンを押すと、Bluetooth ヘッドホンの接続状態を確認することができます。本機が別の Bluetooth ヘッドホンに接続されている場合は、現在接続されている Bluetooth ヘッドホンを切断してから、使用したい Bluetooth ヘッドホンを接続してください。
- いずれかのゾーンで Bluetooth 入力ソースを選択している場合は、Bluetooth ヘッドホンを接続できません。
- 本機が HEOS アプリでグループ化されている場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。Bluetooth ヘッドホンを使用する場合は、本機をグループから外してください。
- Bluetooth ヘッドホンが A2DP プロファイルに対応していない場合は、本機に接続することはできません。
- 著作権保護技術(SCMS-T)に対応した Bluetooth ヘッドホンのご使用をおすすめします。すべての Bluetooth 機器に対して接続や動作を保証するものではありません。
- 本機に接続できる機器は 1 台です。最大 8 台まで Bluetooth 機器を登録することができます。メニューの“Bluetooth 送信” - “デバイスリスト”から登録済みの機器を切り替えることができます。(P.161 ページ)



音が途切れる。

- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth 機器の間にある障害物を取り除いてください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- Bluetooth の再接続操作をおこなってください。

Bluetooth ヘッドホンを使用すると音が途切れる、またはノイズが発生する。

- Bluetooth ヘッドホンの本機に近づけてください。
- 本機と Bluetooth ヘッドホンの間にある障害物を取り除いてください。
- Bluetooth ヘッドホンを再接続してください。
- 電波干渉がおきないように、本機を電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から離してください。
- 本機および他の機器のルーターへの接続は、有線 LAN 接続をおすすめします。
- Bluetooth は 2.4GHz 帯域を使用しており、Wi-Fi の 2.4GHz 帯域の電波と干渉する可能性があります。使用しているルーターの Wi-Fi が 5GHz 周波数帯域に対応している場合、本機および他の機器の Wi-Fi 接続を 5GHz 周波数帯域に変更してください。

Bluetooth ヘッドホンの音声が遅延する。

- 本機は Bluetooth ヘッドホンの音声遅延を調節することはできません。



インターネットラジオが再生できない

ラジオ局のリストが表示されない。

- LAN ケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断されています。接続状態を確認してください。(☞ 46 ページ)
- ネットワークの診断モードをおこなってください。

インターネットラジオが再生できない。

- 選択したラジオ局が、本機に対応していないフォーマットで放送されています。本機で再生できるフォーマットは、MP3、WMA と AAC です。(☞ 208 ページ)
- ルーターのファイアウォールがはたらいています。ファイアウォールの設定を確認してください。
- IP アドレスが正しく設定されていません。(☞ 150 ページ)
- ルーターの電源が入っているか確認してください。
- IP アドレスを自動で取得する場合は、ルーターの DHCP サーバー機能を有効にしてください。また、本機の DHCP 設定を“オン”にしてください。(☞ 150 ページ)
- IP アドレスを手動で取得する場合は、本機の IP アドレスを設定してください。(☞ 150 ページ)
- 時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合、音声は出力しません。しばらく経ってから選択するか、別のラジオ局を選択してください。(☞ 76 ページ)
- ラジオ局が放送を停止しています。放送中のラジオ局を選択してください。

お気に入りに登録したラジオ局に接続できない。

- ラジオ局がサービスを停止しています。放送中のラジオ局を登録してください。



パソコン内やNAS内の音楽ファイルが再生できない

パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。

- ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されています。対応しているフォーマットで記録してください。(P.207 ページ)
- 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。
- 本機の USB 端子は、パソコンと接続することはできません。
- メディアの共有設定が正しくありません。本機がアクセスできるように設定を変更してください。詳しくはメディアの取扱説明書をご覧ください。

サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。

- パソコンまたはルーターのファイアウォールがはたらいています。接続しているパソコンまたはルーターのファイアウォールの設定を確認してください。
- パソコンの電源が入っていません。電源を入れてください。
- サーバーが起動していません。サーバーを起動してください。
- 本機の IP アドレスが正しくありません。本機の IP アドレスを確認してください。(P.148 ページ)

パソコン内の音楽ファイルが再生できない。

- 本機の USB 端子にパソコンを接続しても、パソコン内の音楽ファイルは再生できません。パソコンはネットワーク経由で本機に接続してください。(P.46 ページ)

パソコン内やNAS内のファイルが表示されない。

- 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。(P.207 ページ)

NAS に保存した曲が再生できない。

- DLNA 準拠の NAS をご使用の場合は、NAS の設定で DLNA サーバー機能を有効にしてください。
- DLNA に準拠していない NAS をご使用の場合は、パソコンを経由して再生してください。また、Windows Media Player のメディア共有機能設定をおこなない、再生対象フォルダに NAS を追加してください。
- 接続を制限している場合は、オーディオ機器を接続対象にしてください。



各種オンラインサービスが再生できない

各種オンラインサービスが再生できない。

- サービスが終了している可能性があります。

HDMI コントロール機能が動作しない

HDMI コントロール機能が動作しない。

- メニューの“HDMI コントロール”の設定が“オン”になっているか確認してください。(🔍 134 ページ)
- HDMI コントロール機能に対応していない機器は操作できません。また、接続する機器や設定によっては、HDMI コントロール機能が動作しない場合があります。その場合は、外部機器を直接操作してください。(🔍 104 ページ)
- 本機に接続しているすべての機器の HDMI コントロール機能の設定が有効になっているか確認してください。(🔍 104 ページ)
- HDMI 機器を追加して接続するなど、接続に関する変更をおこなうと、連動操作が初期化されることがあります。HDMI で接続した機器と本機の電源を入れ直してください。(🔍 104 ページ)



無線 LAN ネットワークに接続できない

ネットワークに接続できない。

- ネットワーク名 (SSID)、パスワードおよび暗号化設定が正しく設定できていません。ネットワークの設定と、本機の設定内容を合わせてください。(P.150 ページ)
- 無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くしたり、障害物をなくしたりして、見通しをよくしてから接続し直してください。また、電子レンジや他のネットワークのアクセスポイントから離して設置してください。
- アクセスポイントのチャンネル設定を、他のネットワークで使用しているチャンネルから離して設定してください。
- 本機は WEP (TSN) との互換性はありません。

WPS ルーターに接続ができない。

- ルーターの WPS モードが動作しているか確認してください。
- ルーターの WPS ボタンを押してから、2 分以内にテレビに表示されている「接続」ボタンを押してください。
- WPS2.0 規格に対応したルーター/設定が必要です。暗号化タイプを“無し”、“WPA-PSK (AES)”または WPA2-PSK (AES) に設定してください。(P.150 ページ)
- ルーターの暗号化方式が WEP/WPA-TKIP/WPA2-TKIP/WPA3-SAE (AES) のいずれかの場合、WPS ボタンを使用して接続することはできません。この場合は“ネットワーク検索”または“手動”の方法で接続してください。

iPhone/iPod touch/iPad を使用したネットワーク接続ができない。

- iPhone/iPod touch/iPad を最新のファームウェアにアップデートしてください。
- また、無線接続で設定する場合は、iOS 10.0.2 以降に対応する必要があります。



アップデートエラーメッセージについて

アップデートが中断または失敗した場合は、エラーメッセージが表示されます。

ディスプレイ表示	説明
Connection failed. Please check your network, then try again.	ネットワークの回線が不安定です。 サーバーとの接続に失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Update failed. Please check your network, then try again.	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Please check your network, unplug and reconnect the power cord, and try again.	アップデートに失敗しました。 本体の ⏻ ボタンを 5 秒以上長押しするか、電源コードを挿入し直してください。 アップデート後は自動的に再起動します。
Please contact customer service in your area.	機器が故障している可能性があります。 お客様相談センターにお問い合わせください。

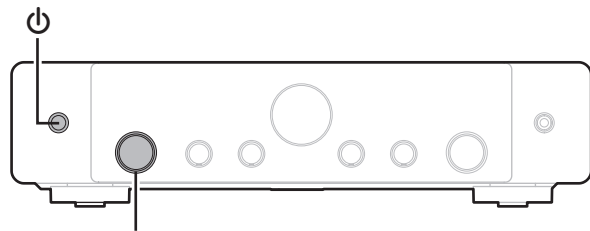


お買い上げ時の設定に戻す

表示が正しくない場合や操作ができない場合などに本機を再起動すると、改善することがあります。お買い上げ時の設定に戻す前に、再起動することをおすすめします。(☞177 ページ)

再起動しても動作が改善しない場合に、この操作をおこなってください。

各種設定内容がお買い上げ時の設定になります。再度設定をおこなってください。



入力ソース選択つまみ (INPUT)

- 1 本機の電源が入っているときに、ディスプレイに“SPECIAL MODE”と表示されるまで本体の **⏻** を長押しする。
- 2 入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“2All Reset”を選んでから **⏻** を押す。



- お買い上げ時の設定に戻す前に、メニューの“セーブ&ロード”機能を使用すると、本機の各種設定内容を記憶させ、復元することができます。(☞170 ページ)
- メニューの“初期化” - “すべての設定”ですべての設定をお買い上げ時の設定に戻すこともできます。(☞171 ページ)



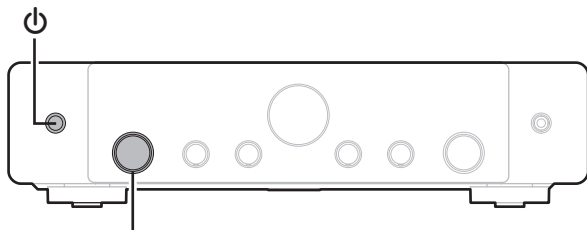
ネットワークの設定をお買い上げ時の設定に戻す

ネットワークコンテンツの再生やネットワーク接続ができない場合に、本機を再起動すると、改善することがあります。お買い上げ時の設定に戻す前に、再起動することをおすすめします。(☞177 ページ)

再起動しても動作が改善しない場合に、この操作をおこなってください。

ネットワーク設定内容がお買い上げ時の設定になります。再度設定をおこなってください。

ただし、メニューの“オーディオ”、“ビデオ”および“スピーカー”の設定などは、リセットされません。



入力ソース選択つまみ (INPUT)

- 1 本機の電源が入っているときに、ディスプレイに“SPECIAL MODE”と表示されるまで本体の **⏻** を長押しする。
- 2 入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“3Network Reset”を選んでから **⏻** を押す。ディスプレイに“Network Reset...”を表示します。
- 3 リセットが完了すると、ディスプレイに“Complete”を表示する。



- お買い上げ時の設定に戻す前に、メニューの“セーブ&ロード”機能を使用すると、本機の各種設定内容を記憶させ、復元することができます。(☞170 ページ)
- メニューの“初期化” - “ネットワーク設定”でネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻すこともできます。(☞171 ページ)

ご注意

- リセットが完了するまで、電源を切らないでください。

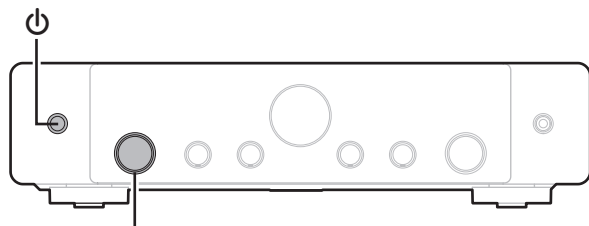


お買い上げ時の設定に復元する

本機やネットワーク機能が正しく動作しない場合に、お買い上げ時の設定に戻すことで動作が改善される場合があります。

「お買い上げ時の設定に戻す」や「ネットワークの設定をお買い上げ時の設定に戻す」を試しても動作しない場合にこの操作をおこなってください。(P.195、196 ページ)

ファクトリーリストアをおこなうと各種設定内容がお買い上げ時の設定に戻ります。再度ネットワーク設定およびファームウェアのアップデートをおこなってください。



入力ソース選択つまみ (INPUT)

警告

ファクトリーリストアを開始すると、本機に制限付きリカバリーファームウェアがインストールされます。インターネット経由でファームウェアのアップデートがおこなわれるまで、機能は制限されたままです。本機をネットワークに接続していない場合は、ファクトリーリストアをおこなわないでください。

- 1 本機の電源が入っているときに、ディスプレイに“SPECIAL MODE”と表示されるまで本体の **⏻** を長押しする。
- 2 入力ソース選択つまみ (INPUT) を回して、“6Factory Restore”を選んでから **⏻** を押す。
ディスプレイにカウントダウンが表示されます。
- 3 ファームウェアの復元が完了するとディスプレイに“Complete”が表示されます。



- この操作はネットワークへの再接続、ファームウェアの復元およびアップデートを伴うため時間がかかります。
- この操作をおこなっても改善できない場合は、お客様相談センターにお問い合わせください。

ご注意

- ファクトリーリストアが完了するまで、電源を切らないでください。



保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代・・・修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料・・・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。



■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。



HDMI について

High-Definition Multimedia Interface の略で、テレビやアンプなどと接続できる AV 用のデジタルインターフェースです。

HDMI 接続ではアナログの映像伝送で実現できなかったハイビジョン映像の伝送や、ブルーレイディスクプレーヤーで採用された高音質音声フォーマットの伝送ができます。

また、従来の接続では、接続する機器間を音声ケーブルと映像ケーブルを使用して接続する必要がありましたが、HDMI 接続では、HDMI ケーブル 1 本で音声信号と映像信号を伝送できます。これにより、ホームシアターシステムで煩雑になりやすい配線をすっきりさせることができます。

本機は次の HDMI 機能に対応しています。

- **Deep Color**

HDMI がサポートしている映像技術です。通常、RGB または YCbCr の各色を 8bit (256 階調) ずつで表現するところを、10bit (1024 階調)、12bit (4096 階調)、16bit (65536 階調) で表現することができるため、より高精細な色の表現を可能にします。

HDMI 接続する機器の双方が Deep Color に対応している必要があります。

- **x.v.Color**

色の表現がより正確になり、自然で生き生きとした映像を表現することが可能になります。

“x.v.Color” はソニーの登録商標です。

- **3D**

本機は、HDMI 規格の 3D (3 次元) 映像信号の入出力に対応しています。3D 映像の再生には本機のほかに、HDMI 規格の 3D 機能に対応しているプレーヤーとテレビが必要です。また、3D 映像をご覧いただくには、別売りの 3D メガネが必要です。

- **4K / 8K**

本機は、HDMI 規格の 4K (3840 × 2160 ピクセル) および 8K (7680 × 4320 ピクセル) 映像信号の入出力に対応しています。

- **Content Type**

この機能は、出力映像の種類 (コンテンツ情報) に適した設定を自動でおこないます。

- **Adobe RGB color、Adobe YCC601 color**

Adobe システムズ社が定義した色空間 (カラースペース) のことです。従来の RGB よりも広い色空間を持っているため、より鮮明で自然な映像を表現することができます。

- **sYCC601 color**

“x.v.Color” 同様、これらのカラースペースは、従来の RGB よりも広い色空間を定義します。



• オートリップシンク

映像と音声のずれを自動的に補正します。
オートリップシンク機能対応のテレビを使用してください。

• HDMI パススルー

本機の電源がスタンバイ状態のときでも HDMI 入力端子から入力された信号を、HDMI 出力端子に接続されたテレビや他の機器に出力します。

• HDMI コントロール

本機と HDMI コントロール機能対応のテレビやプレーヤーを HDMI ケーブルで接続し、それぞれの機器の HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、機器間で相互に制御することができます。

• 電源オフ連動

テレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源をオフにできます。

• 音声出力先の切り替え

テレビの操作で音声をテレビから出力するか、AV アンプから出力するか切り替えることができます。

• 音量調節

テレビの音量調節操作で、本機の音量の調節ができます。

• 入力ソースの切り替え

テレビの入力の切り替え操作に連動して、本機の入力ソースが切り替わります。
プレーヤーを再生すると、本機の入力ソースがそのプレーヤーの入力ソースに切り替わります。

• ARC (Audio Return Channel)

HDMI コントロール制御のもと、テレビの音声信号を HDMI ケーブルを経由して本機に伝送し、本機でテレビの音声を再生する機能です。

ARC 機能のないテレビとの HDMI 接続では、本機に接続した再生機器の映像信号をテレビに伝送することはできても、テレビの音声を本機で再生することはできません。テレビ番組をサラウンド音声で視聴したい場合などには、別途音声ケーブルの接続が必要になります。

これに対し、ARC 機能のあるテレビとの HDMI 接続では、音声ケーブルの接続は不要です。本機とテレビを接続する HDMI ケーブルを通して、テレビの音声信号を本機に入力することができます。この機能により、テレビの音声を本機のサラウンド再生で楽しみいただけます。

• ALLM (Auto Low Latency Mode)

本機は ALLM 機能に対応したテレビとゲーム機を組み合わせで使用する場合、再生するコンテンツによって自動的に低遅延モードに切り替わります。

• VRR (Variable Refresh Rate):

VRR は、映像の遅れや乱れ、チラツキを減らしたり取り除くことでよりなめらかなゲームプレイを実現します。



● QFT(Quick Frame Transport):

QFT は、遅延時間を軽減することでよりスムーズなゲームやリアルタイムの仮想現実などを実現します。

● FRL(Fixed Rate Link):

FRL(Fixed Rate Link)は、超高速帯域幅となる 4K 60Hz 以上などのより高い解像度を実現するために必要な伝送技術です。

ご注意

- 接続しているテレビやプレーヤーによっては、動作しない機能があります。あらかじめ各機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 対応する音声フォーマット

2チャンネルリニア PCM	2チャンネル、32kHz~192kHz、16/20/24bit
---------------	---------------------------------

■ 対応する映像信号

- 480i
- 576i
- 720p 60/50Hz
- 1080p
- 8K 60/50/30/25/24Hz
- 480p
- 576p
- 1080i 60/50Hz
- 4K 120/100/60/50/30/25/24Hz

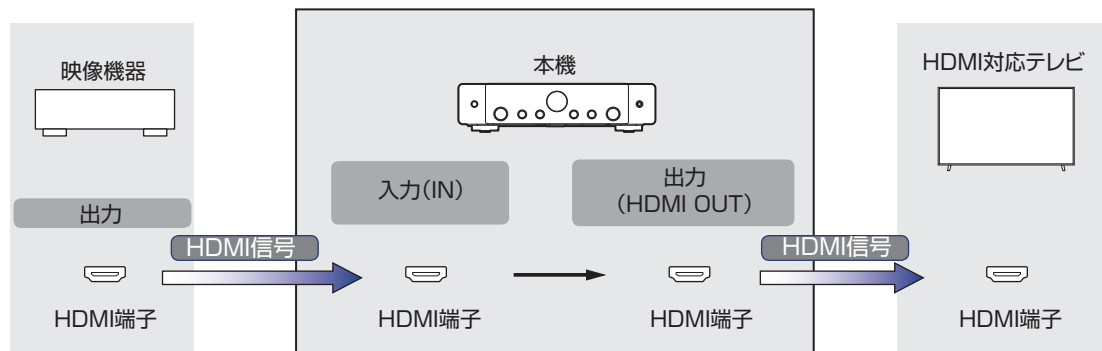
著作権保護システムについて

HDMI 接続を通して BD ビデオや DVD ビデオなどのデジタル映像と音声再生するためには、本機とテレビとプレーヤーのすべてが HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System)と呼ばれる著作権保護システムに対応している必要があります。HDCP はデータの暗号化と相手機器の認証からなるコピープロテクション技術です。本機は、HDCP に対応しています。

- HDCP に対応していない機器を接続した場合は、映像と音声を正しく出力できません。お手持ちのテレビやプレーヤーなどについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。



映像信号とテレビ出力の関係



ご注意

- 本機のビデオ入出力は、HDMI 接続のみ可能です。

メニューの“HDMI アップスケーラー”が“オート”に設定されている場合、本機は入力した HDMI ビデオ信号をアップスケールしてテレビに出力します。(P.136 ページ)

出力信号 入力信号		HDMI												
		480i/576i	480p/576p	720p	1080i	1080p 30/25/24Hz	1080p 60/50Hz	1080p 120/100Hz	4K 30/25/24Hz	4K 60/50Hz	4K 120/100Hz	8K 30/25/24Hz	8K 60/50Hz	
HDMI	480i/576i	✓												
	480p/576p		✓											
	720p			✓										
	1080i				✓									
	1080p 30/25/24Hz					✓			✓			✓		
	1080p 60/50Hz						✓			✓			✓	
	1080p 120/100Hz							✓						
	4K 30/25/24Hz								✓				✓	
	4K 60/50Hz									✓				✓
	4K 120/100Hz										✓*			
	8K 30/25/24Hz											✓*		
8K 60/50Hz												✓*		

* HDMI 4、HDMI 5、HDMI 6 端子が対応しています。



USB メモリーの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- 本機では、MP3 ID3 タグのバージョン 2.3 または 2.4 を使用して、アートワークを表示できます。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/Apple Lossless/DSD)または 349×349(MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	チャンネル	ビットレート	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	2 チャンネル	48~192 kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	2 チャンネル	32~320kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	2 チャンネル	—	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	2 チャンネル	48~320kbps	.aac/.m4a
FLAC	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	2 チャンネル	—	.flac
Apple Lossless*2	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	2 チャンネル	—	.m4a
DSD	2.8/5.6MHz	2 チャンネル	—	.dsf/.dff

*1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。

インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

*2 Apple Lossless Audio Codec (ALAC) デコーダは Apache License Version 2.0 (<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>) に基づいて配布されています。



■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

本機で表示できるフォルダやファイルの制限数は次のとおりです。

項目	メディア	USB メモリー
フォルダの階層数 *1		8 階層
フォルダ数		500
ファイル数 *2		5000

*1 制限数にはルートフォルダを含みます。

*2 USB メモリーの容量やファイルサイズにより、許容ファイル数が変わる場合があります。

Bluetooth 機器の再生について

本機は、次の Bluetooth プロファイルに対応しています。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) :
この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、モノラルやステレオの音声データを高品質にストリーミング配信することができます。
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) :
この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、本機から Bluetooth 機器を操作することができます。

■ Bluetooth 通信について

本機からの電波放送は、医療機器の操作を妨げることがあります。電波干渉は故障の原因となるため、次の場所では本機と Bluetooth 機器の電源を必ず切ってください。

- 病院、電車、航空機、ガソリンスタンドや可燃性ガスを発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く



パソコンやNASに保存されているファイルの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- 本機では、MP3 ID3 タグのバージョン 2.3 または 2.4 を使用して、ネットワークを表示させることができます。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/WAV/FLAC/Apple Lossless/DSD)または 349×349 (MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。
- ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	チャンネル	ビットレート	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	2 チャンネル	48~192 kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	2 チャンネル	32~320kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	2 チャンネル	—	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	2 チャンネル	48~320kbps	.aac/.m4a
FLAC	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	2 チャンネル	—	.flac
Apple Lossless*2	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	2 チャンネル	—	.m4a
DSD	2.8/5.6MHz	2 チャンネル	—	.dsf/.dff

*1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。

インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリップングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

*2 Apple Lossless Audio Codec (ALAC)デコーダは Apache License Version 2.0(<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>)に基づいて配布されています。



インターネットラジオの再生について

■ 再生できる放送局の仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA	32/44.1/48kHz	48~192 kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
MPEG-4 AAC	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.aac/ .m4a

パーソナルメモリープラス機能

前回使用していたときの設定内容(入力モード、HDMI 出力モード、サウンドモード、トーンコントロール、バランス、M-DAX、やオーディオディレイなど)を入力ソースごとに記憶します。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。



用語の解説

■ 音声

Apple Lossless Audio Codec

アップル社が開発した音声データ可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPhone、iPod で再生できます。約 60~70%に圧縮されたデータを完全に元どりのデータに再現します。

FLAC(Free Lossless Audio Codec)

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。

FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD 並の音質を保ったままデータ量を約 1/11 に圧縮できます。



MPEG(Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、“MPEG-1 Video”、“MPEG-2 Video”、“MPEG-4 Visual”、“MPEG-4 AVC”などがあります。音声の規格には、“MPEG-1 Audio”、“MPEG-2 Audio”、“MPEG-4 AAC”などがあります。

WMA(Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media[®] Player を使用してエンコード(符号化)することができます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω (オーム) という単位であらわします。この値が小さいほど大きな電力が得られます。

■ 映像

プログレッシブ(順次走査)

映像の 1 フレームを 1 つの画像として表示する映像信号の走査方式です。インターレース方式に比べ画像のちらつきやにじみが少ない映像を再生できます。

■ ネットワーク

AirPlay

iTunes または iPhone、iPod touch、iPad に収録されているコンテンツをネットワーク経由で対応する機器に転送(再生)する機能です。

WEP Key(ネットワークキー)

データ通信をおこなう際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。本機はデータの暗号化/復号化ともに同一の WEP キー(ネットワークキー)を用いるため、通信する相手と同一の WEP キーを設定する必要があります。

Wi-Fi[®]

無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。



WPA(Wi-Fi Protected Access)

Wi-Fi アライアンスが策定したセキュリティ規格です。従来の SSID (ネットワーク名)や WEP キー(ネットワークキー)に加えて、ユーザー認証機能や暗号化プロトコルを採用して、セキュリティを強化しています。

WPA2(Wi-Fi Protected Access 2)

Wi-Fi アライアンスが策定した WPA の新バージョンです。WPA と比べ、より強力な AES 暗号に対応しています。

WPA-PSK/WPA2-PSK(Pre-shared Key)

あらかじめ設定した文字列が無線 LAN アクセスポイントとクライアントで一致した場合、相互認証をおこなう簡易認証の方式です。

WPA2/WPA3 パersonal

WPA2/WPA3 パersonalモードは Wi-Fi Alliance®によって定義されています。ユーザーの混乱を最小限に抑え、WPA2 パersonalのみのデバイスとの相互運用性を維持しながら WPA3 パersonalへの段階的な移行パスを提供します。

WPA3 パersonal

WPA2-Personal Pre-Shared Key (PSK) 認証を EqualS の同時認証 (SAE) に置き換えます。PSK とは異なり、SAE はオフライン辞書攻撃に耐性があります。

ネットワーク名 (SSID: Service Set Identifier)

無線 LAN のネットワークを構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを「SSID (ネットワーク名)」でおこないます。さらにセキュリティ強化のために、WEP キーを設定し、「SSID」と WEP キーが一致しないと通信できないようになっています。簡易ネットワークを構成する場合に適しています。



■ その他

HDCP

機器間でデジタル信号を送受信する際に信号を暗号化し、コンテンツが不正にコピーされるのを防止する著作権保護技術の 1 つです。

メインゾーン

本機が設置されている部屋をメインゾーンと呼びます。

ペアリング

ペアリング(登録)とは、Bluetooth 機器と本機を接続するために必要な操作です。ペアリングすると互いの機器が認証し合うので、混線することなく接続できます。

はじめて Bluetooth 機器を接続する場合は、最初に本機と本機に接続する Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。



登録商標について



Apple, AirPlay, iPad, iPad Air, iPad Pro and iPhone are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、D&M Holdings Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。



HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

HDR10+™ logo は、HDR10+ Technologies, LLC.の商標です。



Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。





App Store®は、米国およびその他の国における登録商標です。



Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。



主な仕様

オーディオ部

• パワーアンプ部

定格出力:	75W + 75W(負荷 8Ω、20Hz~20kHz T.H.D. 0.08%) 100W + 100W(負荷 6Ω、1kHz T.H.D. 0.7%)
実用最大出力:	110W + 110W(負荷 6Ω、1kHz T.H.D. 10% 2チャンネル駆動 JEITA) 150W(負荷 6Ω、1kHz T.H.D. 10% 1チャンネル駆動 JEITA)
出力端子:	4~16Ω

• アナログ部

入力感度:	130mV
周波数特性:	10Hz~100kHz:+1,-3dB(Direct モード時)
S/N 比:	98dB(IHF-A, Direct モード時)

• フォノ・イコライザー部

入力感度:	2.5mV
RIAA 偏差:	±1dB(20Hz~20kHz)
S/N 比:	74dB(IHF-A)
ひずみ率:	0.03%(1kHz, 3V)



チューナー部

	[FM]	[AM]
受信周波数範囲:	76.0MHz~95.0MHz	522kHz~1629kHz
実用感度:	1.2 μ V(12.8dBf)	18 μ V
50dB 感度:	モノー 2.8 μ V(20.2dBf)	
S/N 比:	モノー 70dB(IHF-A, Direct モード時) ステレオー 67dB(IHF-A, Direct モード時)	
ひずみ率:	モノー 0.7%(1kHz) ステレオー 1.0%(1kHz)	

無線 LAN 部

ネットワーク種類(無線 LAN 規格):	IEEE 802.11a/b/g/n/ac に対応 (Wi-Fi [®] 準拠)*1
セキュリティ:	WEP 64bit, WEP 128bit WPA/WPA2-PSK(AES) WPA/WPA2-PSK(TKIP) WPA3-SAE(AES)
使用周波数帯域:	2.4GHz, 5GHz

*1 Wi-Fi[®]準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「WiFi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。



Bluetooth部

通信システム:	Bluetoothバージョン 5.4
送信出力	Bluetooth Specification Power Class 1
最大通信範囲:	見通し距離 約 30m*2
使用周波数帯域:	2.4GHz
変調方式:	FHSS (Frequency-Hopping Spread Spectrum)
対応プロファイル:	受信機能 A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) 1.4 AVRCP(Audio Video Remote Control Profile) 1.5 送信機能 A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) 1.4
対応コーデック:	SBC
伝送範囲(A2DP):	20Hz~20,000Hz

*2 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。



総合

動作温度:	5° C~35° C
電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	210W
スタンバイ時の消費電力:	0.2W*
CEC スタンバイ時の消費電力:	0.5W

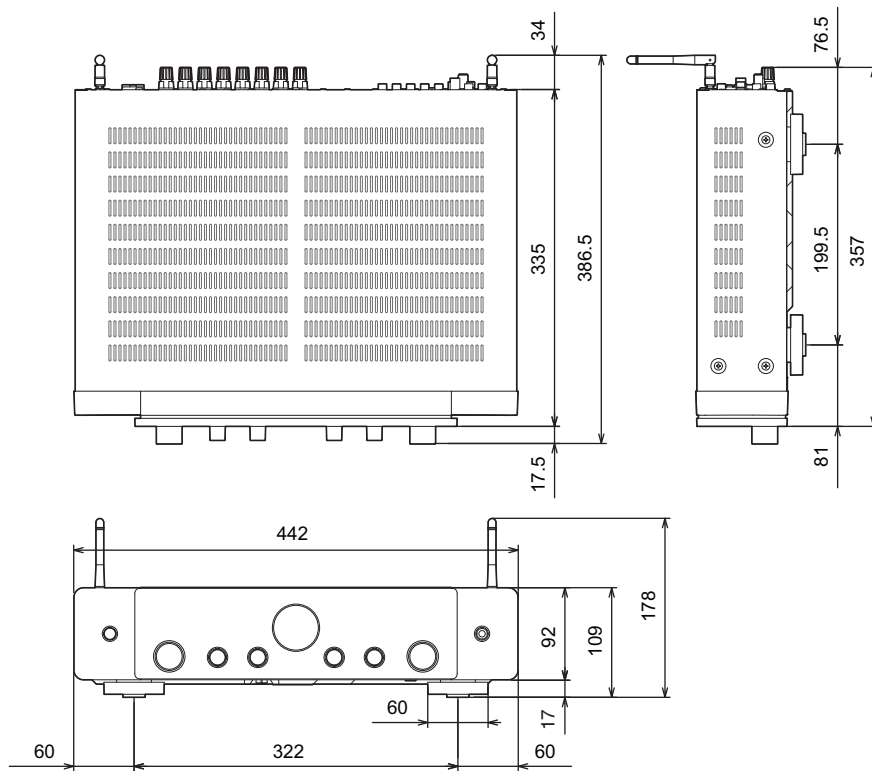
* メニューの“ネットワークコントロール”設定が“スタンバイ時オフ”で、なおかつ“HDMI パススルー”設定が“オフ”のとき

JEITA: (社)電子情報技術産業協会(略称:JEITA)が制定した規格です。

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。



■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:8.4kg

使用上のご注意

■ 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

■ お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

■ 結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1 ～ 2 時間放置してから使用してください。



索引

英数字

2.1 チャンネル	30
3D	200
4K/8K	200

A

AirPlay	90
All Zone Stereo	101

B

Bluetooth 機器	60
--------------------	----

D

DVD プレーヤー	40, 54
-----------------	--------

F

FM/AM アンテナ	44, 68
------------------	--------

H

HDCP	202
HDMI コントロール	104
HEOS アカウント	82, 156
HEOS お気に入り	96

M

M-DAX	129
-------------	-----

N

NAS	77
-----------	----

S

Spotify	93
---------------	----

U

USB メモリー	43, 55
----------------	--------

W

Wi-Fi の設定	149
-----------------	-----

い

一般の設定	157
インターネットラジオ	75

う

ウェブコントロール	115
-----------------	-----

え

衛星放送チューナー	38
映像の設定	132
エコモード	157

お

オーディオの設定	129
オートスタンバイ	160
お買い上げ時の設定に戻す	195
音声フォーマット 202, 205, 207, 208	
音量	54

か

外部コントロール機器	48
------------------	----

け

ケーブルテレビ	38
---------------	----

こ

故障かな?と思ったら	177
こんなときの解決方法	176



さ

サウンドモード 102

す

スピーカーを接続する 28

スピーカーの設定 145

スリープタイマー 105

せ

セットアップアシスタント 127

セットトップボックス 38

そ

ゾーン2 118

て

ディスプレイ 18

テレビ 35, 36

と

トーンコントロール 98

に

入力ソース 53

入力端子の割り当て 141

入力の設定 124, 141

ね

ネットワークの設定 124

は

パソコン 77

ひ

ビデオセレクト 100

ふ

ファームウェアのアップデート 165

ブルーレイディスクプレーヤー .. 40, 54

フロントパネル 16

へ

ペアリング 60, 61

ほ

保護回路について 212

み

ミュート 54

む

無線 LAN の接続 47

め

メニュー 一覧 123

ゆ

有線 LAN 46

り

リアパネル 20

リモコン 23



marantz

3520 10926 00ASB

©2023 DEI Sales, Inc. All Rights Reserved.